

# 富士見市高齢者等実態調査結果報告書

令和2年3月

富士見市



# はじめに

本市では、高齢者が住み慣れた地域で、いつまでも生きいきと暮らしていくことができるよう、高齢者の保健、福祉、介護、医療、予防、住まい、生活支援、生きがいなど、高齢者の生活全般にわたる総合的な計画として、「富士見市高齢者保健福祉計画」を策定しております。

このたび、令和3年度から令和5年度までを計画期間とする「第8期富士見市高齢者保健福祉計画」の策定にあたり、地域における高齢者の皆さまの課題や介護サービスのニーズ、介護者の就労継続に有効なサービス等を把握するため、「高齢者等実態調査」を実施いたしました。

ご回答いただきましたご意見や調査結果につきましては、「第8期富士見市高齢者保健福祉計画」を策定するための貴重な資料として活用させていただくとともに、地域包括ケアシステムのさらなる深化・推進に向けた取組みに役立ててまいります。

結びに、ご多忙の中、調査にご協力をいただきました皆さまに心から御礼申し上げますとともに、今後につきましても本市の高齢者福祉行政の推進に一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年3月

富士見市長 星野光弘



## 目 次

第1編 調査の概要.....	1
1 調査の概要.....	1
2 調査の種類・調査方法と配布・回収数.....	1
3 調査期間.....	1
4 留意点.....	1
5 集計表の見方の例.....	2
6 生活機能の低下リスクについて.....	3
第2編 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の集計結果.....	5
第1章 回答者の属性.....	5
第2章 ご家族や生活状況について.....	8
第3章 からだを動かすことについて.....	12
第4章 食べることについて.....	23
第5章 毎日の生活について.....	26
第6章 地域での活動について.....	30
第7章 たすけあいについて.....	38
第8章 健康について.....	49
第9章 介護保険制度等について.....	57
第3編 在宅介護実態調査の集計結果.....	59
第1章 要介護者の属性・心身の状況.....	59
第2章 介護保険等のサービスの利用状況・意向.....	64
第3章 施設入所の意向等.....	70
第4章 主な介護者の状況.....	74

第4編 居宅介護支援に関する調査の集計結果 .....	85
第5編 介護保険施設等の入退所状況に関する調査の集計結果.....	93
第6編 介護人材確保に関する調査の集計結果 .....	97
資料編 調査票.....	103

# 第1編

---

## 調査の概要





# 第1編 調査の概要

## 1 調査の概要

富士見市では、令和2年度に、「第8期富士見市高齢者保健福祉計画」（介護保険事業計画を含む）を策定します。このため、計画の策定にあたっての基礎資料とするために、高齢者や介護事業所を対象に、アンケート調査を実施しました。

## 2 調査の種類・調査方法と配布・回収数

調査は、高齢者を対象とした「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」、「在宅介護実態調査」の2種類と、介護事業所（施設）を対象とした「居宅介護支援に関する調査」、「介護保険施設等の入退所状況に関する調査」、「介護人材確保に関する調査」の3種類です。

種類	対象	調査方法	配布数	回収数	回収率
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	65歳以上の方で、要介護認定を受けていない方や、事業対象者、要支援1・2の認定を受けている方（無作為抽出）	郵送による配布・回収	3,500	2,179	62.3%
②在宅介護実態調査	在宅で生活しながら要介護（要支援）認定を受けている方	郵送による配布・回収、認定調査時に配布	2,400 <small>（郵送1,000、認定調査時1,400）</small>	1,421 <small>（郵送531、認定調査時890）</small>	59.2%

種類	対象	調査方法	回収数
①居宅介護支援に関する調査	居宅介護支援事業所・小規模多機能型居宅介護支援事業所	電子メールによる配布・回収	24事業所
②介護保険施設等の入退所状況に関する調査	介護保険施設・居住系サービス事業所	電子メールによる配布・回収	9施設・事業所
③介護人材確保に関する調査	介護保険サービス事業所を運営する法人	電子メールによる配布・回収	28法人

## 3 調査期間

令和元年11～12月

（認定調査時に配布した在宅介護実態調査は、平成31年1月～令和元年12月）

## 4 留意点

- 設問の中には前問に答えた人のみが答える「限定設問」があり、表中の「合計」が全体より少なくなっています。
- 設問には1つのみ答えるものと複数回答のものがあり、複数回答の設問では、表記の割合の合計は100%を超えます。
- 割合は選択肢ごとに小数第1位以下を四捨五入して整数表記しているため、その割合の合計は100%にならないところがあります。

## 5 集計表の見方の例

回答者 2,179 人の年齢別・男女別の内訳です。高齢者は、75 歳以上になると心身の状況が変わってくることで、男性と女性ではその変化の傾向も違うことから、区分して集計しています。

問 3 あなたは要支援認定を受けていますか  
(○は1つ)

	総計		65～74 歳男性		75 歳以上男性		65～74 歳女性		75 歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 認定は受けていない	1,933	89%	435	96%	414	88%	559	96%	510	84%
2. 要支援 1	69	3%	6	1%	17	4%	7	1%	36	6%
3. 要支援 2	55	3%	0	0%	13	3%	8	1%	33	5%
4. 事業対象者	3	0%	1	0%	2	0%	0	0%	0	0%
無回答	119	5%	11	2%	24	5%	7	1%	26	4%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%

1つを答える質問のため、無回答者を含め、総計は2,179人、割合は100%になります。ただし、四捨五入の関係で、割合を縦に足すと、99%や101%になっている表や図(グラフ)があります。

問 11 市主催の介護予防教室などに参加したことはありますか (○は1つ)

	総計		65～74 歳男性		75 歳以上男性		65～74 歳女性		75 歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	123	6%	8	2%	21	4%	31	5%	60	10%
2. いいえ	1,981	91%	441	97%	437	93%	538	93%	513	85%
無回答	75	3%	4	1%	12	3%	12	2%	32	5%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%

【問 11 (1) 【問 11 で「1. はい」の方のみ】

参加したことにより、成果や効果はありますか (○はいくつでも)

	総計		65～74 歳男性		75 歳以上男性		65～74 歳女性		75 歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 通院回数が減った	3	2%	0	0%	0	0%	0	0%	2	3%
2. 薬を飲む量が減った	2	2%	1	13%	0	0%	0	0%	1	2%
3. 体力が向上した	33	27%	2	25%	5	24%	6	19%	20	33%
4. 家でも体操などをするようになった	44	36%	2	25%	6	29%	11	35%	24	40%
5. 外出の回数が増えた	24	20%	2	25%	3	14%	4	13%	14	23%
6. 仲間が増えた	51	41%	2	25%	3	14%	16	52%	29	48%
7. 気持ちが前向きになった	51	41%	2	25%	9	43%	12	39%	27	45%
8. 成果は感じなかった	7	6%	0	0%	2	10%	0	0%	5	8%
9. わからない	10	8%	2	25%	2	10%	0	0%	6	10%
10. その他	6	5%	1	13%	1	5%	3	10%	1	2%
合計	123	100%	8	100%	21	100%	31	100%	60	100%

問 11 (1) は、問 11 で「はい」と回答した 123 人だけが回答しています。

複数の選択肢に回答している人がいるので、割合の合計は 100% を超えます。

## 6 生活機能の低下リスクについて

介護予防を推進するためには、生活機能の低下リスクの有無を調べるのが重要であることから、それを判定するための設問を入れています。

生活機能の低下リスクの有無は、介護予防事業の対象者かどうかを判断するために国が平成 18 年度から「地域支援事業実施要綱」や「介護予防のための生活機能評価に関するマニュアル」に基づき実施してきた「25 項目の基本チェックリスト」や、IADL（手段的日常生活動作能力）を検査する「老研式活動能力指標」により判定することとなっており、それらから一部の設問項目を本アンケートに入れています。

「第2編 日常生活圏域ニーズ調査の集計結果」では、「国のガイドラインによると」として、結果を分析しています。

なお、平成 27 年度から各市町村において介護予防・日常生活支援総合事業が開始され、「25 項目の基本チェックリスト」は義務から任意に移行しましたが、生活機能の低下リスクの判定方法については制度改正前と変更はありません。

### [参考]基本チェックリスト

No.	質問項目	回答 (いずれかに○を お付け下さい)	
		0.はい	1.いいえ
1	バスや電車で1人で外出していますか	0.はい	1.いいえ
2	日用品の買物をしていますか	0.はい	1.いいえ
3	預貯金の出し入れをしていますか	0.はい	1.いいえ
4	友人の家を訪ねていますか	0.はい	1.いいえ
5	家族や友人の相談にのっていますか	0.はい	1.いいえ
6	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	0.はい	1.いいえ
7	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	0.はい	1.いいえ
8	15分位続けて歩いていますか	0.はい	1.いいえ
9	この1年間に転んだことがありますか	1.はい	0.いいえ
10	転倒に対する不安は大きいですか	1.はい	0.いいえ
11	6ヵ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1.はい	0.いいえ
12	身長            c m            体重            kg   (BMI=            )(注)		
13	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1.はい	0.いいえ
14	お茶や汁物等でむせることがありますか	1.はい	0.いいえ
15	口の渇きが気になりますか	1.はい	0.いいえ
16	週に1回以上は外出していますか	0.はい	1.いいえ
17	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1.はい	0.いいえ
18	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか	1.はい	0.いいえ
19	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	0.はい	1.いいえ
20	今日が何月何日かわからない時がありますか	1.はい	0.いいえ
21	(ここ2週間)毎日の生活に充実感がない	1.はい	0.いいえ
22	(ここ2週間)これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	1.はい	0.いいえ
23	(ここ2週間)以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる	1.はい	0.いいえ
24	(ここ2週間)自分が役に立つ人間だと思えない	1.はい	0.いいえ
25	(ここ2週間)わけもなく疲れたような感じがする	1.はい	0.いいえ

(注) BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)が18.5未満の場合に該当とする。

[参考]老研式活動能力指標

項目	配点		評価
	1	0	
1 バスや電車で使って一人で外出ができますか	はい	いいえ	手段的 ADL
2 日用品の買い物ができますか	はい	いいえ	
3 自分で食事の用意ができますか	はい	いいえ	
4 請求書の支払ができますか	はい	いいえ	
5 銀行預金、郵便貯金の出し入れが自分でできますか	はい	いいえ	
6 年金などの書類が書けますか	はい	いいえ	知的 ADL
7 新聞などを読んでいますか	はい	いいえ	
8 本や雑誌を読んでいますか	はい	いいえ	
9 健康についての記事や番組に関心がありますか	はい	いいえ	社会的 ADL
10 友達の家を訪ねることがありますか	はい	いいえ	
11 家族や友達の相談にのることがありますか	はい	いいえ	
12 病人を見舞うことができますか	はい	いいえ	
13 若い人に自分から話しかけることができますか	はい	いいえ	
注) 手段的 ADL スコア (5 点満点)、 知的 ADL スコア (4 点満点)、 社会的 ADL スコア (4 点満点) でそれぞれの ADL を評価する。 総計を高次 ADL スコアとする。 カットオフ値はない。			

## 第2編

---

# 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の 集計結果



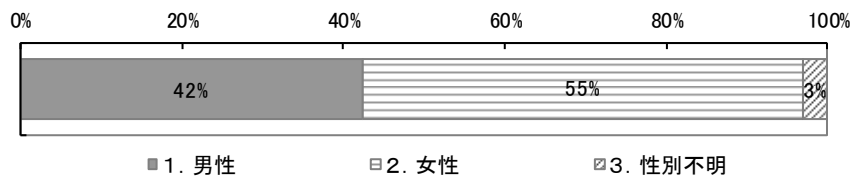
## 第2編 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の集計結果

### 第1章 回答者の属性

問1 あなたの性別はどちらですか（○は1つ）

	人数	割合
1. 男性	923	42%
2. 女性	1,191	55%
無回答	65	3%
合計	2,179	100%

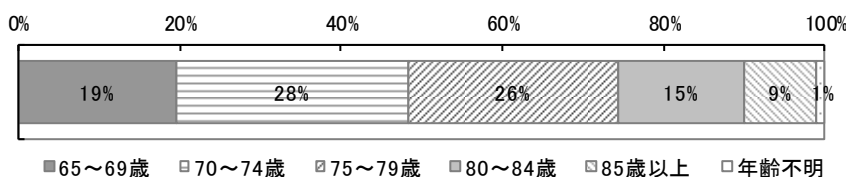
性別は、男性が42%、女性が55%で女性の方がやや多くなっています。年齢は、65～69歳が19%、70～74歳が28%など表のとおりで、以降の集計では、65～74歳男性、75歳以上男性、65～74歳女性、75歳以上女性の4区分に分け、傾向の違いなどをみていきます。



問2 あなたの年齢はどれに該当しますか（○は1つ）

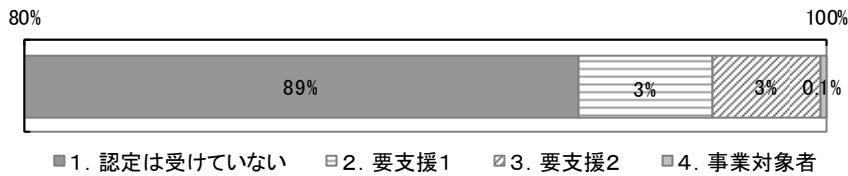
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 65～69歳	421	19%	179	40%	0	0%	241	41%	0	0%
2. 70～74歳	617	28%	274	60%	0	0%	340	59%	0	0%
3. 75～79歳	561	26%	0	0%	236	50%	0	0%	320	53%
4. 80～84歳	336	15%	0	0%	146	31%	0	0%	187	31%
5. 85～89歳	160	7%	0	0%	70	15%	0	0%	86	14%
6. 90～94歳	24	1%	0	0%	13	3%	0	0%	9	1%
7. 95～99歳	8	0%	0	0%	5	1%	0	0%	3	0%
8. 100歳以上	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
年齢不明	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
無回答	52	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%

※グラフは、「総計」部分のみで、年齢別・男女別の部分は省略しています。



問3 あなたは要支援認定を受けていますか（○は1つ）

	総計		65～74 歳男性		75 歳以上男性		65～74 歳女性		75 歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 認定は受けていない	1,933	89%	435	96%	414	88%	559	96%	510	84%
2. 要支援1	69	3%	6	1%	17	4%	7	1%	36	6%
3. 要支援2	55	3%	0	0%	13	3%	8	1%	33	5%
4. 事業対象者	3	0%	1	0%	2	0%	0	0%	0	0%
無回答	119	5%	11	2%	24	5%	7	1%	26	4%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



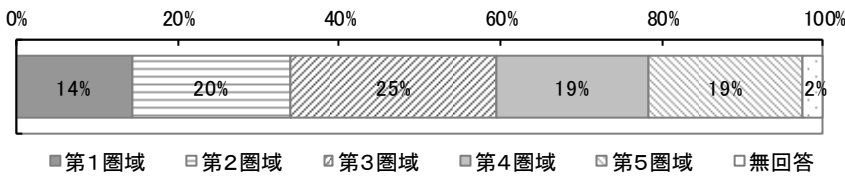
問4 あなたの住所地を下記から選んでください。（○は1つ）

	人数	割合		人数	割合		人数	割合
1. 羽沢1・2丁目	88	4%	14. 上南畑	38	2%	27. 針ヶ谷1・2丁目	58	3%
2. 羽沢3丁目	46	2%	15. 下南畑	39	2%	28. 大字針ヶ谷	2	0%
3. 渡戸	109	5%	16. 南畑新田	13	1%	29. 大字水子（下記以外）	119	5%
4. 大字勝瀬（勝瀬町会）	37	2%	17. みどり野	0	0%	30. 大字水子（針ヶ谷1丁目町会）	3	0%
5. 大字勝瀬（勝瀬西町会）	11	1%	18. 山室	71	3%	31. 水谷	26	1%
6. ふじみ野東	45	2%	19. 諏訪	46	2%	32. 貝塚	50	2%
7. ふじみ野西1・2・4丁目	85	4%	20. 鶴馬1・2・3丁目	122	6%	33. 榎町	6	0%
8. ふじみ野西3丁目1～8	10	0%	21. 関沢1丁目	12	1%	34. 水谷東	128	6%
9. ふじみ野西3丁目9～17	2	0%	22. 関沢2・3丁目	194	9%	35. 東みずほ台	91	4%
10. 大字鶴馬（渡戸東町会）	8	0%	23. 鶴瀬東	93	4%	無回答	54	2%
11. 大字鶴馬（鶴瀬西1丁目二葉町会、鶴瀬西1丁目西町会）	44	2%	24. 鶴瀬西	203	9%	合計	2,179	100%
12. 大字鶴馬（前谷町会、山室町会、諏訪1丁目町会、諏訪2丁目町会）	41	2%	25. 上沢	144	7%			
13. 東大久保	34	2%	26. 西みずほ台	107	5%			

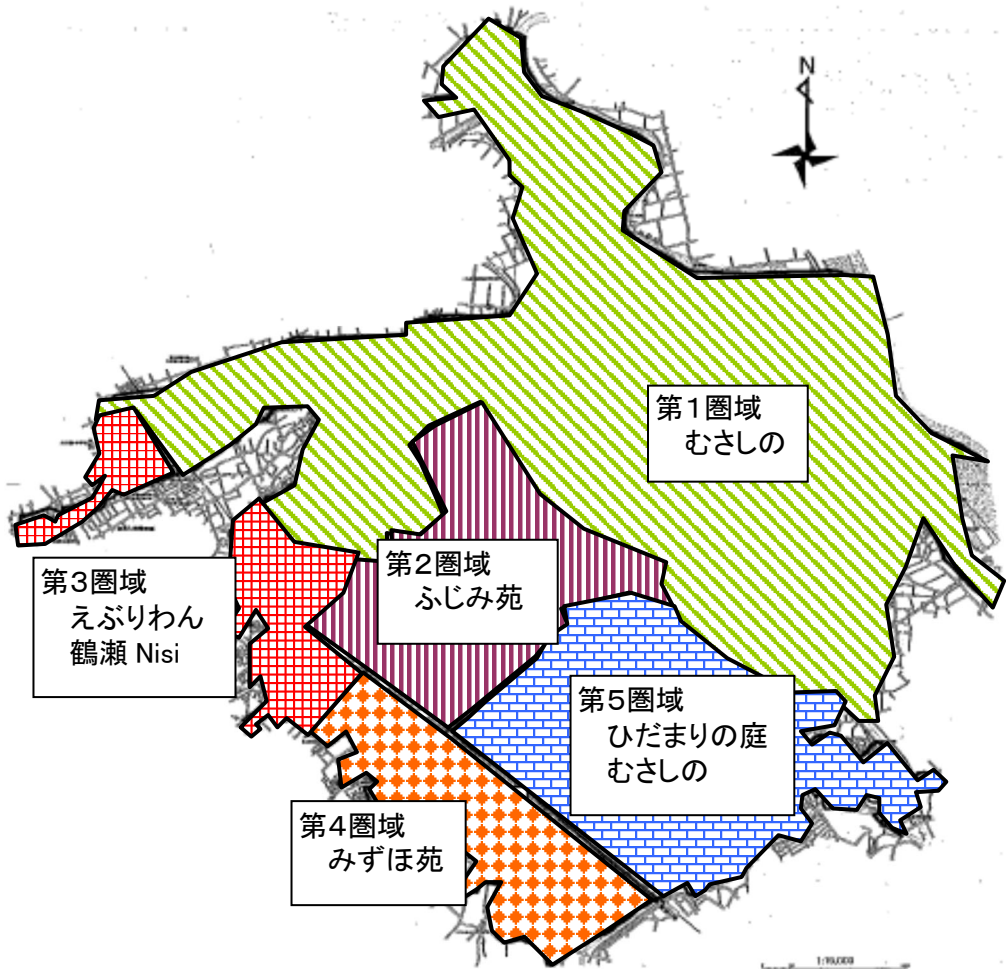


〔圏域別に再集計〕

	総計		65～74 歳男性		75 歳以上男性		65～74 歳女性		75 歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
第1圏域	312	14%	74	16%	74	16%	75	13%	84	14%
第2圏域	431	20%	100	22%	78	17%	130	22%	116	19%
第3圏域	554	25%	117	26%	141	30%	140	24%	151	25%
第4圏域	408	19%	69	15%	95	20%	118	20%	123	20%
第5圏域	420	19%	93	21%	81	17%	116	20%	129	21%
無回答	54	2%	0	0%	1	0%	2	0%	2	0%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



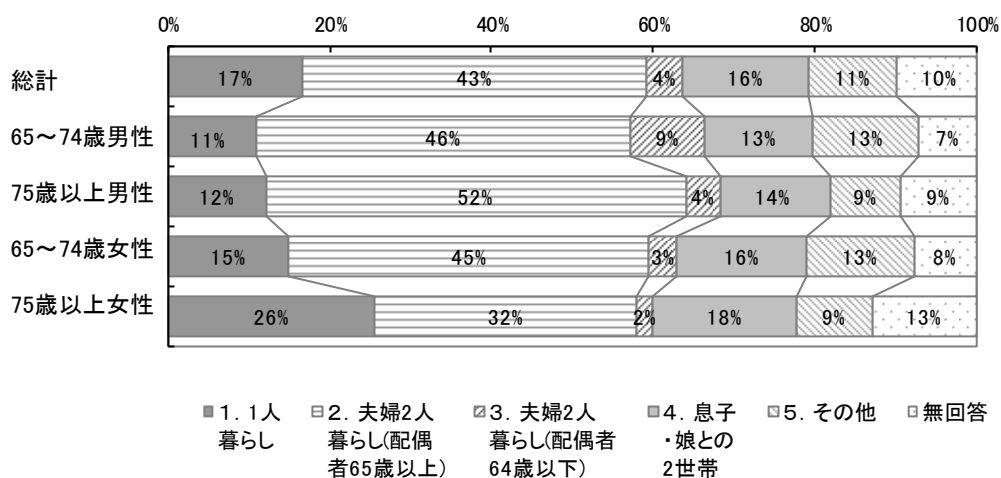
【 日常生活圏域図 】 (高齢者あんしん相談センターの担当地域図)



## 第2章 ご家族や生活状況について

### 問5 家族構成をお教えてください（○は1つ）

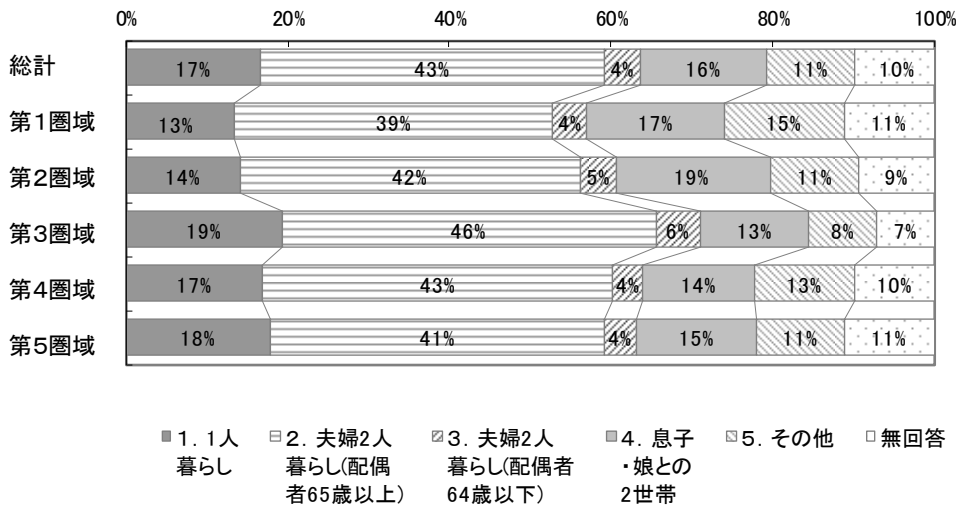
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 1人暮らし	363	17%	50	11%	57	12%	87	15%	155	26%
2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	927	43%	209	46%	244	52%	259	45%	196	32%
3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	98	4%	42	9%	20	4%	20	3%	12	2%
4. 息子・娘との2世帯	338	16%	60	13%	64	14%	93	16%	107	18%
5. その他	239	11%	60	13%	41	9%	77	13%	57	9%
無回答	214	10%	32	7%	44	9%	45	8%	78	13%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



家族構成は、配偶者も65歳以上である夫婦2人暮らしが多く、75歳以上の女性では1人暮らしも多い状況です。

### 〔圏域別集計〕

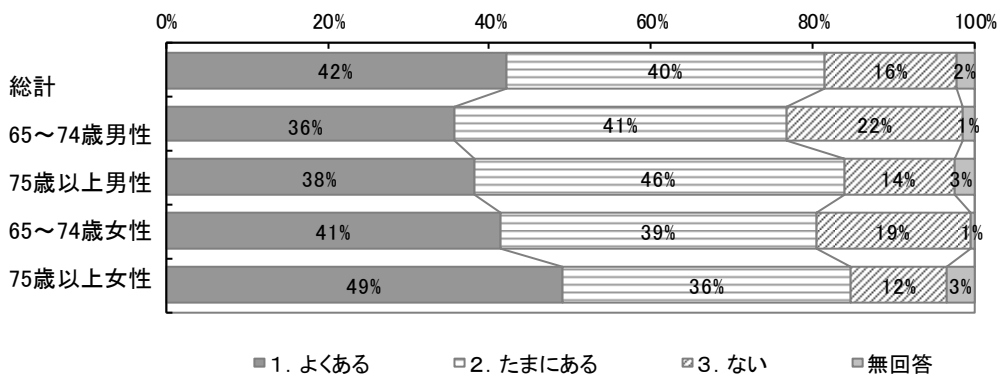
	総計		第1圏域		第2圏域		第3圏域		第4圏域		第5圏域	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 1人暮らし	363	17%	42	13%	61	14%	107	19%	69	17%	75	18%
2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	927	43%	123	39%	181	42%	256	46%	177	43%	174	41%
3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	98	4%	13	4%	20	5%	31	6%	15	4%	16	4%
4. 息子・娘との2世帯	338	16%	53	17%	82	19%	74	13%	56	14%	63	15%
5. その他	239	11%	46	15%	47	11%	47	8%	51	13%	45	11%
無回答	214	10%	35	11%	40	9%	39	7%	40	10%	47	11%
合計	2,179	100%	312	100%	431	100%	554	100%	408	100%	420	100%



家族構成を日常生活圏域別にみると、東武東上線の駅に近い方が多い第3圏域で、「1人暮らし」と「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が、やや多い傾向がみられます。

問6 日中、1人になることがありますか (○は1つ)

	総計		65~74歳男性		75歳以上男性		65~74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. よくある	916	42%	162	36%	179	38%	241	41%	297	49%
2. たまにある	862	40%	186	41%	215	46%	226	39%	216	36%
3. ない	353	16%	99	22%	64	14%	111	19%	72	12%
無回答	48	2%	6	1%	12	3%	3	1%	20	3%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



日中、1人になることが「よくある」は約4割で、75歳以上の女性では約5割にのぼります。

日常生活圏域別にみると、年齢別・性別ごとの集計結果も含め、大きな違いはないものの、「よくある」は第5圏域でやや割合が高い傾向がみられ、特に第5圏域の75歳以上女性で他の圏域より割合が高くなっています（集計表の囲み部分）。

〔第1圏域〕

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. よくある	120	38%	23	31%	26	35%	29	39%	38	45%
2. たまにある	137	44%	37	50%	36	49%	30	40%	33	39%
3. ない	51	16%	14	19%	11	15%	16	21%	10	12%
無回答	4	1%	0	0%	1	1%	0	0%	3	4%
合計	312	100%	74	100%	74	100%	75	100%	84	100%

〔第2圏域〕

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. よくある	168	39%	36	36%	25	32%	49	38%	56	48%
2. たまにある	176	41%	41	41%	36	46%	49	38%	47	41%
3. ない	77	18%	20	20%	15	19%	31	24%	9	8%
無回答	10	2%	3	3%	2	3%	1	1%	4	3%
合計	431	100%	100	100%	78	100%	130	100%	116	100%

〔第3圏域〕

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. よくある	239	43%	43	37%	58	41%	61	44%	73	48%
2. たまにある	219	40%	46	39%	64	45%	52	37%	56	37%
3. ない	84	15%	27	23%	13	9%	26	19%	18	12%
無回答	12	2%	1	1%	6	4%	1	1%	4	3%
合計	554	100%	117	100%	141	100%	140	100%	151	100%

〔第4圏域〕

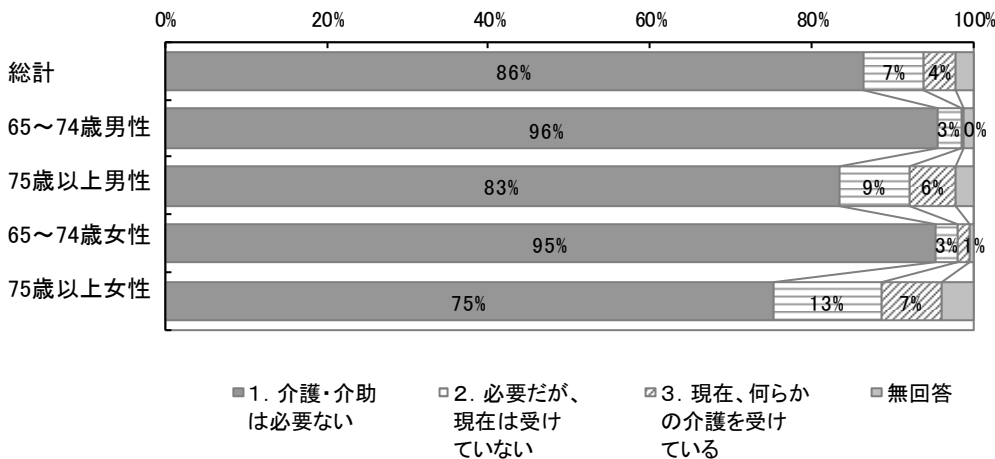
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. よくある	173	42%	24	35%	37	39%	52	44%	58	47%
2. たまにある	168	41%	28	41%	46	48%	49	42%	45	37%
3. ない	59	14%	17	25%	10	11%	16	14%	16	13%
無回答	8	2%	0	0%	2	2%	1	1%	4	3%
合計	408	100%	69	100%	95	100%	118	100%	123	100%

〔第5圏域〕

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. よくある	189	45%	36	39%	33	41%	49	42%	71	55%
2. たまにある	147	35%	34	37%	33	41%	45	39%	34	26%
3. ない	76	18%	21	23%	14	17%	22	19%	19	15%
無回答	8	2%	2	2%	1	1%	0	0%	5	4%
合計	420	100%	93	100%	81	100%	116	100%	129	100%

問7 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（○は1つ）

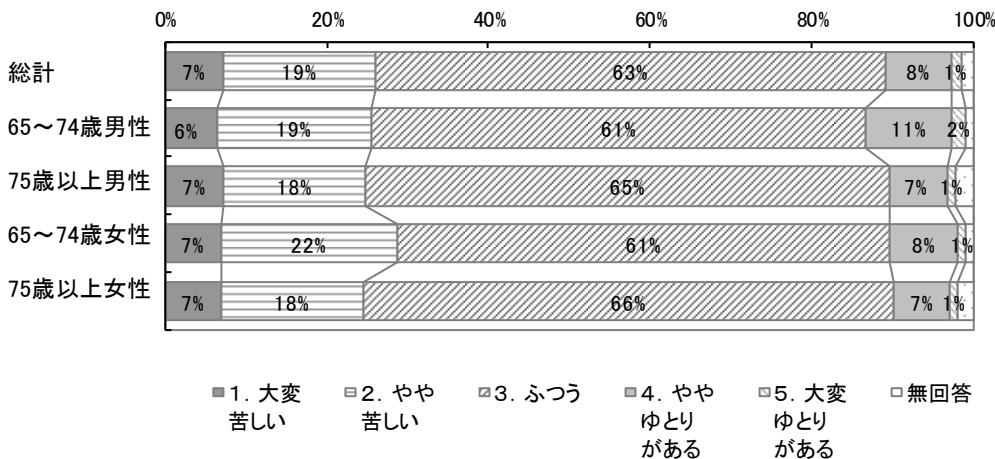
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 介護・介助は必要ない	1,884	86%	433	96%	392	83%	554	95%	455	75%
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	163	7%	13	3%	41	9%	16	3%	81	13%
3. 現在、何らかの介護を受けている	86	4%	2	0%	27	6%	8	1%	45	7%
無回答	46	2%	5	1%	10	2%	3	1%	24	4%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



本調査は、要介護者以外を対象としていますが、本設問によると、要介護認定を受けていなくても疾病等の理由で介護・介助が必要な人が回答者の1割程度います。

問8 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（○は1つ）

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 大変苦しい	156	7%	29	6%	34	7%	40	7%	42	7%
2. やや苦しい	413	19%	87	19%	83	18%	127	22%	106	18%
3. ふつう	1,373	63%	277	61%	304	65%	354	61%	398	66%
4. ややゆとりがある	177	8%	48	11%	34	7%	49	8%	41	7%
5. 大変ゆとりがある	26	1%	8	2%	5	1%	6	1%	7	1%
無回答	34	2%	4	1%	10	2%	5	1%	11	2%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%

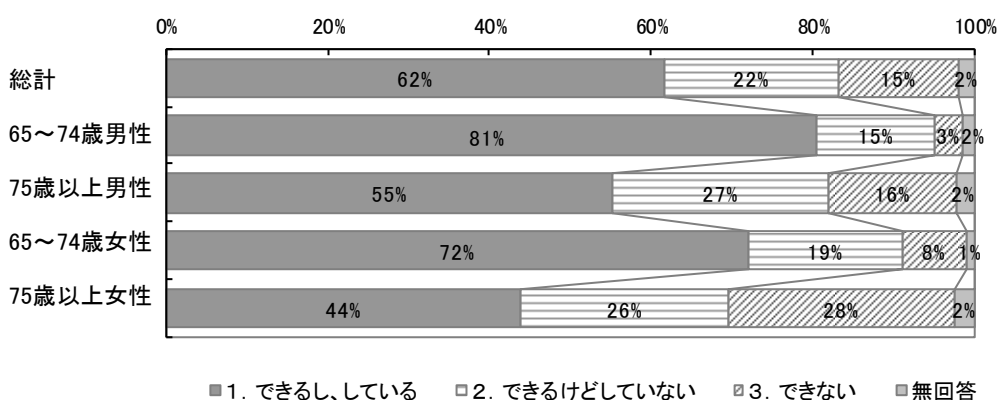


経済状況は、「大変苦しい」が7%、「やや苦しい」が19%となっており、年齢や性別では大きな差はみられない状況です。

### 第3章 からだを動かすことについて

問1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (○は1つ)

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. できるし、している	1,344	62%	365	81%	260	55%	419	72%	266	44%
2. できるけどしていない	469	22%	66	15%	125	27%	110	19%	155	26%
3. できない	323	15%	15	3%	75	16%	46	8%	169	28%
無回答	43	2%	7	2%	10	2%	6	1%	15	2%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%

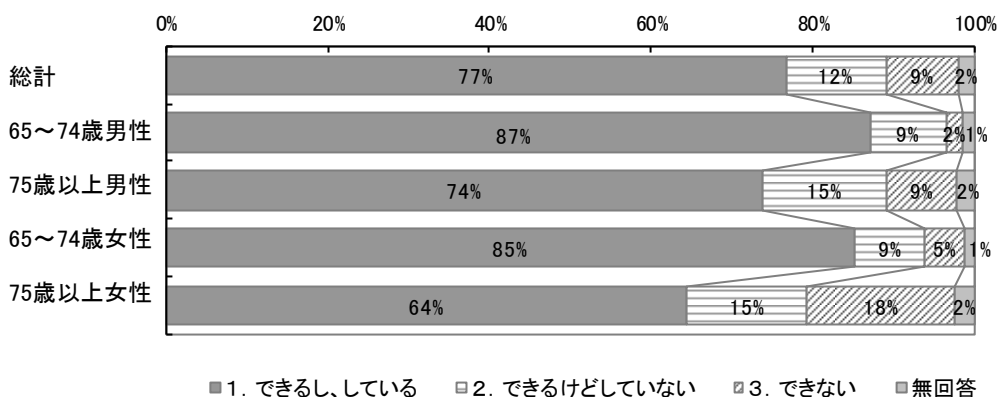


「できない」は2割弱です。この設問に限りませんが、65～74歳より75歳以上の方が「できない」の割合は高い状況です。

国のガイドラインによると、問1～問5で3問以上、リスク相当の選択肢に該当した人(問1～3は「できない」、問4は「何度もある」「1度ある」、問5は「とても不安である」「やや不安である」を選択した人)は「運動器機能の低下」の懸念があります。

問2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (○は1つ)

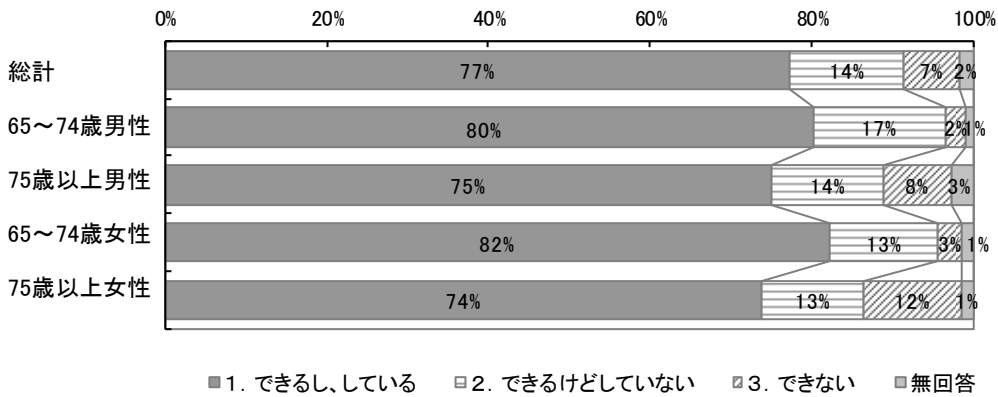
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. できるし、している	1,671	77%	395	87%	347	74%	495	85%	390	64%
2. できるけどしていない	269	12%	42	9%	72	15%	51	9%	90	15%
3. できない	198	9%	10	2%	41	9%	28	5%	111	18%
無回答	41	2%	6	1%	10	2%	7	1%	14	2%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



「できない」は約1割です。

問3 15分位続けて歩いていますか（○は1つ）

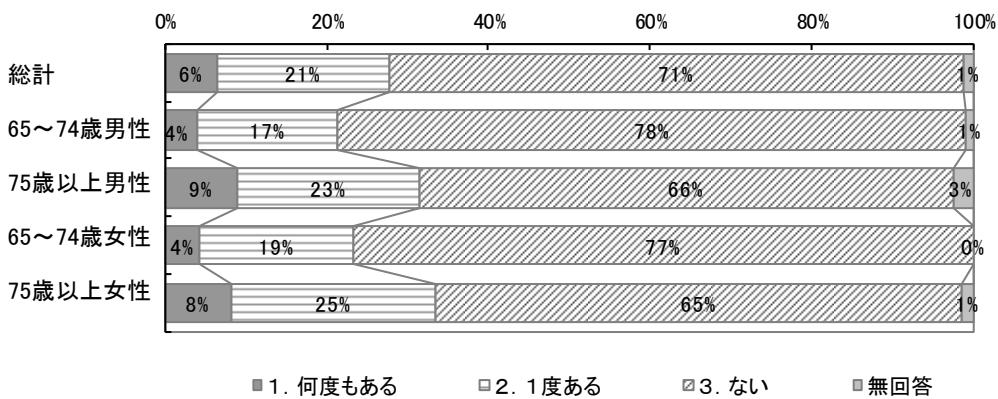
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. できるし、している	1,685	77%	363	80%	353	75%	478	82%	447	74%
2. できるけどしていない	308	14%	75	17%	65	14%	78	13%	76	13%
3. できない	147	7%	11	2%	39	8%	17	3%	73	12%
無回答	39	2%	4	1%	13	3%	8	1%	9	1%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



「できない」は7%です。

問4 過去1年間に転んだ経験がありますか（○は1つ）

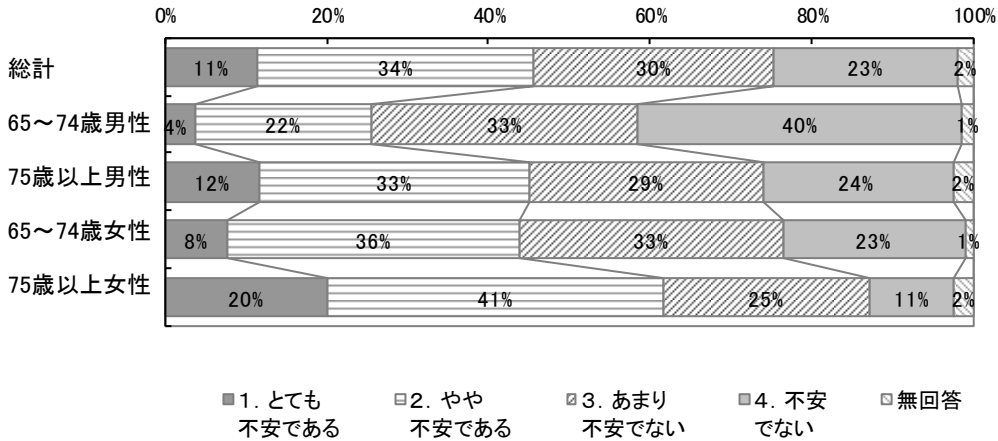
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 何度もある	140	6%	18	4%	42	9%	25	4%	49	8%
2. 1度ある	464	21%	79	17%	106	23%	110	19%	154	25%
3. ない	1,547	71%	352	78%	310	66%	446	77%	393	65%
無回答	28	1%	4	1%	12	3%	0	0%	9	1%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



「ある」は3割弱です。  
この設問に限りませんが、「からだを動かすこと」、すなわち運動器機能関連では、男性よりも女性の方が、機能低下のリスクが高いのが一般的ですが、本市では、大きな男女差はみられない状況です。

問5 転倒に対する不安は大きいですか（○は1つ）

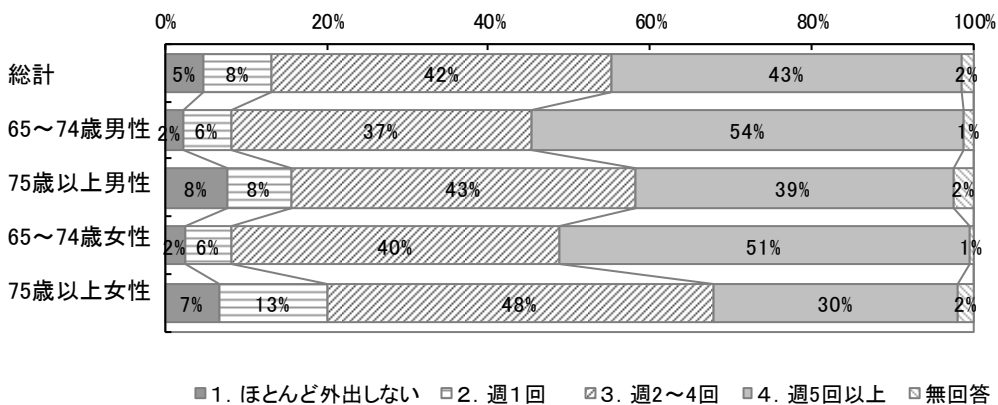
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. とても不安である	249	11%	17	4%	55	12%	45	8%	122	20%
2. やや不安である	747	34%	99	22%	157	33%	210	36%	251	41%
3. あまり不安でない	644	30%	149	33%	136	29%	189	33%	154	25%
4. 不安でない	497	23%	182	40%	111	24%	131	23%	64	11%
無回答	42	2%	6	1%	11	2%	6	1%	14	2%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



「不安である」は5割程度で、女性の方がやや高い割合となっています。

問6 週に1回以上は外出していますか（○は1つ）

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. ほとんど外出しない	104	5%	10	2%	36	8%	14	2%	40	7%
2. 週1回	183	8%	27	6%	37	8%	34	6%	81	13%
3. 週2～4回	919	42%	168	37%	201	43%	235	40%	289	48%
4. 週5回以上	939	43%	243	54%	185	39%	295	51%	184	30%
無回答	34	2%	5	1%	11	2%	3	1%	11	2%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



「週1回以下」は1割強にのぼります。  
国のガイドラインによると、「週1回以下」に該当した人は「閉じこもり傾向」の懸念があります。



〔駅に近い地域〕

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. ほとんど外出しない	69	4%	8	2%	25	7%	7	2%	28	6%
2. 週1回	123	8%	22	7%	26	8%	22	5%	51	12%
3. 週2～4回	648	42%	114	35%	146	43%	170	40%	213	48%
4. 週5回以上	685	44%	176	54%	138	40%	220	52%	143	32%
無回答	21	1%	5	2%	8	2%	1	0%	7	2%
合計	1,546	100%	325	100%	343	100%	420	100%	442	100%

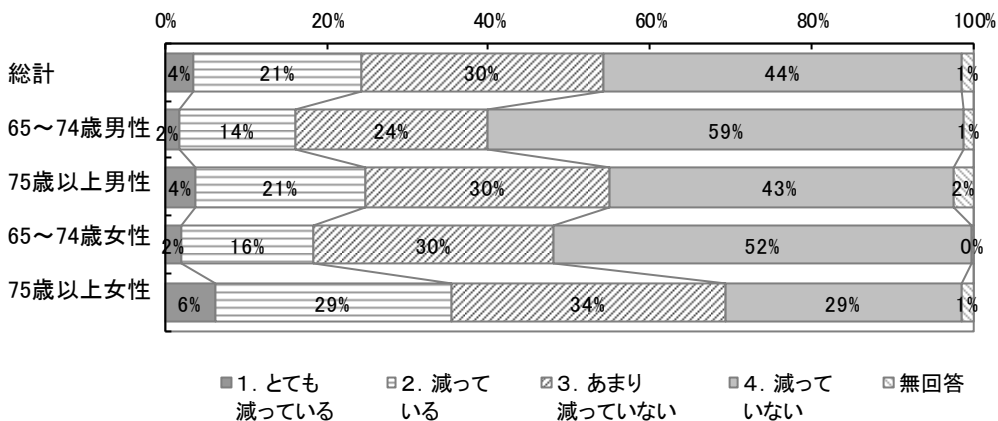
〔駅から遠い地域〕

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. ほとんど外出しない	32	6%	2	2%	11	9%	7	4%	11	7%
2. 週1回	58	10%	5	4%	11	9%	12	8%	30	19%
3. 週2～4回	250	43%	54	42%	54	43%	64	40%	75	47%
4. 週5回以上	230	40%	67	52%	47	37%	74	47%	41	25%
無回答	9	2%	0	0%	3	2%	2	1%	4	2%
合計	579	100%	128	100%	126	100%	159	100%	161	100%

住所地を「駅に近い地域」と「駅から遠い地域」に区分し、外出頻度を比較すると、わかですが、「駅から遠い地域」の居住者の方が外出頻度が低い傾向がみられます。

問7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか（○は1つ）

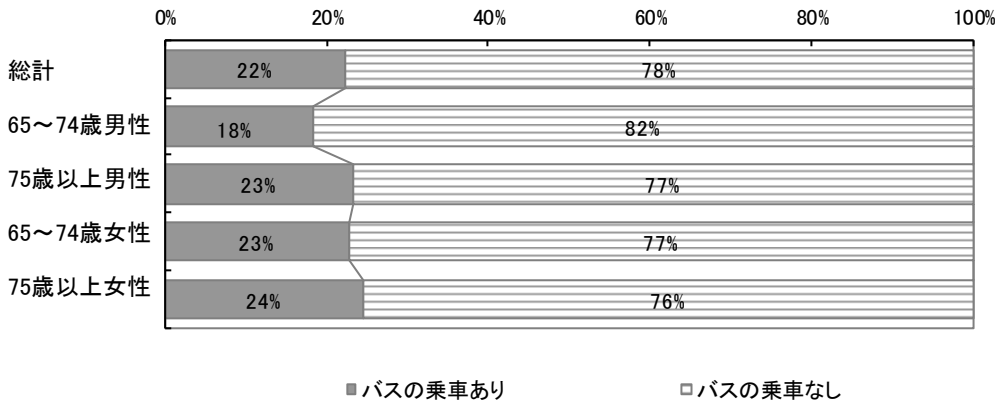
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. とても減っている	79	4%	8	2%	18	4%	12	2%	37	6%
2. 減っている	450	21%	65	14%	98	21%	95	16%	177	29%
3. あまり減っていない	651	30%	108	24%	143	30%	172	30%	205	34%
4. 減っていない	969	44%	267	59%	200	43%	301	52%	177	29%
無回答	30	1%	5	1%	11	2%	1	0%	9	1%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



「減っている」は2割強にのぼります。

問 8 東武東上線の駅まで、普段、バスか徒歩で行く場合の所要時間（数字を記入）

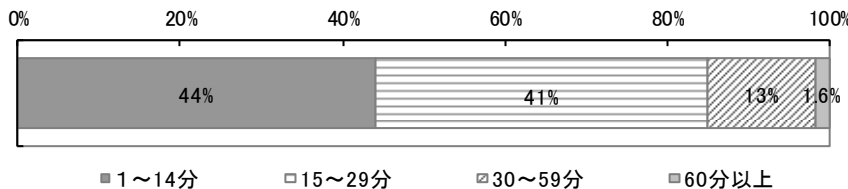
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
バスの乗車あり	486	22%	83	18%	109	23%	132	23%	148	24%
バスの乗車なし (無回答を含む)	1,693	78%	370	82%	361	77%	449	77%	457	76%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



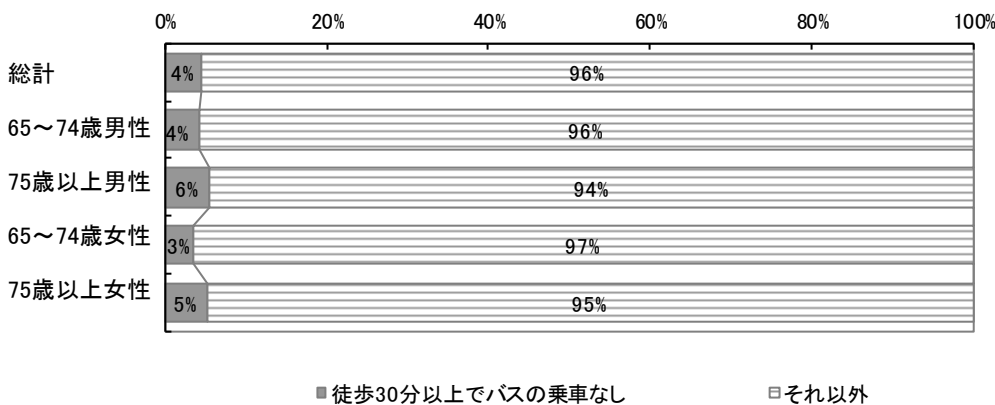
東武東上線の駅までのバスか徒歩での所要時間をたずねています。バスの乗車のある方は全体の2割程度でした。

	総計	
	人数	割合
徒歩 1～14分	864	44%
徒歩 15～29分	803	41%
徒歩 30～59分	260	13%
徒歩 60分以上	31	2%
合計	1,958	100%

徒歩での所要時間に回答のあった1,958人について、所要時間の分布をみると、徒歩1～14分が44%などとなっており、徒歩30～59分が13%、徒歩60分以上が2%でした。



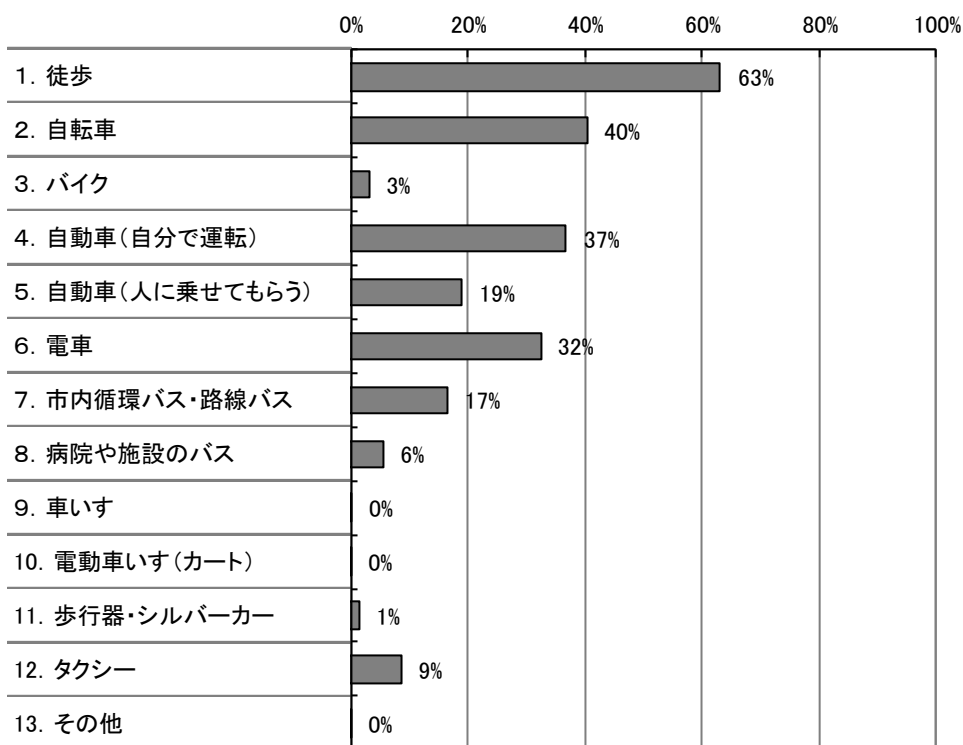
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
徒歩30分以上でバスの乗車なし	98	4%	19	4%	26	6%	20	3%	31	5%
それ以外	2,081	96%	434	96%	444	94%	561	97%	574	95%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



また、年齢や性別に関係なく、「徒歩30分以上でバスの乗車なし」という方が4%程度みられました。

問9 外出する際の移動手段は何ですか（〇はいくつでも）

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 徒歩	1,376	63%	298	66%	288	61%	372	64%	389	64%
2. 自転車	878	40%	172	38%	191	41%	310	53%	185	31%
3. バイク	70	3%	20	4%	15	3%	26	4%	8	1%
4. 自動車（自分で運転）	803	37%	311	69%	221	47%	191	33%	65	11%
5. 自動車（人に乗せてもらう）	414	19%	33	7%	54	11%	145	25%	171	28%
6. 電車	707	32%	143	32%	128	27%	220	38%	201	33%
7. 市内循環バス・路線バス	360	17%	56	12%	60	13%	90	15%	145	24%
8. 病院や施設のバス	122	6%	8	2%	35	7%	21	4%	56	9%
9. 車いす	5	0%	1	0%	1	0%	0	0%	3	0%
10. 電動車いす（カート）	3	0%	0	0%	1	0%	1	0%	0	0%
11. 歩行器・シルバーカー	31	1%	0	0%	1	0%	2	0%	24	4%
12. タクシー	167	9%	15	3%	38	9%	39	7%	74	15%
13. その他	2	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	0%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



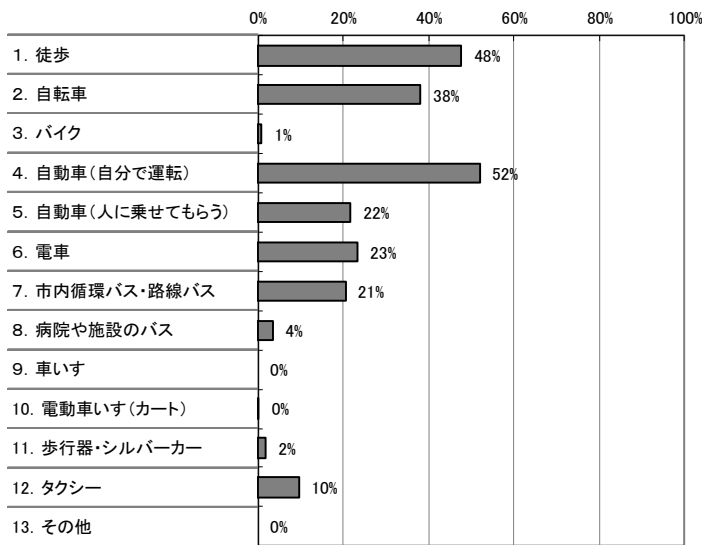
外出する際の移動手段は、「徒歩」が最も多く、「自転車」「自動車（自分で運転）」、「自転車」が続いています。「市内循環バス・路線バス」は17%ですが、75歳以上女性では24%と比較的高い割合となっています。

日常生活圏域別にみると、東武東上線の駅に近い方が多い第3圏域と第4圏域で「徒歩」と「電車」の割合が他の圏域より高く、第5圏域では「市内循環バス・路線バス」の割合が高く、「自転車」はどの圏域も4割程度と同じくらいになっています。また、「自動車（自分で運転）」は第1圏域で5割強と他の圏域より高くなっています。

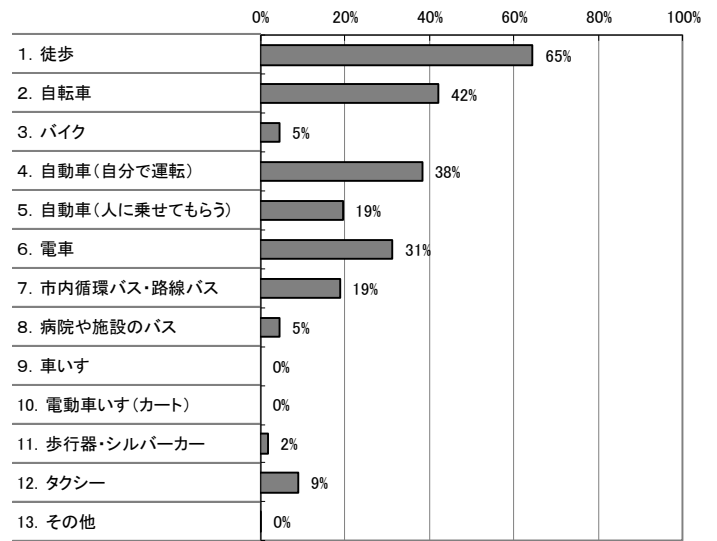
〔圏域別集計〕

	総計		第1圏域		第2圏域		第3圏域		第4圏域		第5圏域	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 徒歩	1,376	63%	149	48%	278	65%	399	72%	297	73%	235	56%
2. 自転車	878	40%	119	38%	182	42%	229	41%	175	43%	156	37%
3. バイク	70	3%	3	1%	20	5%	26	5%	7	2%	13	3%
4. 自動車（自分で運転）	803	37%	162	52%	165	38%	166	30%	134	33%	164	39%
5. 自動車（人に乗せてもらう）	414	19%	68	22%	84	19%	100	18%	75	18%	81	19%
6. 電車	707	32%	73	23%	135	31%	206	37%	165	40%	118	28%
7. 市内循環バス・路線バス	360	17%	64	21%	81	19%	56	10%	39	10%	112	27%
8. 病院や施設のバス	122	6%	11	4%	20	5%	58	10%	26	6%	6	1%
9. 車いす	5	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	0%	4	1%
10. 電動車いす（カート）	3	0%	1	0%	0	0%	1	0%	1	0%	0	0%
11. 歩行器・シルバーカー	31	1%	6	2%	8	2%	9	2%	4	1%	4	1%
12. タクシー	222	10%	30	10%	39	9%	64	12%	45	11%	43	10%
13. その他	4	0%	0	0%	1	0%	1	0%	1	0%	1	0%
合計	2,179	100%	312	100%	431	100%	554	100%	408	100%	420	100%

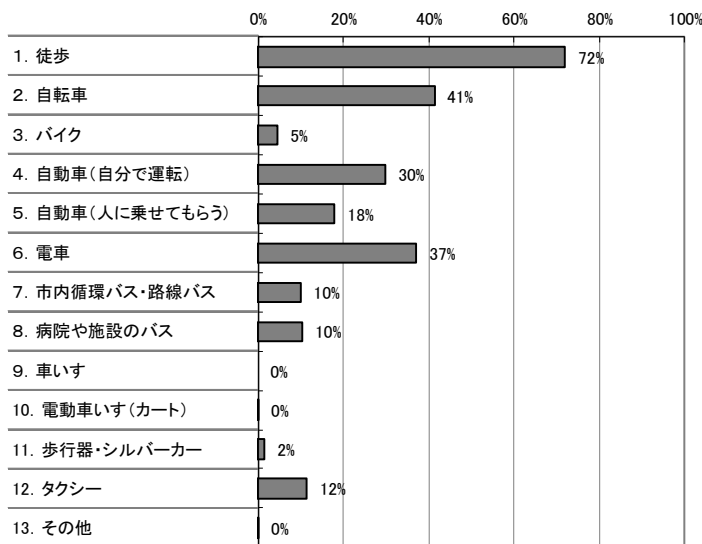
〔第1圏域〕



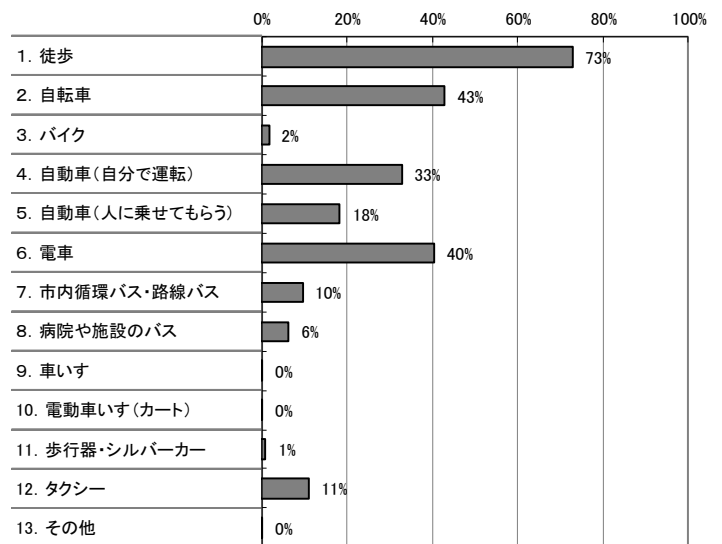
〔第2圏域〕



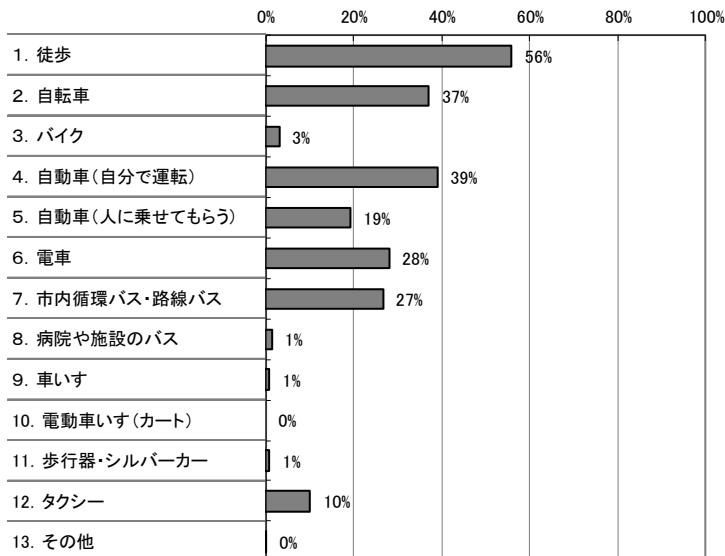
〔第3圏域〕



〔第4圏域〕



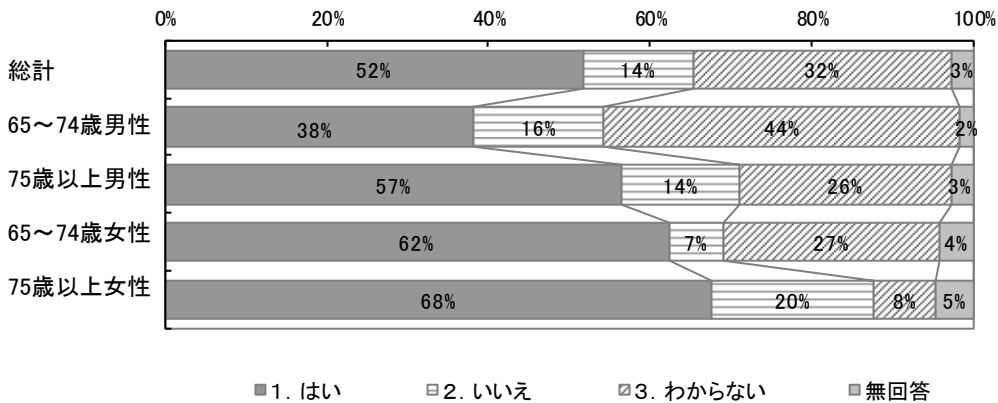
〔第5圏域〕



【問9（1）【問9で「4. 自動車（自分で運転）」の方のみ】

将来的に運転免許証を自主返納したいと思いますか（○は1つ）

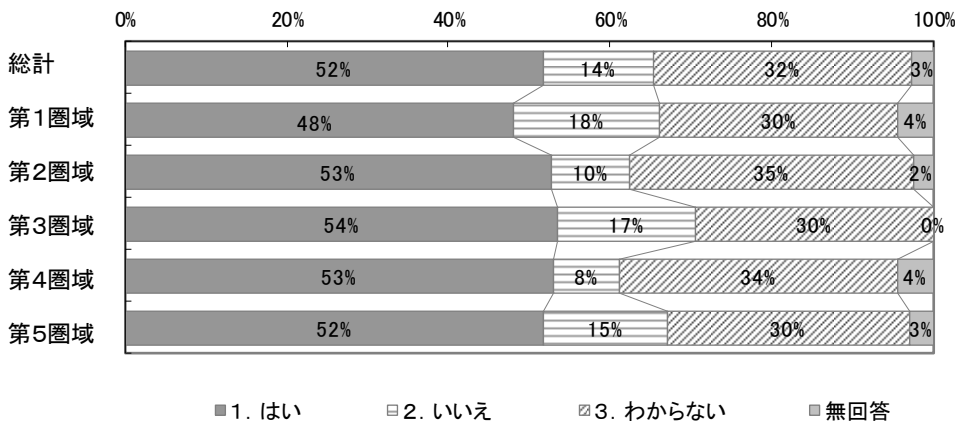
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	415	52%	119	38%	125	57%	119	62%	44	68%
2. いいえ	110	14%	50	16%	32	14%	13	7%	13	20%
3. わからない	256	32%	137	44%	58	26%	51	27%	5	8%
無回答	22	3%	5	2%	6	3%	8	4%	3	5%
合計	803	100%	311	100%	221	100%	191	100%	65	100%



自動車を自分で運転する高齢者に、将来の自主返納希望をお聞きしたところ、「はい」は約5割で「いいえ」が1割強、「わからない」が約3割となっています。

〔圏域別集計〕

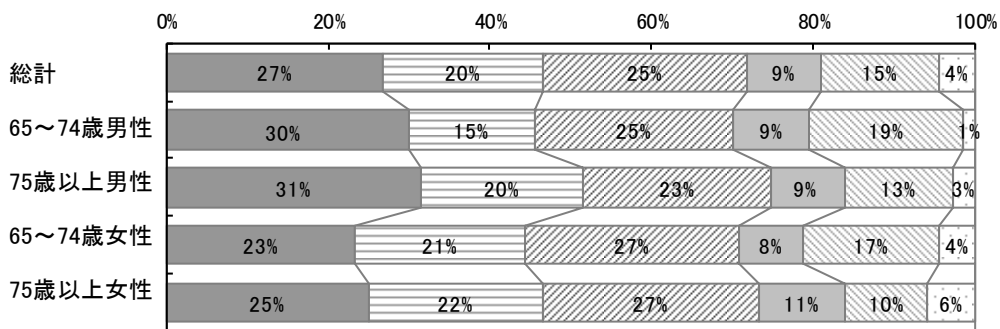
	総計		第1圏域		第2圏域		第3圏域		第4圏域		第5圏域	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	415	52%	78	48%	87	53%	89	54%	71	53%	85	52%
2. いいえ	110	14%	29	18%	16	10%	28	17%	11	8%	25	15%
3. わからない	256	32%	48	30%	58	35%	49	30%	46	34%	49	30%
無回答	22	3%	7	4%	4	2%	0	0%	6	4%	5	3%
合計	803	100%	162	100%	165	100%	166	100%	134	100%	164	100%



将来の運転免許自主返納希望を日常生活圏域別にみると、「いいえ」は第1圏域、第3圏域でやや割合が高い傾向がみられます。

問 10 習慣として、運動（散歩などを含む）をどのくらいしていますか（○は1つ）

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. ほぼ毎日	584	27%	136	30%	148	31%	136	23%	151	25%
2. 週4～5日	430	20%	70	15%	94	20%	121	21%	131	22%
3. 週2～3日	552	25%	112	25%	110	23%	155	27%	161	27%
4. 週1日	196	9%	42	9%	42	9%	45	8%	65	11%
5. 週1日未満	322	15%	87	19%	63	13%	99	17%	62	10%
無回答	95	4%	6	1%	13	3%	25	4%	35	6%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%

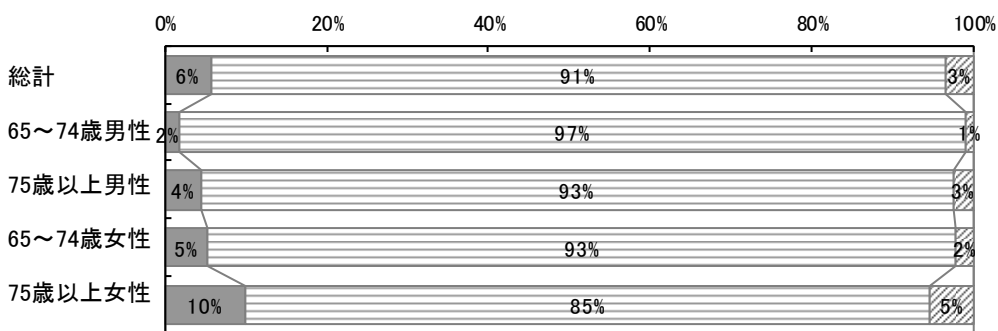


運動（散歩などを含む）を「週1日」や「週1日未満」程度しかしないという回答は約4分の1となっています。

■ 1. ほぼ毎日 □ 2. 週4～5日 ▨ 3. 週2～3日 ■ 4. 週1日 □ 5. 週1日未満 □ 無回答

問 11 市主催の介護予防教室などに参加したことはありますか（○は1つ）

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	123	6%	8	2%	21	4%	31	5%	60	10%
2. いいえ	1,981	91%	441	97%	437	93%	538	93%	513	85%
無回答	75	3%	4	1%	12	3%	12	2%	32	5%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



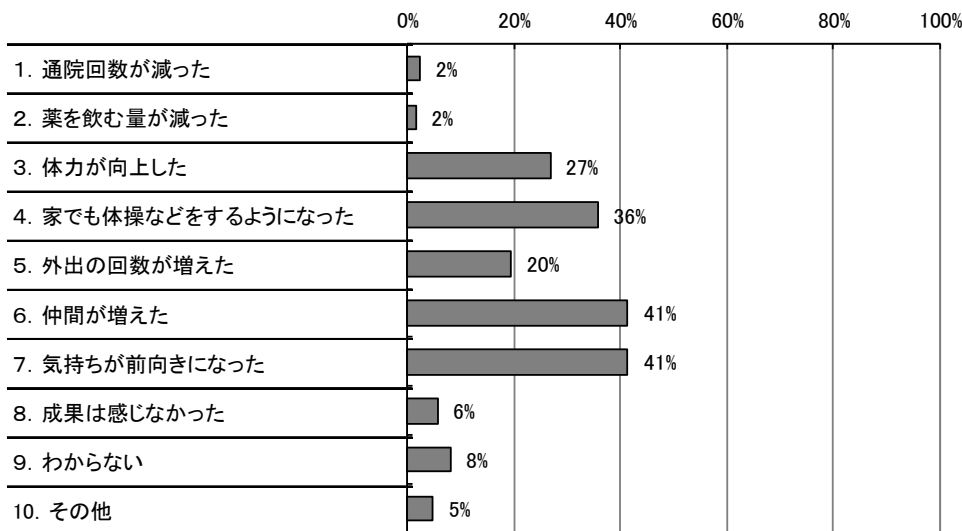
市主催の介護予防教室などの参加率は6%程度と低くなっています。

■ 1. はい □ 2. いいえ □ 無回答

【問11(1)【問11で「1. はい」の方のみ】

参加したことにより、成果や効果はありますか（〇はいくつでも）

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 通院回数が減った	3	2%	0	0%	0	0%	0	0%	2	3%
2. 薬を飲む量が減った	2	2%	1	13%	0	0%	0	0%	1	2%
3. 体力が向上した	33	27%	2	25%	5	24%	6	19%	20	33%
4. 家でも体操などをするようになった	44	36%	2	25%	6	29%	11	35%	24	40%
5. 外出の回数が増えた	24	20%	2	25%	3	14%	4	13%	14	23%
6. 仲間が増えた	51	41%	2	25%	3	14%	16	52%	29	48%
7. 気持ちが前向きになった	51	41%	2	25%	9	43%	12	39%	27	45%
8. 成果は感じなかった	7	6%	0	0%	2	10%	0	0%	5	8%
9. わからない	10	8%	2	25%	2	10%	0	0%	6	10%
10. その他	6	5%	1	13%	1	5%	3	10%	1	2%
合計	123	100%	8	100%	21	100%	31	100%	60	100%



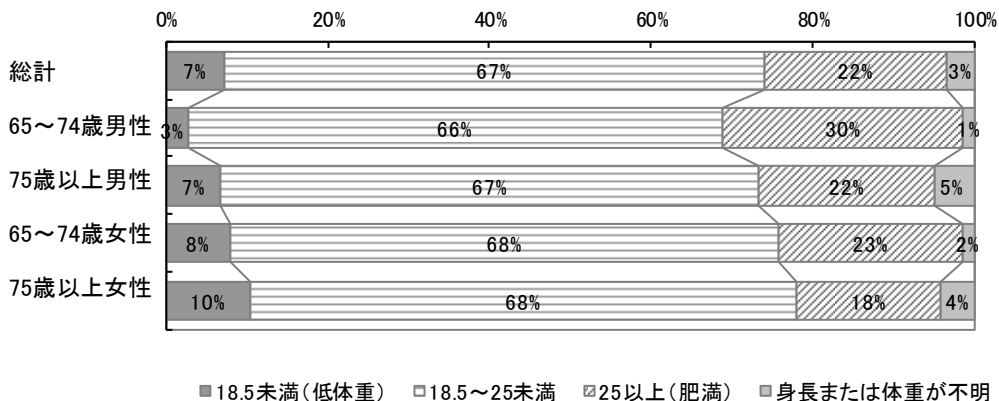
介護予防教室の成果や効果は、「仲間が増えた」「気持ちが前向きになった」「家でも体操などをするようになった」などがそれぞれ4割前後あがっています。



## 第4章 食べることについて

### 問1 BMI (体重÷身長÷身長)

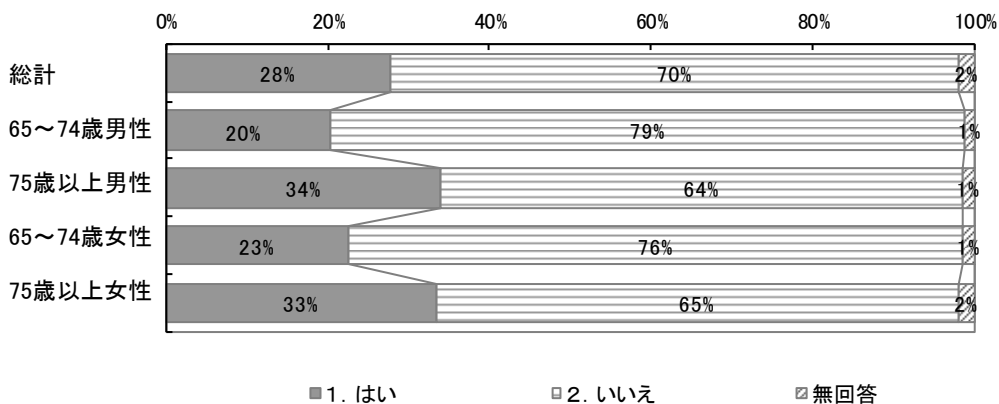
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
18.5未満(低体重)	156	7%	12	3%	32	7%	46	8%	63	10%
18.5～25未満	1,459	67%	300	66%	313	67%	395	68%	409	68%
25以上(肥満)	489	22%	135	30%	102	22%	131	23%	108	18%
身長または体重が不明	75	3%	6	1%	23	5%	9	2%	25	4%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



BMIは、18.5未満(低体重)が7%、25以上(肥満)が22%でした。

### 問2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (○は1つ)

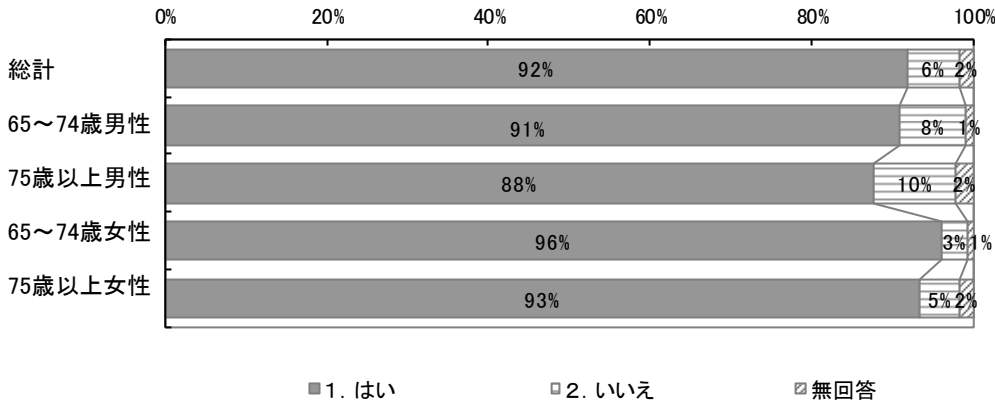
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	604	28%	92	20%	160	34%	131	23%	202	33%
2. いいえ	1,534	70%	356	79%	303	64%	442	76%	391	65%
無回答	41	2%	5	1%	7	1%	8	1%	12	2%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



「はい」は約3割で、男女とも、75歳以上の方で割合が高くなっています。  
国のガイドラインによると、「はい」の回答者は、そしゃく機能の低下の懸念があります。

問3 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか（○は1つ）

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	2,001	92%	412	91%	412	88%	558	96%	565	93%
2. いいえ	140	6%	37	8%	48	10%	19	3%	30	5%
無回答	38	2%	4	1%	10	2%	4	1%	10	2%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%

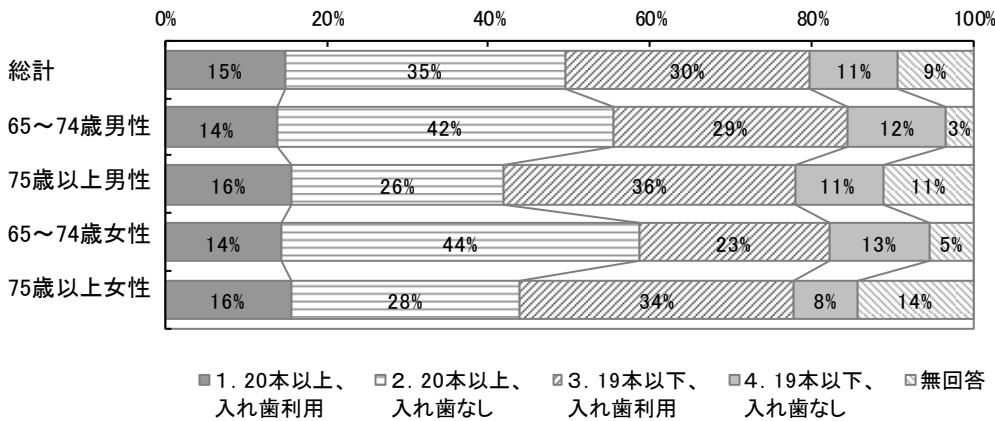


「いいえ」は6%です。

問4 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（○は1つ）

（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	324	15%	63	14%	74	16%	84	14%	94	16%
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	754	35%	188	42%	123	26%	257	44%	172	28%
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	662	30%	132	29%	170	36%	136	23%	205	34%
4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	236	11%	55	12%	51	11%	73	13%	47	8%
無回答	203	9%	15	3%	52	11%	31	5%	87	14%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%

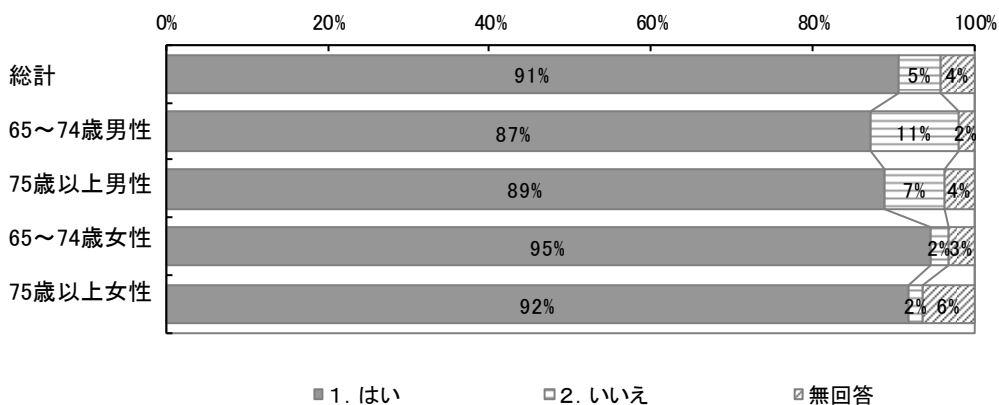


「自分の歯が19本以下」は約4割にのぼります。  
また、入れ歯の利用者も4割強にのぼります。

【問4(1)】【問4で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

毎日入れ歯の手入れをしていますか

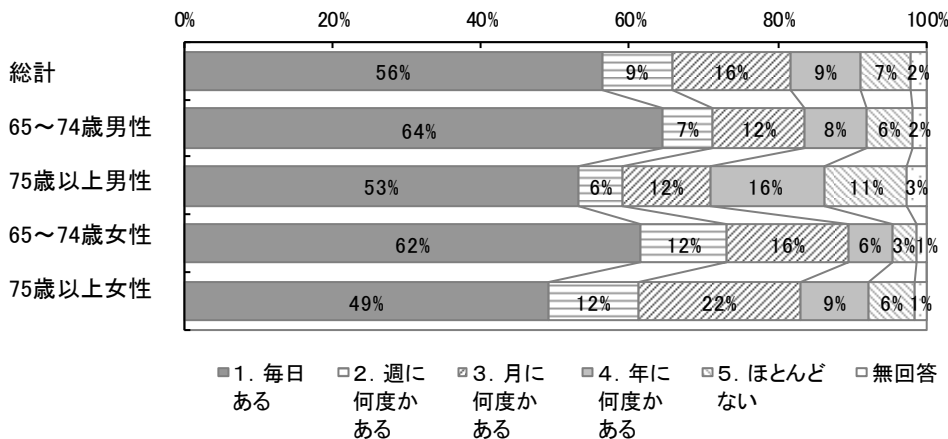
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	894	91%	170	87%	217	89%	208	95%	275	92%
2. いいえ	51	5%	21	11%	18	7%	5	2%	5	2%
無回答	41	4%	4	2%	9	4%	7	3%	19	6%
合計	986	100%	195	100%	244	100%	220	100%	299	100%



毎日入れ歯の手入れをしていないという回答も約5%みられます。

問5 どなたかと食事をとる機会がありますか (○は1つ)

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 毎日ある	1,227	56%	292	64%	250	53%	358	62%	297	49%
2. 週に何度かある	206	9%	31	7%	28	6%	67	12%	73	12%
3. 月に何度かある	347	16%	56	12%	55	12%	95	16%	133	22%
4. 年に何度かある	207	9%	37	8%	73	16%	34	6%	55	9%
5. ほとんどない	145	7%	29	6%	52	11%	19	3%	38	6%
無回答	47	2%	8	2%	12	3%	8	1%	9	1%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%

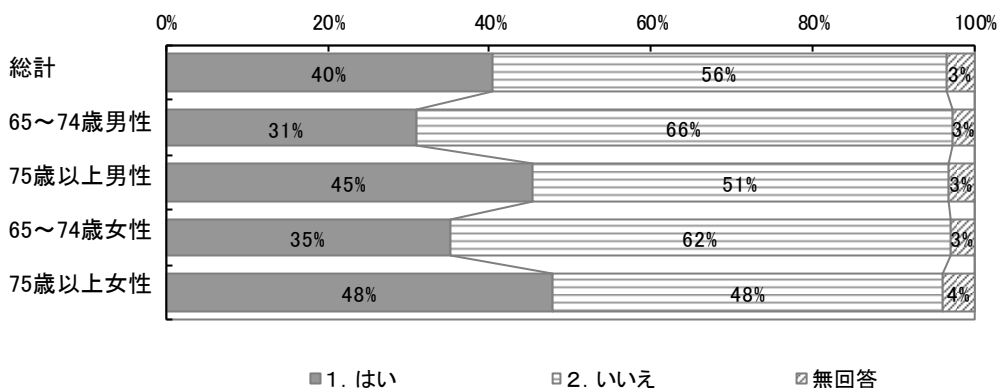


誰かと食事をとる機会が「年に何度かある」は9%、「ほとんどない」は7%で、特に75歳以上の男性ではあわせて3割近くにのびます。

## 第5章 毎日の生活について

### 問1 物忘れが多いと感じますか（○は1つ）

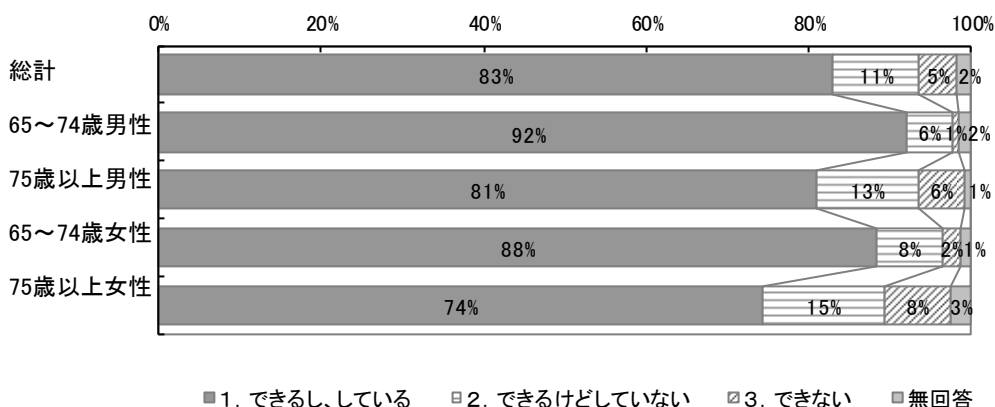
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	881	40%	140	31%	213	45%	204	35%	290	48%
2. いいえ	1,222	56%	301	66%	242	51%	360	62%	292	48%
無回答	76	3%	12	3%	15	3%	17	3%	23	4%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



「はい」は約4割です。  
 国のガイドラインによると、「はい」の人は認知機能の低下の懸念があります。

### 問2 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）（○は1つ）

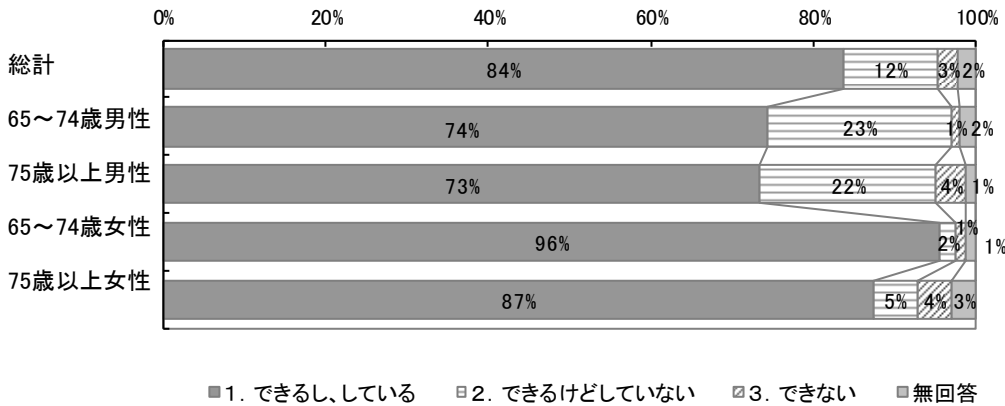
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. できるし、している	1,807	83%	417	92%	380	81%	513	88%	449	74%
2. できるけどしていない	232	11%	25	6%	59	13%	47	8%	91	15%
3. できない	99	5%	4	1%	27	6%	13	2%	49	8%
無回答	41	2%	7	2%	4	1%	8	1%	16	3%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



問2～6はI ADL（手段的日常生活動作能力～食事や排泄などのADL（日常生活動作）に対し、買物・電話・外出などADLよりも高い自立した日常生活をおくる能力を指す～）の低下を問う設問です。  
 問2の「バスや電車を使っての1人での外出」が「できない」は約5%で、75歳以上の女性では約8%とやや高い割合になっています。

問3 自分で食品・日用品の買物をしていますか（○は1つ）

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. できるし、している	1,822	84%	337	74%	345	73%	555	96%	528	87%
2. できるけどしていない	253	12%	102	23%	102	22%	12	2%	33	5%
3. できない	57	3%	5	1%	17	4%	6	1%	26	4%
無回答	47	2%	9	2%	6	1%	8	1%	18	3%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%

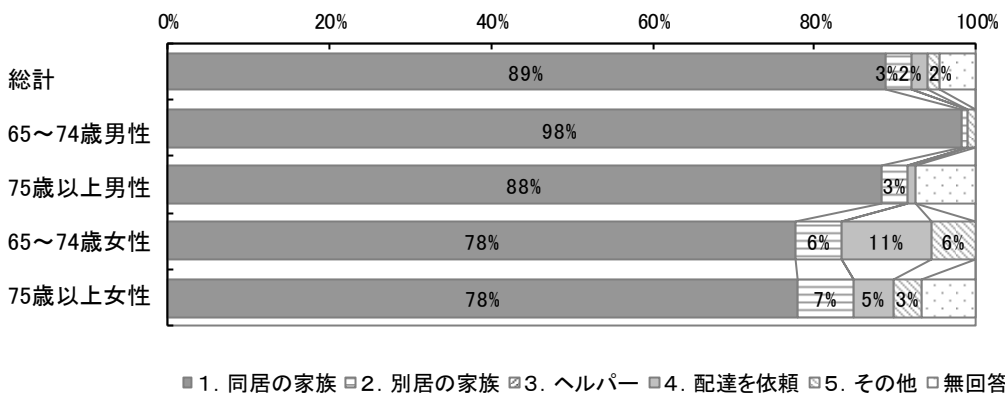


「できない」は約3%です。

問3（1）【問3で「2. できるけどしていない」「3. できない」の方のみ】

食品・日用品の買物をする人は主にどなたですか（○は1つ）

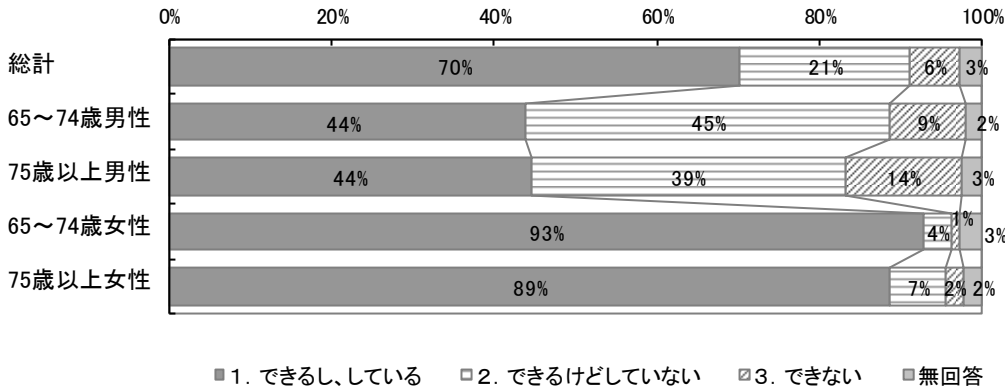
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 同居の家族	275	89%	105	98%	105	88%	14	78%	46	78%
2. 別居の家族	10	3%	1	1%	4	3%	1	6%	4	7%
3. ヘルパー	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
4. 配達を依頼	6	2%	0	0%	1	1%	2	11%	3	5%
5. その他	5	2%	1	1%	0	0%	1	6%	2	3%
無回答	14	5%	0	0%	9	8%	0	0%	4	7%
合計	310	100%	107	100%	119	100%	18	100%	59	100%



食品・日用品の買物を主にする人は、「同居の家族」が大半で、「別居の家族」や「配達を依頼」という回答もわずかにみられます。

問4 自分で食事の用意をしていますか（○は1つ）

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. できるし、している	1,530	70%	199	44%	209	44%	539	93%	537	89%
2. できるけどしていない	457	21%	203	45%	182	39%	21	4%	41	7%
3. できない	132	6%	42	9%	67	14%	5	1%	13	2%
無回答	60	3%	9	2%	12	3%	16	3%	14	2%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%

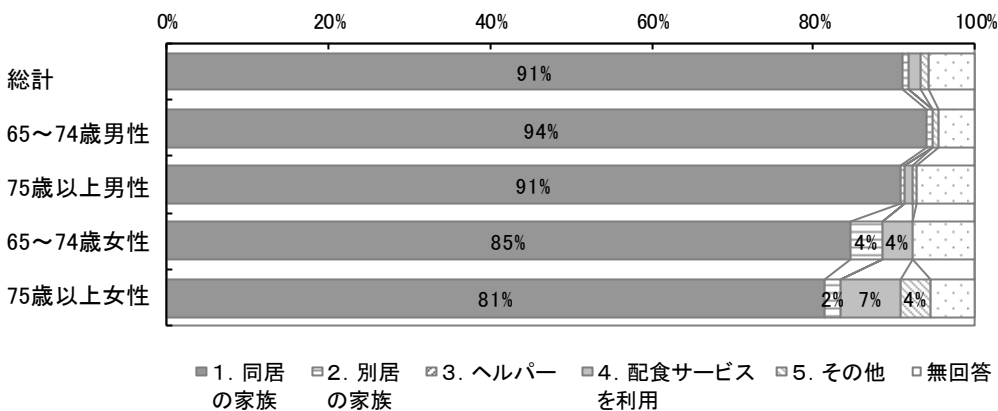


「できない」は約6%です。

問4（1）【問4で「2. できるけどしていない」「3. できない」の方のみ】

食事の用意をする人は主にどなたですか（○は1つ）

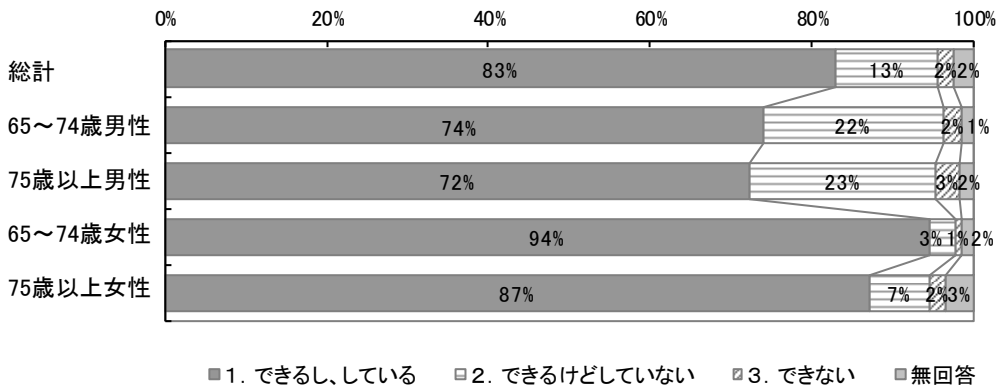
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 同居の家族	536	91%	230	94%	226	91%	22	85%	44	81%
2. 別居の家族	5	1%	2	1%	1	0%	1	4%	1	2%
3. ヘルパー	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
4. 配食サービスを利用	8	1%	0	0%	3	1%	1	4%	4	7%
5. その他	6	1%	2	1%	1	0%	0	0%	2	4%
無回答	34	6%	11	4%	18	7%	2	8%	3	6%
合計	589	100%	245	100%	249	100%	26	100%	54	100%



食事の用意を主にする人は、「同居の家族」が大半で、「別居の家族」や「配食サービスを利用」という回答もわずかにみられます。

問5 自分で請求書の支払いをしていますか（○は1つ）

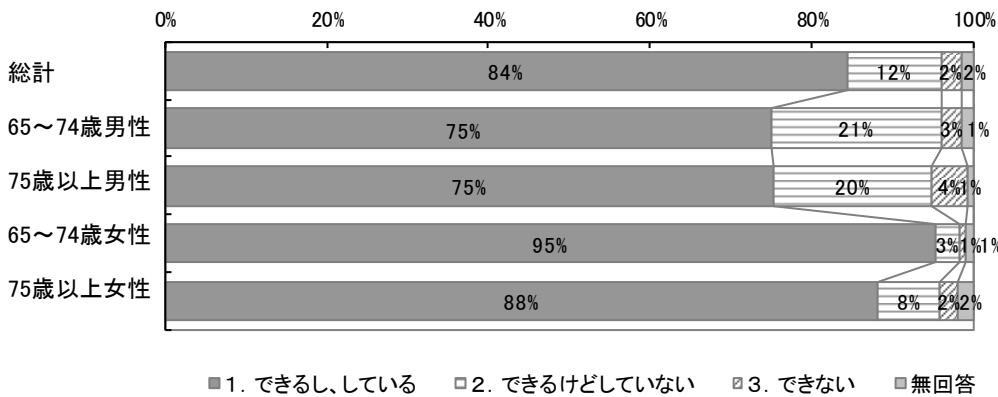
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. できるし、している	1,808	83%	335	74%	340	72%	549	94%	527	87%
2. できるけどしていない	275	13%	101	22%	108	23%	19	3%	45	7%
3. できない	44	2%	11	2%	14	3%	4	1%	12	2%
無回答	52	2%	6	1%	8	2%	9	2%	21	3%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



「できない」は約2%です。

問6 自分で預貯金の出し入れをしていますか（○は1つ）

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. できるし、している	1,839	84%	340	75%	354	75%	554	95%	534	88%
2. できるけどしていない	253	12%	95	21%	92	20%	17	3%	46	8%
3. できない	54	2%	12	3%	21	4%	5	1%	14	2%
無回答	33	2%	6	1%	3	1%	5	1%	11	2%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



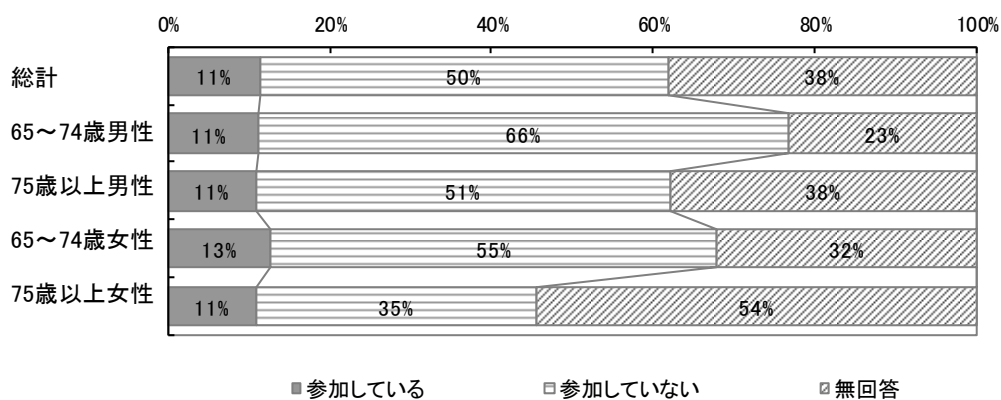
「できない」は約2%です。  
問2～6の5項目で、1つでも「できない」があった場合、IADLのうち、狭義の手段的自立度が低下している懸念があります。

## 第6章 地域での活動について

問1 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

### ① ボランティアのグループ

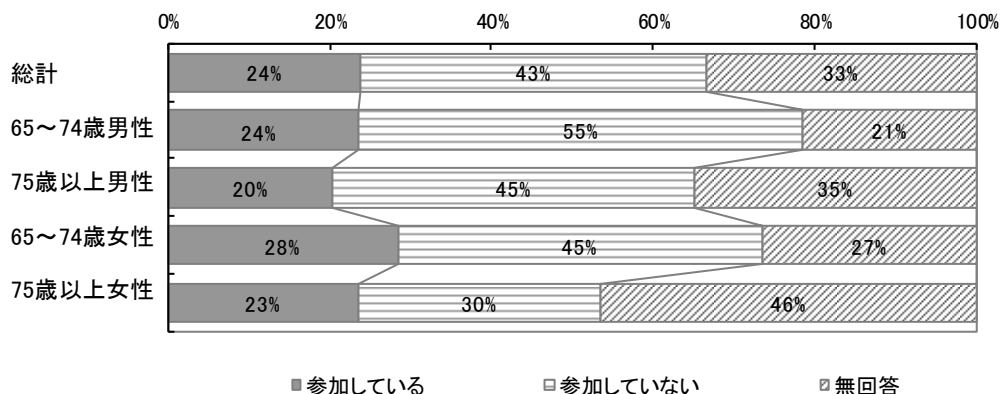
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
週4回以上	16	1%	2	0%	6	1%	5	1%	3	0%
週2～3回	30	1%	7	2%	9	2%	5	1%	7	1%
週1回	37	2%	6	1%	6	1%	10	2%	14	2%
月1～3回	99	5%	18	4%	18	4%	33	6%	28	5%
年に数回	66	3%	18	4%	12	3%	21	4%	14	2%
参加していない	1,100	50%	297	66%	241	51%	321	55%	210	35%
無回答	831	38%	105	23%	178	38%	186	32%	329	54%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



「参加している」は約11%です。

### ② スポーツ関係のグループやクラブ

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
週4回以上	96	4%	15	3%	7	1%	40	7%	30	5%
週2～3回	158	7%	21	5%	28	6%	60	10%	46	8%
週1回	122	6%	16	4%	20	4%	43	7%	41	7%
月1～3回	98	4%	32	7%	24	5%	19	3%	22	4%
年に数回	47	2%	23	5%	17	4%	3	1%	3	0%
参加していない	929	43%	249	55%	210	45%	262	45%	182	30%
無回答	729	33%	97	21%	164	35%	154	27%	281	46%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%

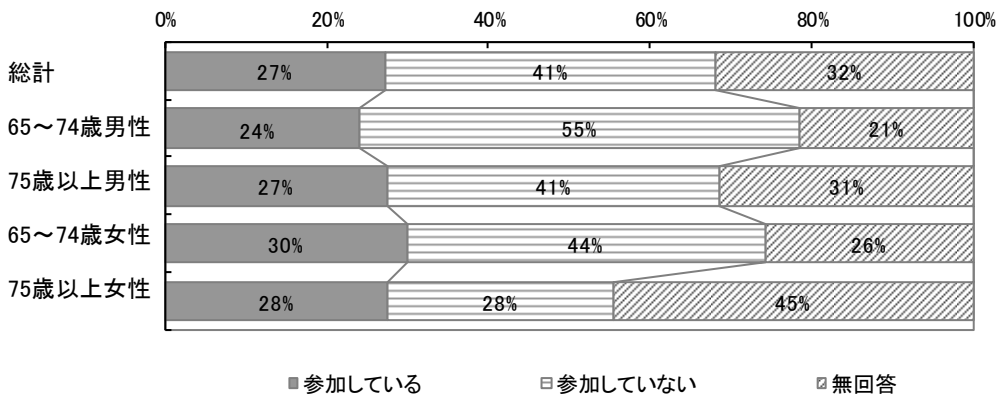


「参加している」は約24%です。



### ③ 趣味関係のグループ

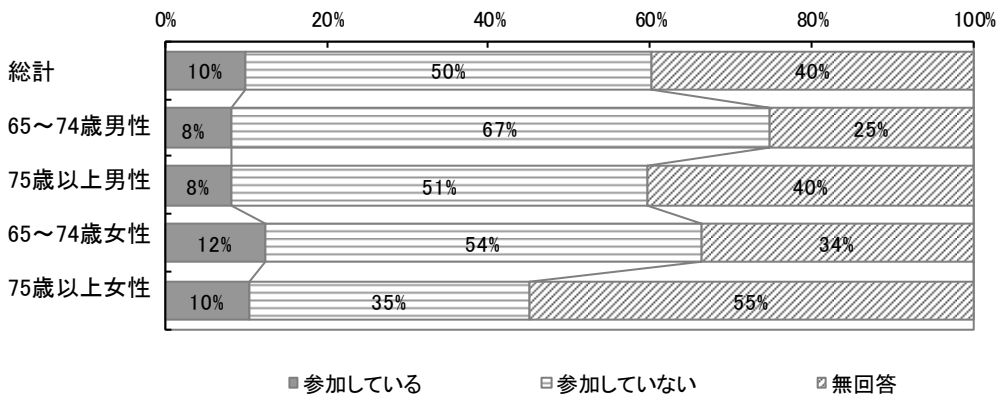
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
週4回以上	33	2%	5	1%	12	3%	4	1%	12	2%
週2～3回	91	4%	14	3%	18	4%	20	3%	34	6%
週1回	140	6%	20	4%	21	4%	53	9%	42	7%
月1～3回	248	11%	45	10%	52	11%	78	13%	70	12%
年に数回	82	4%	25	6%	26	6%	19	3%	9	1%
参加していない	892	41%	247	55%	194	41%	257	44%	168	28%
無回答	693	32%	97	21%	147	31%	150	26%	270	45%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



「参加している」は約27%です。

### ④ 学習・教養サークル

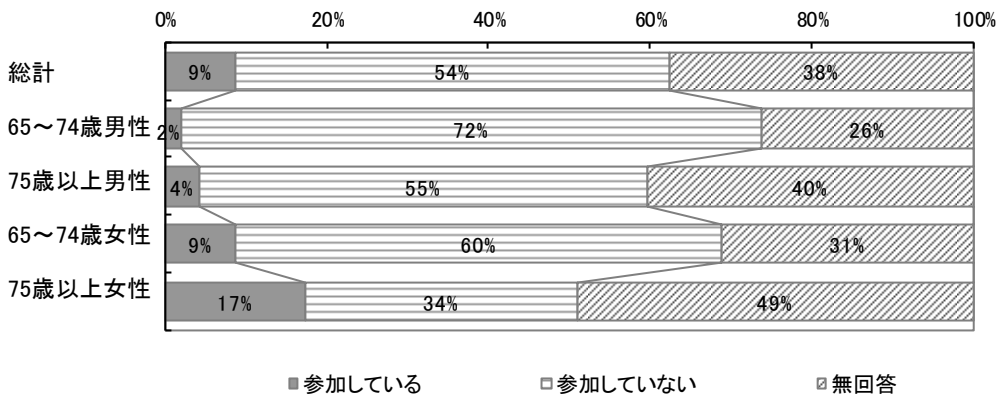
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
週4回以上	6	0%	1	0%	0	0%	3	1%	2	0%
週2～3回	21	1%	3	1%	3	1%	7	1%	7	1%
週1回	34	2%	4	1%	4	1%	11	2%	13	2%
月1～3回	94	4%	11	2%	19	4%	35	6%	28	5%
年に数回	62	3%	18	4%	13	3%	16	3%	13	2%
参加していない	1,097	50%	302	67%	242	51%	313	54%	210	35%
無回答	865	40%	114	25%	189	40%	196	34%	332	55%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



「参加している」は約10%です。

⑤ ふじみパワーアップ体操クラブなど介護予防のための通いの場

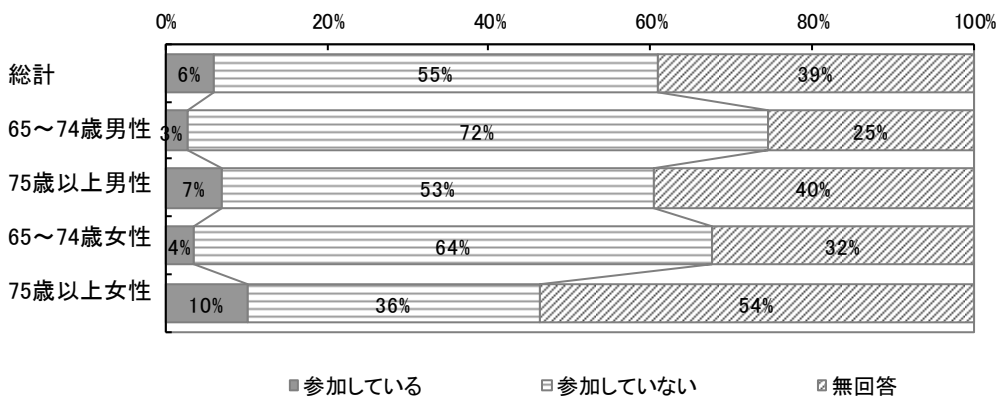
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
週4回以上	20	1%	1	0%	3	1%	4	1%	11	2%
週2～3回	25	1%	2	0%	1	0%	4	1%	18	3%
週1回	106	5%	4	1%	9	2%	35	6%	55	9%
月1～3回	31	1%	1	0%	4	1%	6	1%	18	3%
年に数回	9	0%	1	0%	3	1%	2	0%	3	0%
参加していない	1,167	54%	325	72%	260	55%	349	60%	203	34%
無回答	821	38%	119	26%	190	40%	181	31%	297	49%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



「参加している」は約9%です。女性の参加率が高くなっています。

⑥ 老人クラブ

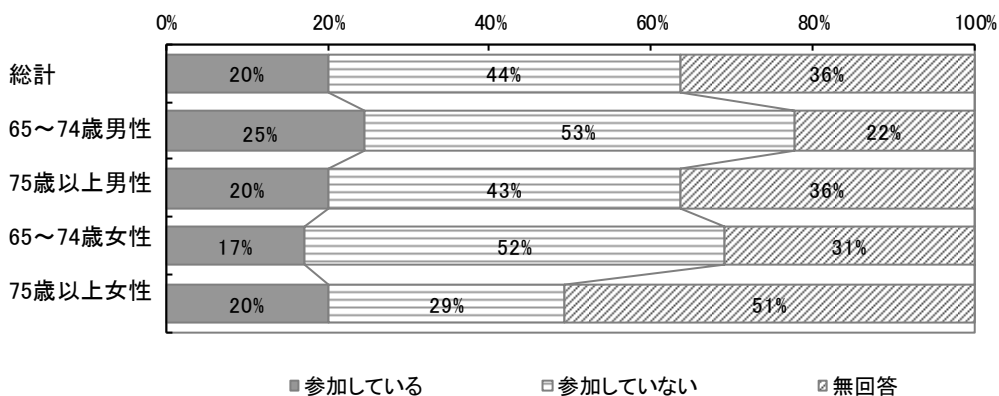
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
週4回以上	5	0%	0	0%	1	0%	1	0%	3	0%
週2～3回	10	0%	0	0%	2	0%	3	1%	5	1%
週1回	8	0%	2	0%	0	0%	1	0%	4	1%
月1～3回	51	2%	2	0%	16	3%	8	1%	24	4%
年に数回	56	3%	8	2%	14	3%	8	1%	25	4%
参加していない	1,197	55%	326	72%	251	53%	372	64%	219	36%
無回答	852	39%	115	25%	186	40%	188	32%	325	54%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



「参加している」は約6%です。75歳以上の高齢者の参加率が高くなっています。

⑦ 町内会・自治会

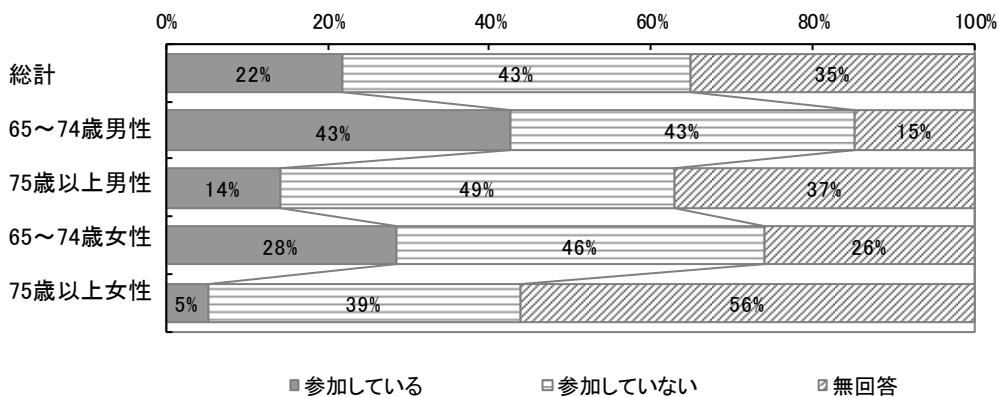
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
週4回以上	6	0%	0	0%	2	0%	0	0%	4	1%
週2～3回	16	1%	5	1%	5	1%	3	1%	3	0%
週1回	17	1%	6	1%	1	0%	0	0%	10	2%
月1～3回	90	4%	20	4%	26	6%	17	3%	24	4%
年に数回	309	14%	80	18%	61	13%	80	14%	81	13%
参加していない	948	44%	241	53%	204	43%	302	52%	177	29%
無回答	793	36%	101	22%	171	36%	179	31%	306	51%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



「参加している」は約20%です。

⑧ 収入のある仕事

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
週4回以上	249	11%	109	24%	22	5%	98	17%	12	2%
週2～3回	154	7%	67	15%	27	6%	45	8%	9	1%
週1回	19	1%	6	1%	2	0%	7	1%	2	0%
月1～3回	30	1%	6	1%	5	1%	10	2%	6	1%
年に数回	22	1%	5	1%	10	2%	5	1%	2	0%
参加していない	941	43%	193	43%	230	49%	265	46%	234	39%
無回答	764	35%	67	15%	174	37%	151	26%	340	56%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



「参加している」(働いている)は約22%です。

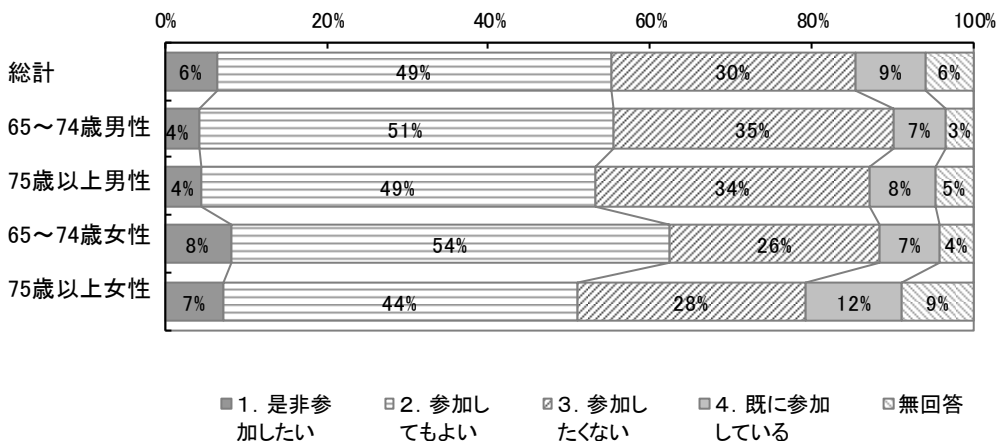
〔問1 ①～⑧の再集計〕

	総計		第1圏域		第2圏域		第3圏域		第4圏域		第5圏域	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①～⑧すべてに参加していない	456	21%	58	19%	86	20%	108	19%	96	24%	98	23%
1つでも参加している	1,418	65%	218	70%	287	67%	371	67%	258	63%	248	59%
問1 ①～⑧のすべてに無回答	305	14%	36	12%	58	13%	75	14%	54	13%	74	18%
合計	2,179	100%	312	100%	431	100%	554	100%	408	100%	420	100%

問1の①～⑧のすべてに参加していない方だけを抽出すると21%であり、日常生活圏域別では、19%から24%の範囲にありました。

問2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（○は1つ）

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 是非参加したい	141	6%	19	4%	21	4%	47	8%	44	7%
2. 参加してもよい	1,060	49%	232	51%	229	49%	316	54%	264	44%
3. 参加したくない	662	30%	157	35%	160	34%	151	26%	172	28%
4. 既に参加している	189	9%	30	7%	38	8%	43	7%	72	12%
無回答	127	6%	15	3%	22	5%	24	4%	53	9%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



「有志による地域づくり活動への参加」は、「既に参加している」は1割程度で、「参加したい・してもよい」は5割強となっています。

日常生活圏域別にみると、年齢別・性別ごとの集計結果も含め、大きな違いはないものの、例えば、第1圏域では、男性の「既に参加している」の割合が他の圏域と比較してやや高いなど、傾向の違いがみられる層があります（集計表の囲み部分）。

〔第1圏域〕

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 是非参加したい	16	5%	1	1%	6	8%	4	5%	5	6%
2. 参加してもよい	162	52%	33	45%	38	51%	49	65%	39	46%
3. 参加したくない	91	29%	29	39%	21	28%	18	24%	22	26%
4. 既に参加している	32	10%	10	14%	8	11%	3	4%	11	13%
無回答	11	4%	1	1%	1	1%	1	1%	7	8%
合計	312	100%	74	100%	74	100%	75	100%	84	100%

〔第2圏域〕

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 是非参加したい	28	6%	6	6%	4	5%	7	5%	11	9%
2. 参加してもよい	205	48%	57	57%	33	42%	68	52%	45	39%
3. 参加したくない	129	30%	30	30%	29	37%	37	28%	30	26%
4. 既に参加している	35	8%	4	4%	6	8%	6	5%	18	16%
無回答	34	8%	3	3%	6	8%	12	9%	12	10%
合計	431	100%	100	100%	78	100%	130	100%	116	100%

〔第3圏域〕

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 是非参加したい	32	6%	5	4%	3	2%	13	9%	10	7%
2. 参加してもよい	275	50%	60	51%	74	52%	72	51%	68	45%
3. 参加したくない	174	31%	40	34%	49	35%	40	29%	42	28%
4. 既に参加している	43	8%	6	5%	9	6%	12	9%	16	11%
無回答	30	5%	6	5%	6	4%	3	2%	15	10%
合計	554	100%	117	100%	141	100%	140	100%	151	100%

〔第4圏域〕

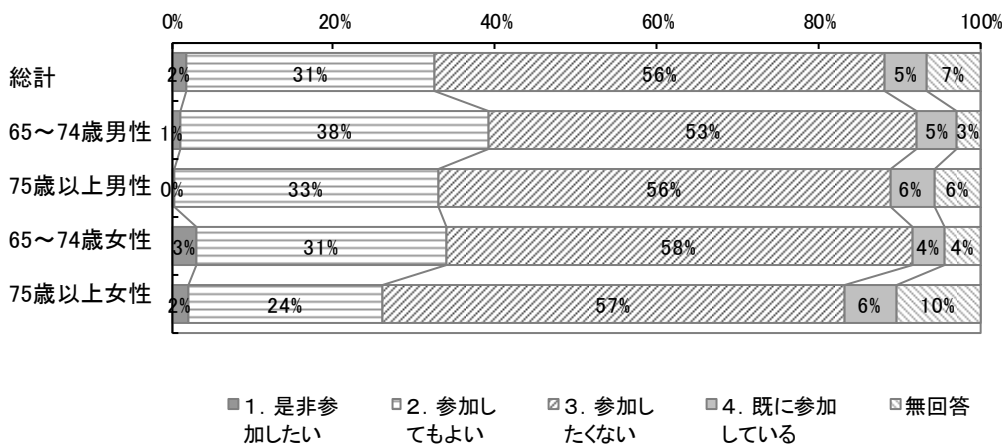
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 是非参加したい	33	8%	3	4%	3	3%	14	12%	12	10%
2. 参加してもよい	210	51%	41	59%	52	55%	61	52%	56	46%
3. 参加したくない	111	27%	18	26%	29	31%	26	22%	37	30%
4. 既に参加している	36	9%	5	7%	5	5%	15	13%	10	8%
無回答	18	4%	2	3%	6	6%	2	2%	8	7%
合計	408	100%	69	100%	95	100%	118	100%	123	100%

〔第5圏域〕

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 是非参加したい	23	5%	4	4%	5	6%	9	8%	5	4%
2. 参加してもよい	194	46%	41	44%	32	40%	64	55%	56	43%
3. 参加したくない	141	34%	40	43%	31	38%	30	26%	40	31%
4. 既に参加している	39	9%	5	5%	10	12%	7	6%	17	13%
無回答	23	5%	3	3%	3	4%	6	5%	11	9%
合計	420	100%	93	100%	81	100%	116	100%	129	100%

問3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（○は1つ）

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 是非参加したい	40	2%	5	1%	1	0%	18	3%	12	2%
2. 参加してもよい	669	31%	173	38%	154	33%	179	31%	146	24%
3. 参加したくない	1,214	56%	240	53%	263	56%	335	58%	345	57%
4. 既に参加している	113	5%	22	5%	26	6%	24	4%	39	6%
無回答	143	7%	13	3%	26	6%	25	4%	63	10%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



「有志による地域づくり活動の企画・運営」に、「既に参加している」は約5%で、「参加したい・参加してもよい」は3割強となっています。

日常生活圏域別にみると、年齢別・性別ごとの集計結果も含め、大きな違いはないものの、例えば、第2圏域では、65～74歳男性の「参加してもよい」の割合が他の圏域と比較してやや高いなど、傾向の違いがみられる層があります（集計表の囲み部分）。

## 〔第1圏域〕

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 是非参加したい	4	1%	0	0%	0	0%	3	4%	1	1%
2. 参加してもよい	109	35%	30	41%	24	32%	22	29%	30	36%
3. 参加したくない	168	54%	38	51%	44	59%	45	60%	40	48%
4. 既に参加している	14	4%	5	7%	3	4%	3	4%	3	4%
無回答	17	5%	1	1%	3	4%	2	3%	10	12%
合計	312	100%	74	100%	74	100%	75	100%	84	100%

## 〔第2圏域〕

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 是非参加したい	10	2%	2	2%	0	0%	4	3%	4	3%
2. 参加してもよい	129	30%	45	45%	24	31%	36	28%	22	19%
3. 参加したくない	235	55%	49	49%	45	58%	77	59%	61	53%
4. 既に参加している	24	6%	3	3%	3	4%	3	2%	14	12%
無回答	33	8%	1	1%	6	8%	10	8%	15	13%
合計	431	100%	100	100%	78	100%	130	100%	116	100%

## 〔第3圏域〕

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 是非参加したい	8	1%	3	3%	0	0%	3	2%	1	1%
2. 参加してもよい	175	32%	43	37%	46	33%	49	35%	36	24%
3. 参加したくない	316	57%	59	50%	84	60%	78	56%	92	61%
4. 既に参加している	26	5%	6	5%	7	5%	7	5%	6	4%
無回答	29	5%	6	5%	4	3%	3	2%	16	11%
合計	554	100%	117	100%	141	100%	140	100%	151	100%

## 〔第4圏域〕

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 是非参加したい	6	1%	0	0%	0	0%	4	3%	2	2%
2. 参加してもよい	125	31%	27	39%	30	32%	37	31%	31	25%
3. 参加したくない	227	56%	37	54%	51	54%	67	57%	70	57%
4. 既に参加している	22	5%	3	4%	4	4%	8	7%	7	6%
無回答	28	7%	2	3%	10	11%	2	2%	13	11%
合計	408	100%	69	100%	95	100%	118	100%	123	100%

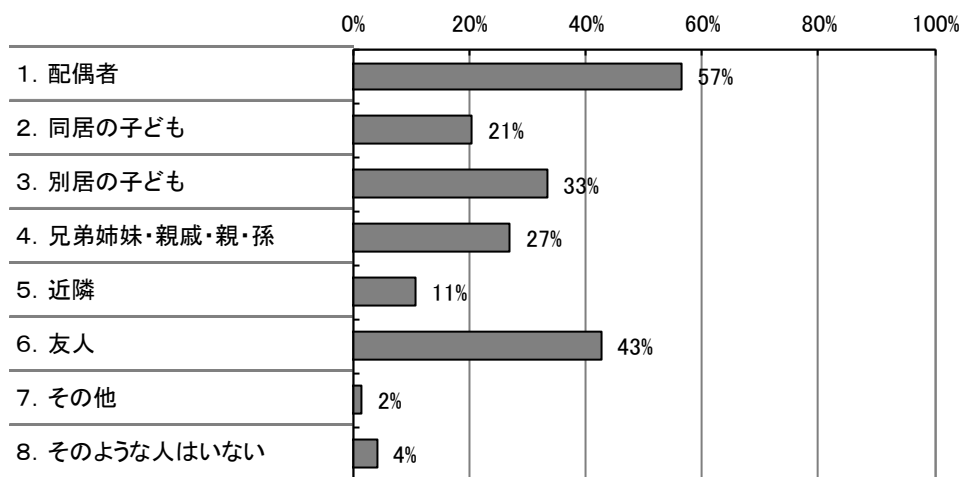
## 〔第5圏域〕

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 是非参加したい	9	2%	0	0%	1	1%	4	3%	4	3%
2. 参加してもよい	119	28%	28	30%	30	37%	35	30%	26	20%
3. 参加したくない	243	58%	57	61%	38	47%	66	57%	81	63%
4. 既に参加している	26	6%	5	5%	9	11%	3	3%	9	7%
無回答	23	5%	3	3%	3	4%	8	7%	9	7%
合計	420	100%	93	100%	81	100%	116	100%	129	100%

## 第7章 たすけあいについて

### 問1 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（〇はいくつでも）

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 配偶者	1,232	57%	336	74%	326	69%	320	55%	220	36%
2. 同居の子ども	449	21%	63	14%	78	17%	140	24%	159	26%
3. 別居の子ども	729	33%	101	22%	129	27%	246	42%	242	40%
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	591	27%	91	20%	89	19%	201	35%	201	33%
5. 近隣	237	11%	29	6%	32	7%	80	14%	92	15%
6. 友人	931	43%	163	36%	101	21%	354	61%	292	48%
7. その他	36	2%	10	2%	6	1%	10	2%	8	1%
8. そのような人はいない	92	4%	23	5%	28	6%	11	2%	22	4%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



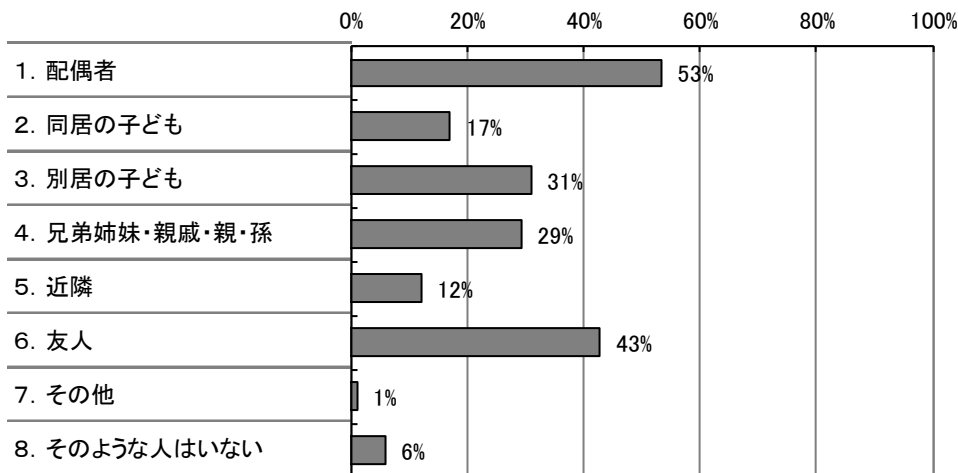
「心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人」は、「配偶者」のほか、「友人」、「子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」などがあがっています。

### 問2 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（〇はいくつでも）

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 配偶者	1,165	53%	336	74%	321	68%	291	50%	189	31%
2. 同居の子ども	374	17%	66	15%	62	13%	119	20%	122	20%
3. 別居の子ども	677	31%	115	25%	128	27%	233	40%	190	31%
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	641	29%	108	24%	107	23%	224	39%	187	31%
5. 近隣	265	12%	31	7%	38	8%	93	16%	98	16%
6. 友人	935	43%	165	36%	92	20%	357	61%	299	49%
7. その他	25	1%	10	2%	7	1%	5	1%	3	0%
8. そのような人はいない	131	6%	24	5%	40	9%	16	3%	42	7%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%

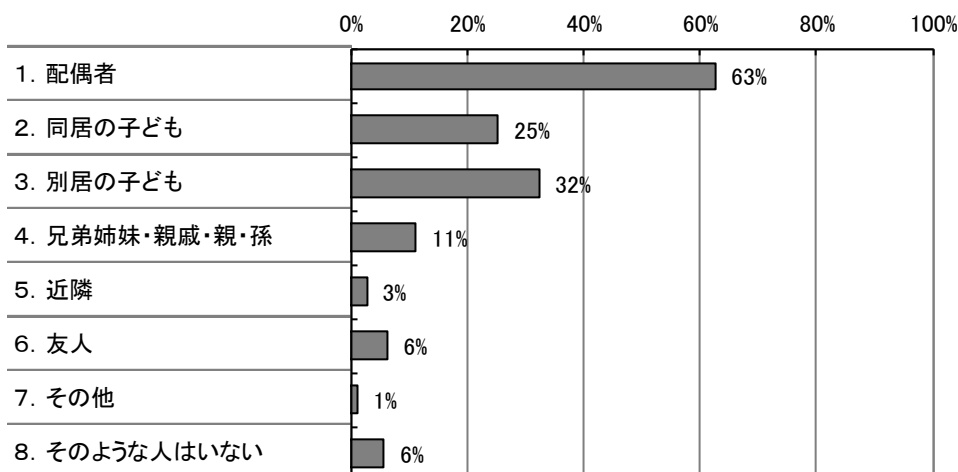
「心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人」も、「それらを聞いてくれる人」と同じような割合で、「配偶者」のほか、「友人」、「子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」などがあがっています。





問3 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(〇はいくつでも)

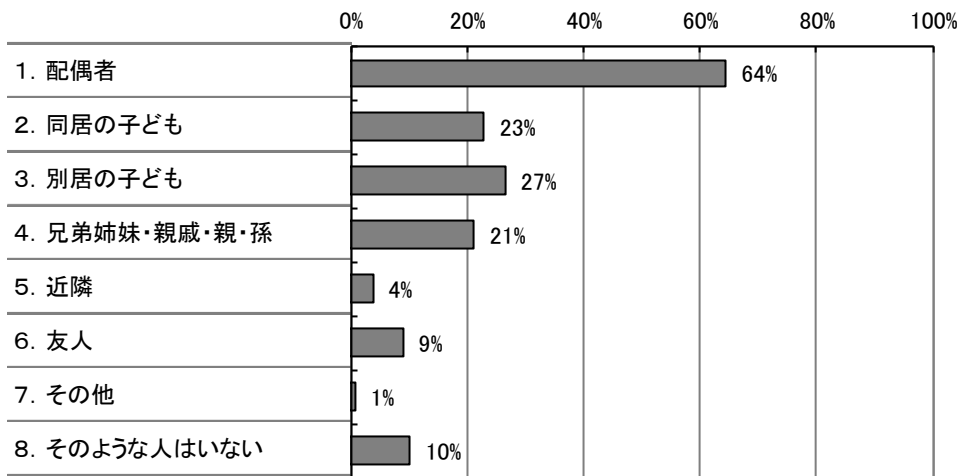
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 配偶者	1,365	63%	369	81%	351	75%	363	62%	248	41%
2. 同居の子ども	553	25%	81	18%	93	20%	166	29%	199	33%
3. 別居の子ども	706	32%	105	23%	124	26%	220	38%	241	40%
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	246	11%	38	8%	44	9%	70	12%	87	14%
5. 近隣	61	3%	4	1%	15	3%	16	3%	26	4%
6. 友人	140	6%	13	3%	12	3%	53	9%	58	10%
7. その他	26	1%	4	1%	3	1%	10	2%	9	1%
8. そのような人はいない	127	6%	33	7%	26	6%	27	5%	36	6%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



「病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人」は、「配偶者」、「子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」などがあがっています。

問4 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人（〇はいくつでも）

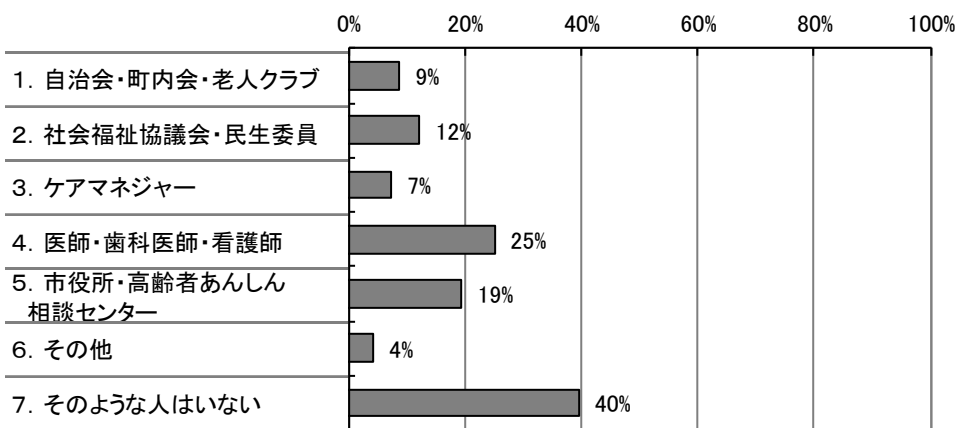
	総計		65～74歳 男性		75歳以上 男性		65～74歳 女性		75歳以上 女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 配偶者	1,403	64%	357	79%	355	76%	386	66%	271	45%
2. 同居の子ども	500	23%	92	20%	72	15%	164	28%	160	26%
3. 別居の子ども	579	27%	88	19%	85	18%	222	38%	171	28%
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	462	21%	79	17%	72	15%	182	31%	121	20%
5. 近隣	83	4%	7	2%	11	2%	29	5%	33	5%
6. 友人	196	9%	21	5%	21	4%	76	13%	72	12%
7. その他	16	1%	1	0%	2	0%	7	1%	6	1%
8. そのような人はいない	222	10%	43	9%	45	10%	37	6%	90	15%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



「看病や世話を  
してあげる人」  
も、「看病や世話を  
してくれる人」  
と同様の傾向と  
なっています。

問5 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（〇はいくつでも）

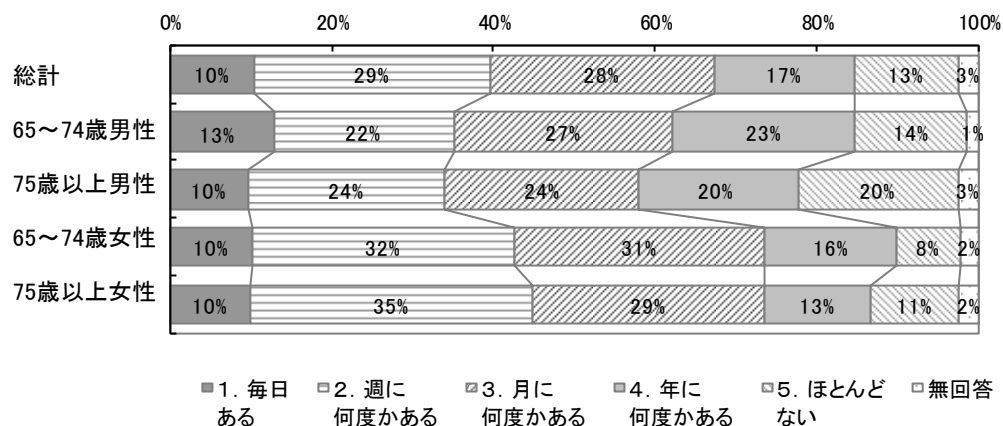
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 自治会・町内会・老人クラブ	193	9%	35	8%	65	14%	34	6%	51	8%
2. 社会福祉協議会・民生委員	268	12%	24	5%	70	15%	61	10%	106	18%
3. ケアマネジャー	162	7%	15	3%	37	8%	37	6%	66	11%
4. 医師・歯科医師・看護師	548	25%	110	24%	137	29%	130	22%	161	27%
5. 市役所・高齢者あんしん相談センター	424	19%	65	14%	99	21%	121	21%	126	21%
6. その他	95	4%	31	7%	16	3%	26	4%	21	3%
7. そのような人はいない	864	40%	234	52%	168	36%	243	42%	198	33%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



「家族や友人・知人以外の相談相手」は、「医師・歯科医師・看護師」が最も多く、次いで「市役所・高齢者あんしん相談センター」となっています。

問6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（〇は1つ）

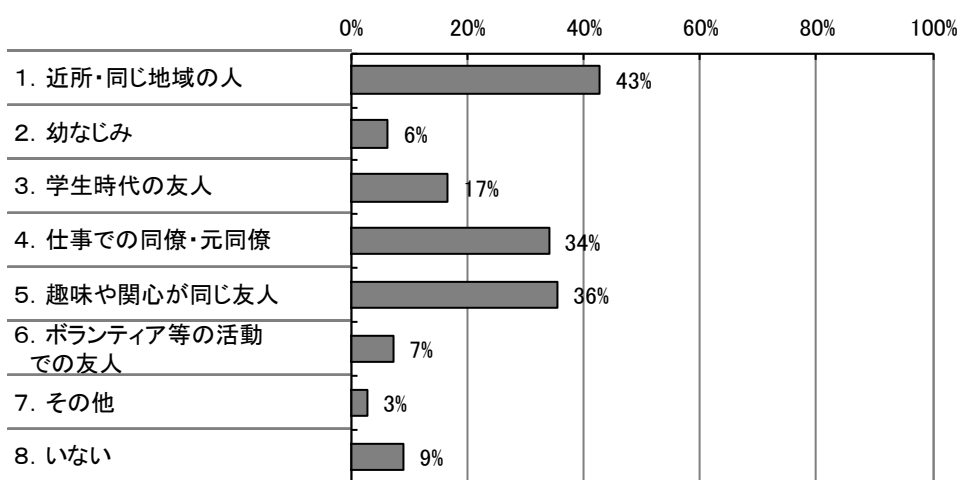
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 毎日ある	227	10%	58	13%	45	10%	59	10%	60	10%
2. 週に何度かある	635	29%	101	22%	115	24%	188	32%	211	35%
3. 月に何度かある	604	28%	123	27%	113	24%	181	31%	174	29%
4. 年に何度かある	378	17%	102	23%	92	20%	94	16%	79	13%
5. ほとんどない	280	13%	63	14%	93	20%	46	8%	67	11%
無回答	55	3%	6	1%	12	3%	13	2%	14	2%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



「友人・知人と会う頻度」は、「ほとんどない」が1割強、「年に何度かある」が2割弱となっています。

問7 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（〇はいくつでも）

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 近所・同じ地域の人	933	43%	110	24%	192	41%	272	47%	331	55%
2. 幼なじみ	141	6%	33	7%	29	6%	39	7%	39	6%
3. 学生時代の友人	362	17%	102	23%	64	14%	120	21%	70	12%
4. 仕事での同僚・元同僚	742	34%	254	56%	143	30%	220	38%	107	18%
5. 趣味や関心が同じ友人	774	36%	135	30%	150	32%	242	42%	229	38%
6. ボランティア等の活動での友人	161	7%	32	7%	35	7%	47	8%	43	7%
7. その他	63	3%	16	4%	7	1%	20	3%	18	3%
8. いない	200	9%	49	11%	68	14%	32	6%	44	7%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%

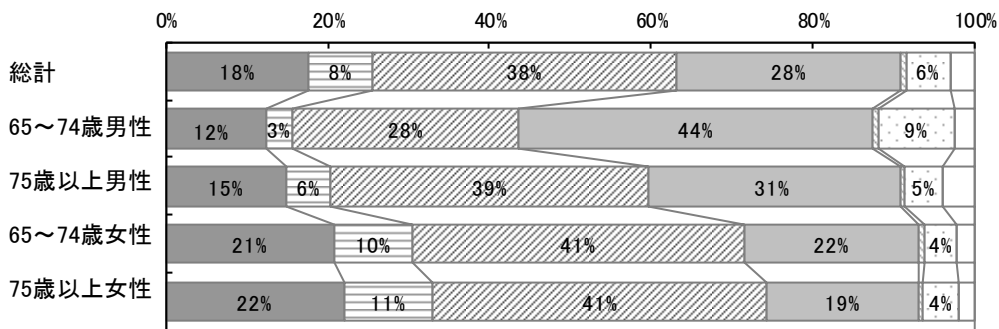


「よく会う友人・知人」は、「近所・同じ地域の人」のほか、「趣味や関心が同じ友人」、「仕事での同僚・元同僚」などがあがっています。

問8 普段あなたは近所の方と、どの程度のお付き合いをしていますか（〇は1つ）

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 何か困った時に助け合える付き合い	386	18%	56	12%	70	15%	121	21%	133	22%
2. お互いに訪問しあう付き合い	170	8%	15	3%	26	6%	56	10%	67	11%
3. 立ち話をする程度の付き合い	822	38%	127	28%	185	39%	239	41%	250	41%
4. あいさつをする程度の付き合い	603	28%	198	44%	146	31%	125	22%	113	19%
5. その他	13	1%	3	1%	2	0%	4	1%	4	1%
6. ほとんど付き合いはない	120	6%	43	9%	23	5%	24	4%	26	4%
無回答	65	3%	11	2%	18	4%	12	2%	12	2%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%

近所付き合いについては、「ほとんど付き合いはない」が約6%、「あいさつをする程度の付き合い」が約28%で、付き合いがあまりないことがうかがわれる結果となっています。特に、65～74歳の男性で、付き合いの程度が少ない傾向がみられます。



■ 1. 何か 困った時に助け合える付き合い  
 □ 2. お互いに訪問しあう付き合い  
 ▨ 3. 立ち話をする程度の付き合い  
 ▩ 4. あいさつをする程度の付き合い  
 ▤ 5. その他  
 ▧ 6. ほとんど付き合いはない  
 □ 無回答

〔第1圏域〕

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 何か困った時に助け合える付き合い	64	21%	9	12%	17	23%	16	21%	22	26%
2. お互いに訪問しあう付き合い	39	13%	3	4%	10	14%	11	15%	14	17%
3. 立ち話をする程度の付き合い	104	33%	25	34%	19	26%	26	35%	30	36%
4. あいさつをする程度の付き合い	85	27%	27	36%	26	35%	20	27%	12	14%
5. その他	2	1%	1	1%	0	0%	0	0%	1	1%
6. ほとんど付き合いはない	12	4%	5	7%	2	3%	1	1%	4	5%
無回答	6	2%	4	5%	0	0%	1	1%	1	1%
合計	312	100%	74	100%	74	100%	75	100%	84	100%

〔第2圏域〕

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 何か困った時に助け合える付き合い	81	19%	18	18%	11	14%	30	23%	22	19%
2. お互いに訪問しあう付き合い	31	7%	2	2%	1	1%	14	11%	14	12%
3. 立ち話をする程度の付き合い	176	41%	30	30%	38	49%	53	41%	51	44%
4. あいさつをする程度の付き合い	110	26%	40	40%	23	29%	23	18%	22	19%
5. その他	2	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	2%
6. ほとんど付き合いはない	18	4%	8	8%	0	0%	6	5%	3	3%
無回答	13	3%	2	2%	5	6%	4	3%	2	2%
合計	431	100%	100	100%	78	100%	130	100%	116	100%

〔第3圏域〕

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 何か困った時に助け合える付き合い	99	18%	11	9%	18	13%	30	21%	38	25%
2. お互いに訪問しあう付き合い	38	7%	6	5%	6	4%	11	8%	15	10%
3. 立ち話をする程度の付き合い	196	35%	24	21%	57	40%	59	42%	55	36%
4. あいさつをする程度の付き合い	167	30%	57	49%	48	34%	33	24%	28	19%
5. その他	1	0%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%
6. ほとんど付き合いはない	39	7%	16	14%	8	6%	6	4%	9	6%
無回答	14	3%	2	2%	4	3%	1	1%	6	4%
合計	554	100%	117	100%	141	100%	140	100%	151	100%

〔第4圏域〕

	総計		65～74歳 男性		75歳以上 男性		65～74歳 女性		75歳以上 女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 何か困った時に助け合える付き合い	62	15%	5	7%	7	7%	24	20%	26	21%
2. お互いに訪問しあう付き合い	26	6%	1	1%	3	3%	12	10%	9	7%
3. 立ち話をする程度の付き合い	177	43%	18	26%	45	47%	54	46%	59	48%
4. あいさつをする程度の付き合い	113	28%	38	55%	29	31%	22	19%	24	20%
5. その他	2	0%	0	0%	0	0%	2	2%	0	0%
6. ほとんど付き合いはない	19	5%	6	9%	7	7%	2	2%	4	3%
無回答	9	2%	1	1%	4	4%	2	2%	1	1%
合計	408	100%	69	100%	95	100%	118	100%	123	100%

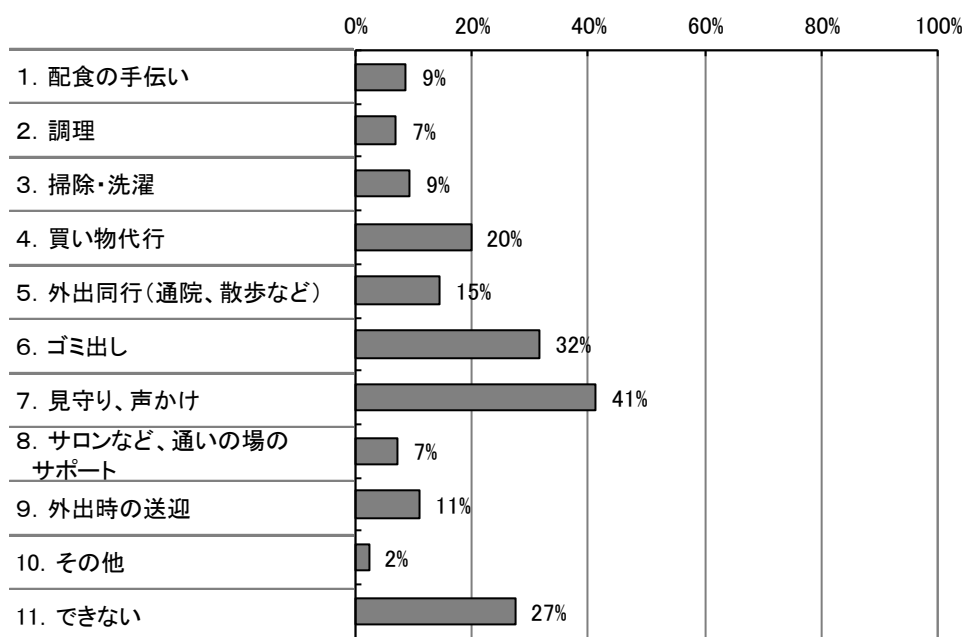
〔第5圏域〕

	総計		65～74歳 男性		75歳以上 男性		65～74歳 女性		75歳以上 女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 何か困った時に助け合える付き合い	76	18%	13	14%	17	21%	21	18%	25	19%
2. お互いに訪問しあう付き合い	31	7%	3	3%	6	7%	8	7%	14	11%
3. 立ち話をする程度の付き合い	157	37%	30	32%	25	31%	47	41%	55	43%
4. あいさつをする程度の付き合い	110	26%	36	39%	20	25%	26	22%	27	21%
5. その他	6	1%	1	1%	2	2%	2	2%	1	1%
6. ほとんど付き合いはない	27	6%	8	9%	6	7%	8	7%	5	4%
無回答	13	3%	2	2%	5	6%	4	3%	2	2%
合計	420	100%	93	100%	81	100%	116	100%	129	100%

近所付き合いについて、日常生活圏域別に傾向の違いをみると、あまり大きな違いはみられないものの、第1圏域で「何か困った時に助け合える付き合い」や「お互いに訪問しあう付き合い」といった深い付き合いをしている方の割合が高い傾向がみられます。

問9 あなたは地域でどんな支援ができますか（○はいくつでも）

	総計		65～74歳 男性		75歳以上 男性		65～74歳 女性		75歳以上 女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 配食の手伝い	191	9%	21	5%	19	4%	95	16%	49	8%
2. 調理	153	7%	19	4%	12	3%	75	13%	43	7%
3. 掃除・洗濯	206	9%	25	6%	34	7%	87	15%	52	9%
4. 買い物代行	432	20%	98	22%	66	14%	166	29%	95	16%
5. 外出同行（通院、散歩など）	316	15%	94	21%	54	11%	98	17%	64	11%
6. ゴミ出し	690	32%	152	34%	144	31%	219	38%	162	27%
7. 見守り、声かけ	901	41%	202	45%	179	38%	302	52%	204	34%
8. サロンなど、通いの場のサポート	159	7%	24	5%	19	4%	73	13%	40	7%
9. 外出時の送迎	240	11%	107	24%	62	13%	46	8%	20	3%
10. その他	50	2%	16	4%	14	3%	14	2%	6	1%
11. できない	598	27%	114	25%	146	31%	101	17%	220	36%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



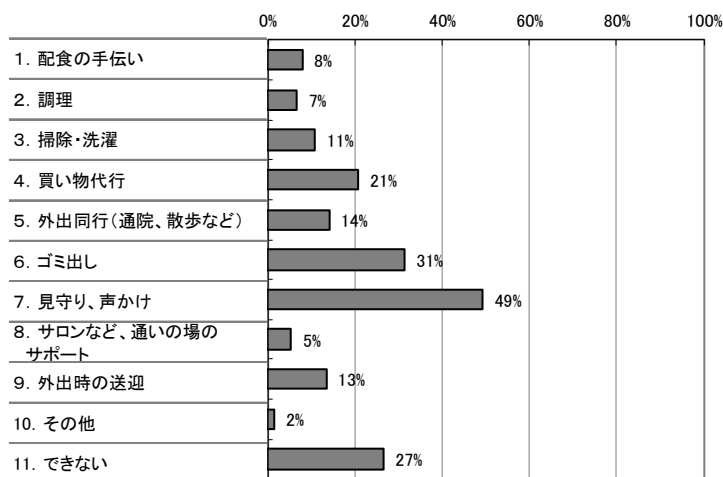
「地域で行える支援」については、「見守り、声かけ」に約4割の回答があるほか、「ゴミ出し」にも約3割の回答がみられます。

日常生活圏域別にみると、圏域によって大きな差はみられませんが、「見守り、声かけ」が第1圏域で他の圏域より割合が高い傾向がみられます。

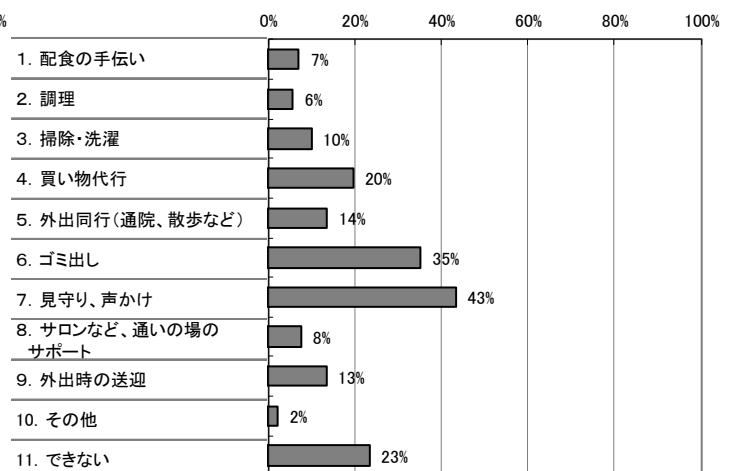
〔圏域別集計〕

	総計		第1圏域		第2圏域		第3圏域		第4圏域		第5圏域	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 配食の手伝い	191	9%	25	8%	31	7%	42	8%	55	13%	32	8%
2. 調理	153	7%	21	7%	25	6%	41	7%	34	8%	30	7%
3. 掃除・洗濯	206	9%	34	11%	43	10%	47	8%	36	9%	41	10%
4. 買い物代行	432	20%	65	21%	85	20%	115	21%	84	21%	77	18%
5. 外出同行(通院、散歩など)	316	15%	44	14%	59	14%	81	15%	66	16%	61	15%
6. ゴミ出し	690	32%	98	31%	152	35%	174	31%	120	29%	138	33%
7. 見守り、声かけ	901	41%	154	49%	187	43%	229	41%	154	38%	169	40%
8. サロンなど、通いの場のサポート	159	7%	17	5%	33	8%	42	8%	31	8%	34	8%
9. 外出時の送迎	240	11%	42	13%	58	13%	51	9%	37	9%	48	11%
10. その他	50	2%	5	2%	10	2%	10	2%	16	4%	9	2%
11. できない	598	27%	83	27%	101	23%	159	29%	117	29%	121	29%
合計	2,179	100%	312	100%	431	100%	554	100%	408	100%	420	100%

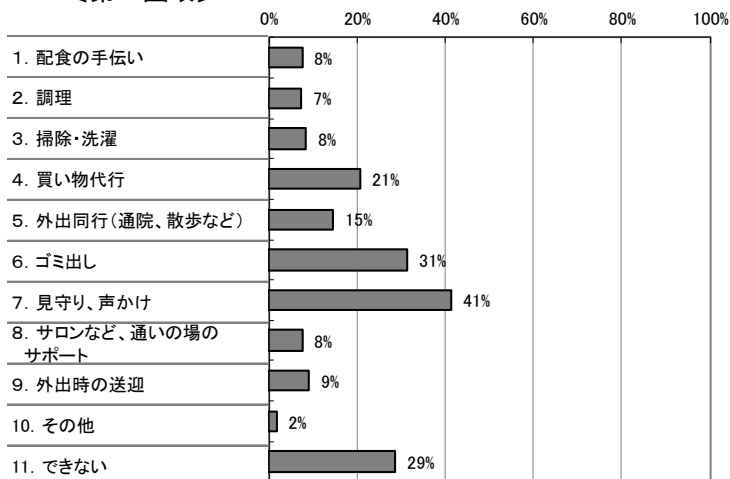
〔第1圏域〕



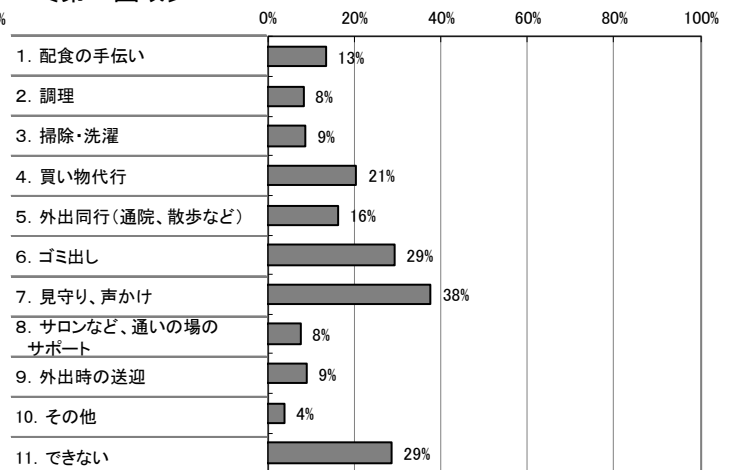
〔第2圏域〕



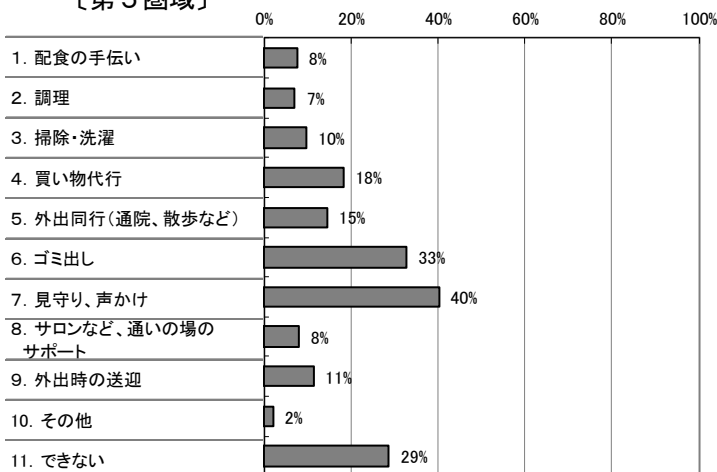
〔第3圏域〕



〔第4圏域〕



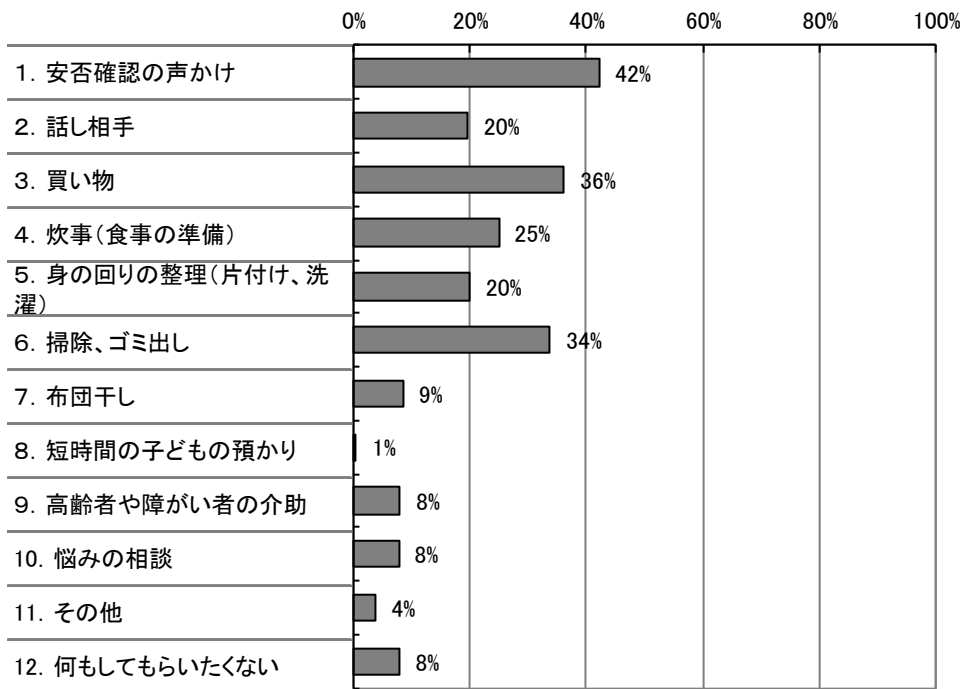
〔第5圏域〕





問 10 あなたが高齢や病気などで日常生活が困難になったとき、近所・地域・ボランティアの方にどのような手助けを希望されますか（〇はいくつでも）

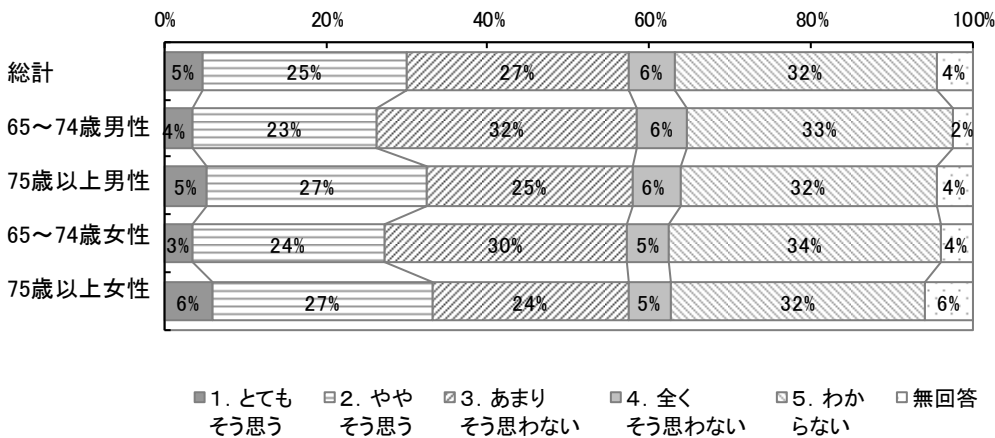
	総計		65～74 歳 男性		75 歳以上 男性		65～74 歳 女性		75 歳以上 女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 安否確認の声かけ	921	42%	203	45%	188	40%	263	45%	242	40%
2. 話し相手	429	20%	77	17%	85	18%	119	20%	136	22%
3. 買い物	789	36%	152	34%	139	30%	253	44%	227	38%
4. 炊事（食事の準備）	544	25%	152	34%	114	24%	135	23%	131	22%
5. 身の回りの整理（片付け、洗濯）	437	20%	128	28%	96	20%	106	18%	98	16%
6. 掃除、ゴミ出し	737	34%	166	37%	146	31%	205	35%	207	34%
7. 布団干し	186	9%	41	9%	42	9%	43	7%	57	9%
8. 短時間の子どもの預かり	11	1%	2	0%	1	0%	7	1%	1	0%
9. 高齢者や障がい者の介助	176	8%	45	10%	44	9%	37	6%	46	8%
10. 悩みの相談	170	8%	27	6%	40	9%	47	8%	50	8%
11. その他	84	4%	13	3%	26	6%	28	5%	15	2%
12. 何もしてもらいたくない	174	8%	58	13%	37	8%	40	7%	37	6%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



「近所・地域・ボランティアの方による手助け」を受けたい内容については、「安否確認の声かけ」、「買い物」、「掃除、ゴミ出し」の3項目が4割前後と割合が高くなっています。

問 11 あなたの地域は「たすけあい支えあえるまち」になっていると思いますか(○は1つ)

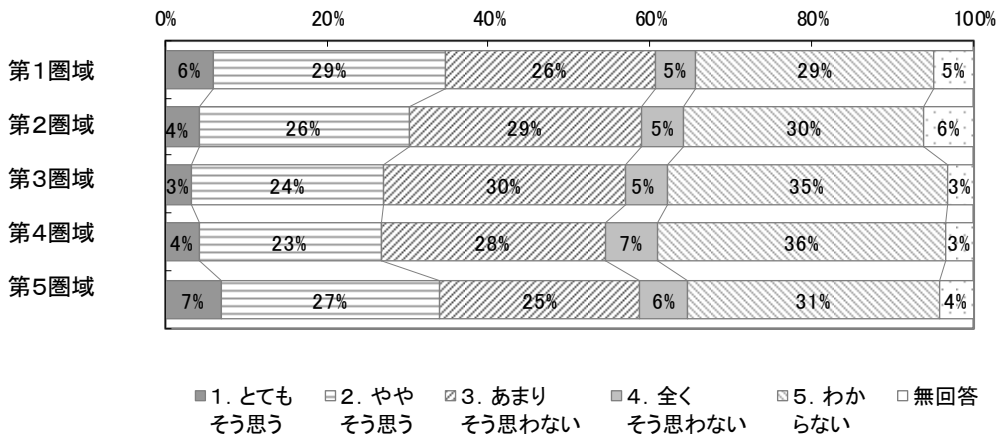
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. とてもそう思う	102	5%	16	4%	25	5%	20	3%	36	6%
2. ややそう思う	552	25%	103	23%	128	27%	138	24%	165	27%
3. あまりそう思わない	597	27%	146	32%	119	25%	175	30%	146	24%
4. 全くそう思わない	125	6%	28	6%	28	6%	30	5%	32	5%
5. わからない	705	32%	149	33%	149	32%	195	34%	191	32%
無回答	98	4%	11	2%	21	4%	23	4%	35	6%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



「たすけあい支えあえるまち」になっていると思うかについては、「わからない」も多いものの、「そう思う」と「そう思わない」は概ね拮抗している状況です。

〔圏域別集計〕

	第1圏域		第2圏域		第3圏域		第4圏域		第5圏域	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. とてもそう思う	19	6%	18	4%	18	3%	17	4%	29	7%
2. ややそう思う	89	29%	112	26%	132	24%	92	23%	114	27%
3. あまりそう思わない	81	26%	124	29%	165	30%	113	28%	104	25%
4. 全くそう思わない	16	5%	23	5%	29	5%	27	7%	25	6%
5. わからない	92	29%	128	30%	192	35%	145	36%	130	31%
無回答	15	5%	26	6%	18	3%	14	3%	18	4%
合計	312	100%	431	100%	554	100%	408	100%	420	100%

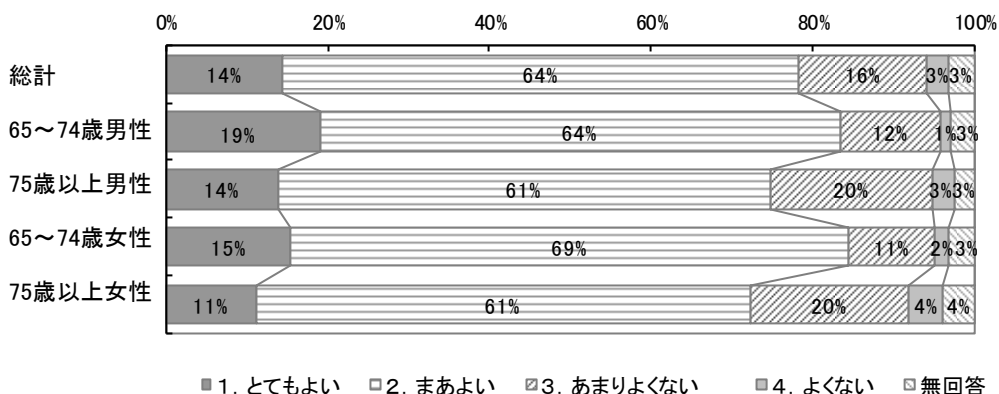


日常生活圏域別にみると、大きな傾向の違いはみられませんが、第1圏域、第5圏域でやや「そう思う」の割合が高い傾向がみられます。

## 第8章 健康について

問1 現在のあなたの健康状態はいかがですか（○は1つ）

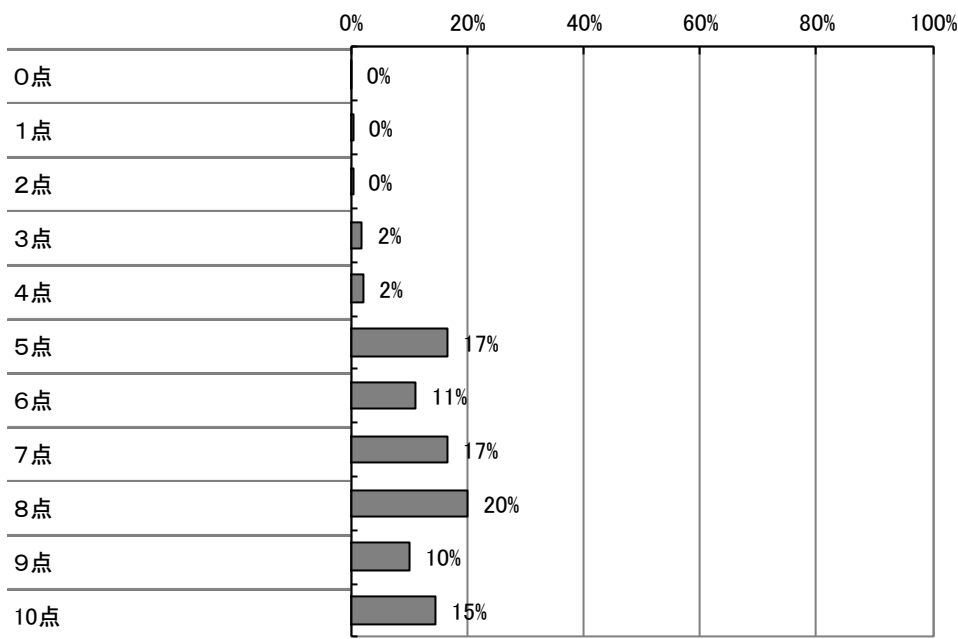
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. とてもよい	314	14%	86	19%	65	14%	90	15%	67	11%
2. まあよい	1,392	64%	292	64%	286	61%	400	69%	370	61%
3. あまりよくない	346	16%	56	12%	95	20%	63	11%	119	20%
4. よくない	56	3%	6	1%	12	3%	10	2%	26	4%
無回答	71	3%	13	3%	12	3%	18	3%	23	4%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



健康状態は「とてもよい」と「まあよい」で8割近くを占めます。

問2 あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、下記に数字をご記入ください）

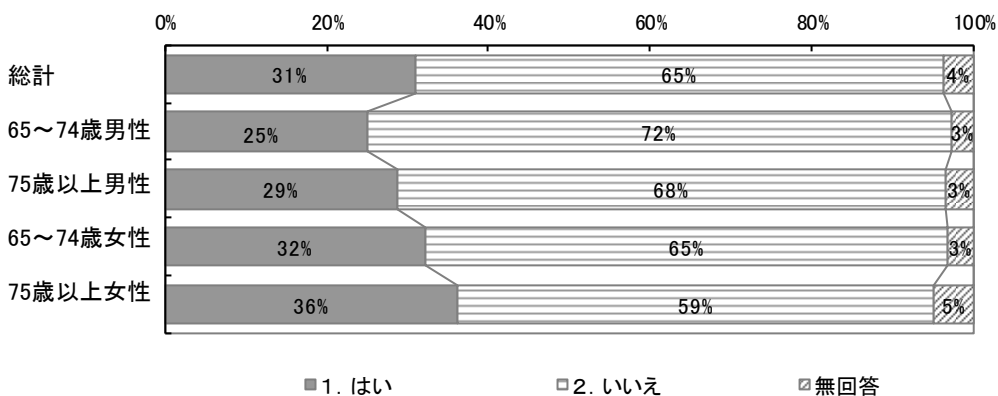
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0点	3	0%	1	0%	0	0%	0	0%	2	0%
1点	10	0%	5	1%	1	0%	0	0%	3	0%
2点	9	0%	2	0%	0	0%	1	0%	5	1%
3点	43	2%	17	4%	4	1%	11	2%	7	1%
4点	49	2%	6	1%	14	3%	12	2%	15	2%
5点	361	17%	68	15%	99	21%	85	15%	93	15%
6点	244	11%	65	14%	53	11%	50	9%	70	12%
7点	360	17%	79	17%	95	20%	100	17%	80	13%
8点	438	20%	100	22%	84	18%	133	23%	111	18%
9点	220	10%	36	8%	42	9%	76	13%	60	10%
10点	318	15%	58	13%	48	10%	91	16%	110	18%
無回答	124	6%	16	4%	30	6%	22	4%	49	8%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



幸福度の 10 点満点での評価は、5点から 10点までの点数をつける人が多く、平均は 7.2 点でした。

問3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか（○は1つ）

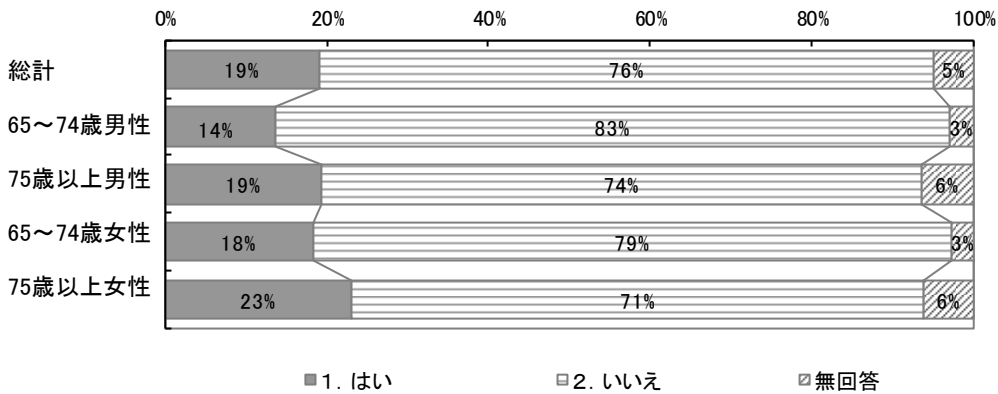
	総計		65～74 歳 男性		75 歳以上 男性		65～74 歳 女性		75 歳以上 女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	675	31%	113	25%	135	29%	187	32%	219	36%
2. いいえ	1,423	65%	328	72%	319	68%	376	65%	357	59%
無回答	81	4%	12	3%	16	3%	18	3%	29	5%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



「この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたことがあったか」について、「はい」は約3割で、男性より女性の方が、年齢は高い層の方が、割合が高い傾向がみられます。

問4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか（○は1つ）

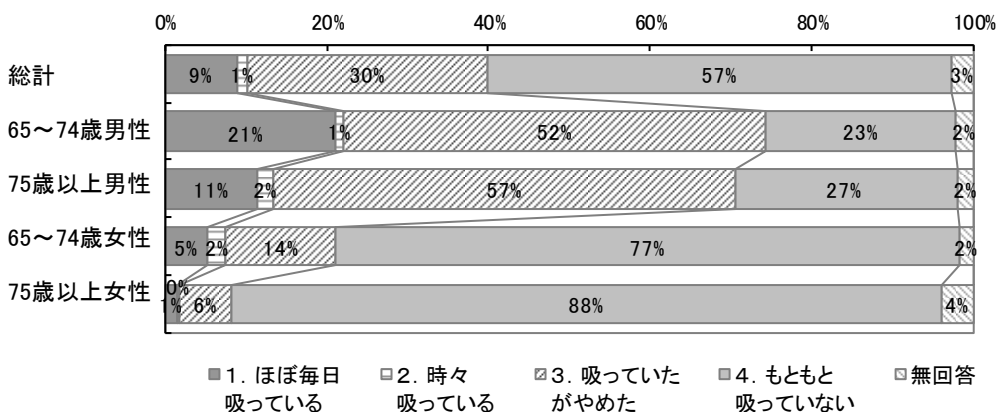
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	416	19%	62	14%	91	19%	106	18%	140	23%
2. いいえ	1,658	76%	378	83%	349	74%	460	79%	428	71%
無回答	105	5%	13	3%	30	6%	15	3%	37	6%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



「この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったか」について、「はい」は約2割となっています。国のガイドラインによると、問3と問4が1つでも「はい」に該当した場合、うつ傾向が懸念されます。

問5 タバコは吸っていますか（○は1つ）

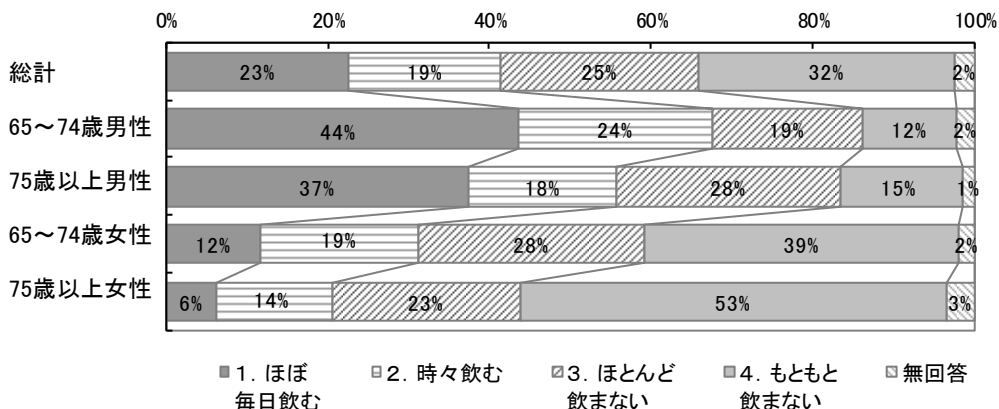
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. ほぼ毎日吸っている	194	9%	96	21%	54	11%	31	5%	9	1%
2. 時々吸っている	28	1%	4	1%	9	2%	13	2%	2	0%
3. 吸っていたがやめた	649	30%	237	52%	269	57%	79	14%	39	6%
4. もともと吸っていない	1,249	57%	106	23%	129	27%	448	77%	531	88%
無回答	59	3%	10	2%	9	2%	10	2%	24	4%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



タバコを「ほぼ毎日吸っている」、「時々吸っている」割合は約1割で、65～74歳の男性で割合がとやや高くなっています。

問6 お酒は飲みますか（○は1つ）

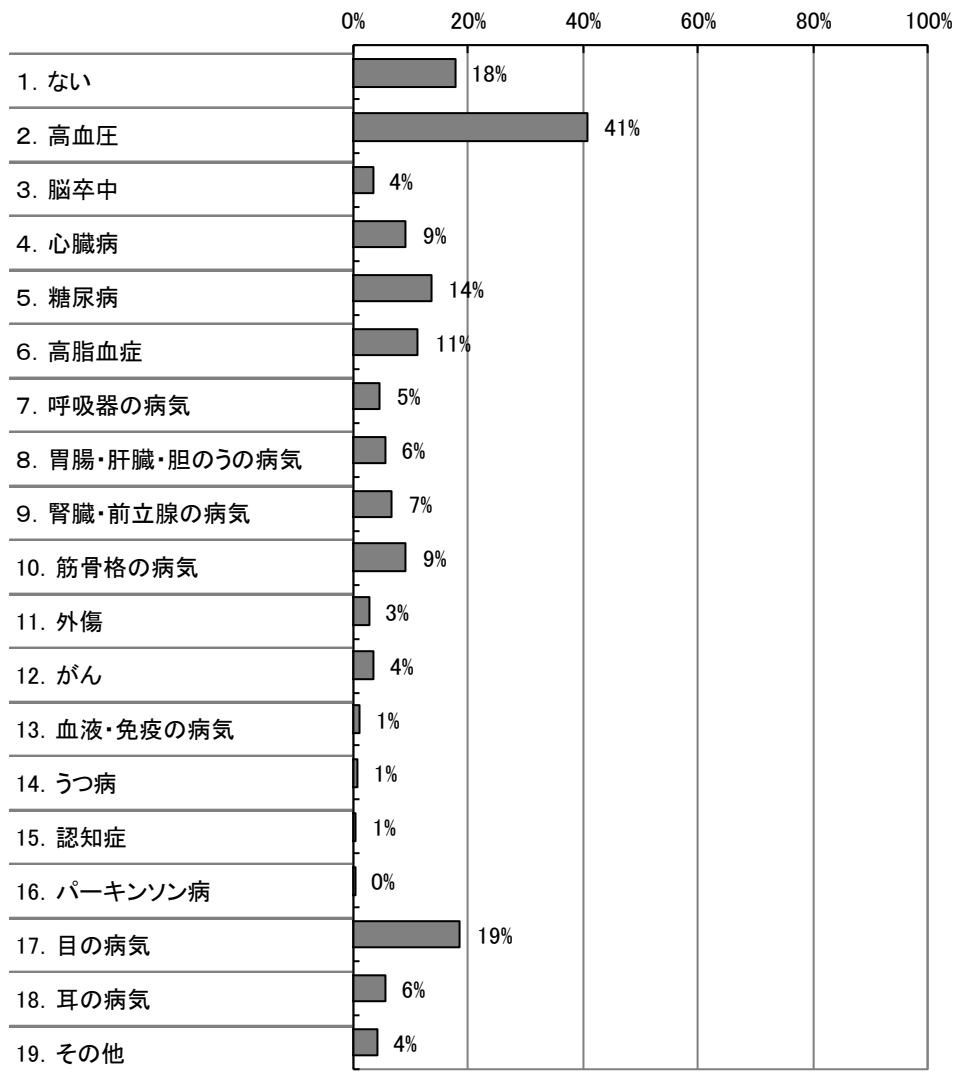
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. ほぼ毎日飲む	494	23%	198	44%	176	37%	68	12%	38	6%
2. 時々飲む	408	19%	108	24%	86	18%	113	19%	86	14%
3. ほとんど飲まない	534	25%	84	19%	130	28%	163	28%	141	23%
4. もともと飲まない	690	32%	53	12%	71	15%	226	39%	319	53%
無回答	53	2%	10	2%	7	1%	11	2%	21	3%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



お酒を「ほぼ毎日飲む」、「時々飲む」割合は4割強で、男性で割合が高くなっています。

問7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（○はいくつでも）

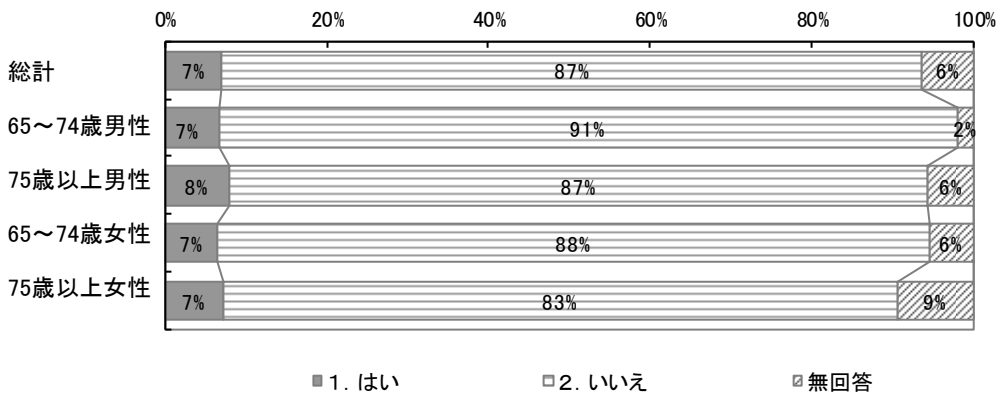
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. ない	387	18%	102	23%	65	14%	142	24%	68	11%
2. 高血圧	891	41%	192	42%	217	46%	178	31%	276	46%
3. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	77	4%	17	4%	26	6%	12	2%	18	3%
4. 心臓病	204	9%	41	9%	81	17%	21	4%	56	9%
5. 糖尿病	300	14%	90	20%	75	16%	62	11%	61	10%
6. 高脂血症（脂質異常）	250	11%	46	10%	29	6%	86	15%	83	14%
7. 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	106	5%	21	5%	38	8%	17	3%	28	5%
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	123	6%	22	5%	39	8%	35	6%	25	4%
9. 腎臓・前立腺の病気	149	7%	45	10%	93	20%	3	1%	6	1%
10. 筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）	204	9%	7	2%	20	4%	52	9%	122	20%
11. 外傷（転倒・骨折等）	61	3%	6	1%	10	2%	8	1%	37	6%
12. がん（悪性新生物）	79	4%	18	4%	25	5%	15	3%	19	3%
13. 血液・免疫の病気	26	1%	3	1%	3	1%	8	1%	12	2%
14. うつ病	17	1%	1	0%	1	0%	7	1%	6	1%
15. 認知症（アルツハイマー病等）	11	1%	1	0%	3	1%	2	0%	5	1%
16. パーキンソン病	8	0%	0	0%	4	1%	3	1%	1	0%
17. 目の病気	408	19%	53	12%	88	19%	98	17%	159	26%
18. 耳の病気	123	6%	17	4%	35	7%	19	3%	50	8%
19. その他	91	4%	22	5%	17	4%	34	6%	17	3%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



「治療中、または後遺症のある病気」は、「高血圧」が約4割あるほか、「目の病気」、「糖尿病」などが多くなっています。

問8 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか（○は1つ）

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	154	7%	30	7%	37	8%	38	7%	43	7%
2. いいえ	1,888	87%	414	91%	407	87%	511	88%	505	83%
無回答	137	6%	9	2%	26	6%	32	6%	57	9%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



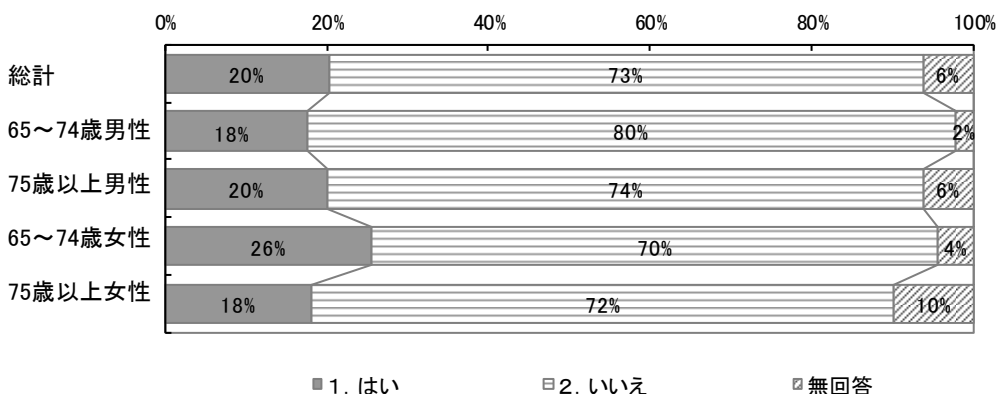
「認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある」割合は約7%となっています。  
日常生活圏域による大きな傾向の違いはみられません。

〔圏域別集計〕

	総計		第1圏域		第2圏域		第3圏域		第4圏域		第5圏域	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	154	7%	26	8%	27	6%	41	7%	34	8%	21	5%
2. いいえ	1,888	87%	263	84%	377	87%	477	86%	356	87%	377	90%
無回答	137	6%	23	7%	27	6%	36	6%	18	4%	22	5%
合計	2,179	100%	312	100%	431	100%	554	100%	408	100%	420	100%

問9 認知症に関する相談窓口を知っていますか（○は1つ）

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. はい	442	20%	80	18%	95	20%	149	26%	110	18%
2. いいえ	1,601	73%	363	80%	346	74%	407	70%	436	72%
無回答	136	6%	10	2%	29	6%	25	4%	59	10%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%

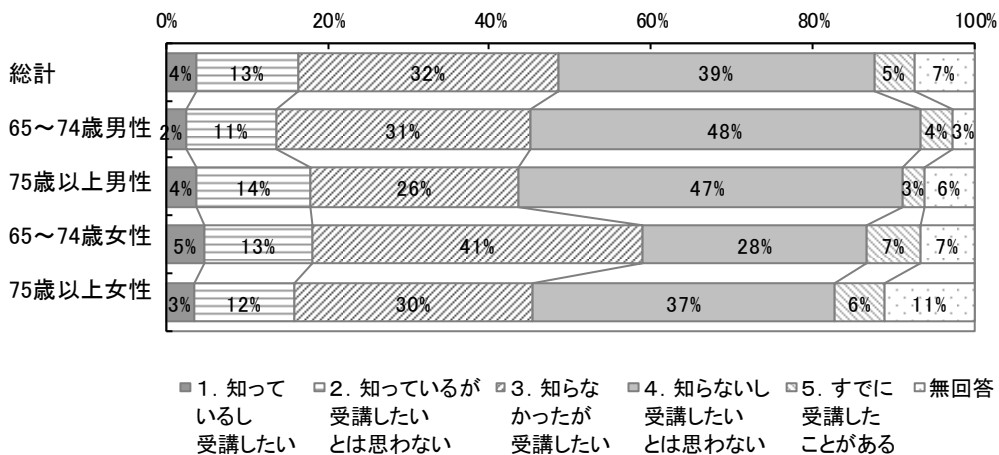


「認知症に関する相談窓口を知っている」割合は約2割となっています。



問 10 認知症について正しく理解する方法の一つに「認知症サポーター養成講座」があります。あなたは「認知症サポーター養成講座」をご存知ですか、また、講座を受講したいと思いますか（○は1つ）

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 知っているし受講したい	81	4%	11	2%	18	4%	28	5%	21	3%
2. 知っているが受講したいとは思わない	275	13%	51	11%	66	14%	77	13%	75	12%
3. 知らなかったが受講したい	702	32%	142	31%	121	26%	238	41%	179	30%
4. 知らないし受講したいとは思わない	851	39%	219	48%	223	47%	161	28%	226	37%
5. すでに受講したことがある	107	5%	18	4%	13	3%	38	7%	37	6%
無回答	163	7%	12	3%	29	6%	39	7%	67	11%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



「認知症サポーター養成講座」については、受講経験者は約5%で、受講希望者は約4割となっています。

日常生活圏域別にみると、大きな違いはないものの、受講経験者は第1圏域でやや割合が高く、受講希望者は第2圏域でやや割合が高くなっています。

〔第1圏域〕

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 知っているし受講したい	19	6%	3	4%	4	5%	6	8%	6	7%
2. 知っているが受講したいとは思わない	40	13%	8	11%	10	14%	10	13%	12	14%
3. 知らなかったが受講したい	79	25%	19	26%	16	22%	23	31%	19	23%
4. 知らないし受講したいとは思わない	134	43%	36	49%	37	50%	26	35%	32	38%
5. すでに受講したことがある	19	6%	4	5%	2	3%	3	4%	10	12%
無回答	21	7%	4	5%	5	7%	7	9%	5	6%
合計	312	100%	74	100%	74	100%	75	100%	84	100%

〔第2圏域〕

	総計		65～74歳 男性		75歳以上 男性		65～74歳 女性		75歳以上 女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 知っているし受講したい	14	3%	1	1%	2	3%	6	5%	5	4%
2. 知っているが受講したいとは思わない	46	11%	8	8%	11	14%	11	8%	14	12%
3. 知らなかったが受講したい	165	38%	43	43%	22	28%	64	49%	35	30%
4. 知らないし受講したいとは思わない	143	33%	38	38%	35	45%	28	22%	40	34%
5. すでに受講したことがある	25	6%	5	5%	3	4%	9	7%	8	7%
無回答	38	9%	5	5%	5	6%	12	9%	14	12%
合計	431	100%	100	100%	78	100%	130	100%	116	100%

〔第3圏域〕

	総計		65～74歳 男性		75歳以上 男性		65～74歳 女性		75歳以上 女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 知っているし受講したい	13	2%	3	3%	4	3%	5	4%	1	1%
2. 知っているが受講したいとは思わない	70	13%	15	13%	19	13%	21	15%	15	10%
3. 知らなかったが受講したい	171	31%	32	27%	40	28%	50	36%	47	31%
4. 知らないし受講したいとは思わない	233	42%	58	50%	66	47%	47	34%	61	40%
5. すでに受講したことがある	26	5%	6	5%	4	3%	9	6%	7	5%
無回答	41	7%	3	3%	8	6%	8	6%	20	13%
合計	554	100%	117	100%	141	100%	140	100%	151	100%

〔第4圏域〕

	総計		65～74歳 男性		75歳以上 男性		65～74歳 女性		75歳以上 女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 知っているし受講したい	15	4%	1	1%	3	3%	6	5%	5	4%
2. 知っているが受講したいとは思わない	45	11%	9	13%	11	12%	14	12%	11	9%
3. 知らなかったが受講したい	146	36%	28	41%	22	23%	53	45%	42	34%
4. 知らないし受講したいとは思わない	156	38%	31	45%	49	52%	30	25%	45	37%
5. すでに受講したことがある	22	5%	0	0%	4	4%	11	9%	7	6%
無回答	24	6%	0	0%	6	6%	4	3%	13	11%
合計	408	100%	69	100%	95	100%	118	100%	123	100%

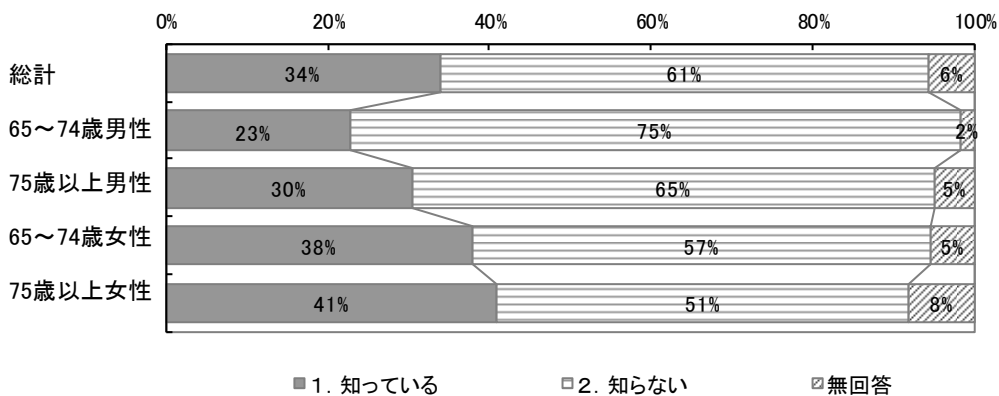
〔第5圏域〕

	総計		65～74歳 男性		75歳以上 男性		65～74歳 女性		75歳以上 女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 知っているし受講したい	17	4%	3	3%	5	6%	5	4%	4	3%
2. 知っているが受講したいとは思わない	70	17%	11	12%	15	19%	21	18%	23	18%
3. 知らなかったが受講したい	122	29%	20	22%	21	26%	47	41%	34	26%
4. 知らないし受講したいとは思わない	169	40%	56	60%	35	43%	29	25%	48	37%
5. すでに受講したことがある	14	3%	3	3%	0	0%	6	5%	5	4%
無回答	28	7%	0	0%	5	6%	8	7%	15	12%
合計	420	100%	93	100%	81	100%	116	100%	129	100%

## 第9章 介護保険制度等について

問1 平成19年から高齢者の方の介護予防の助言や権利擁護、地域でのネットワーク構築など総合的な相談窓口として活動している「高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）」をご存知ですか（〇は1つ）

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 知っている	738	34%	103	23%	143	30%	220	38%	248	41%
2. 知らない	1,320	61%	342	75%	304	65%	330	57%	308	51%
無回答	121	6%	8	2%	23	5%	31	5%	49	8%
合計	2,179	100%	453	100%	470	100%	581	100%	605	100%



高齢者あんしん相談センターを知っている割合は約3割で、女性の方が割合が高くなっています。

日常生活圏域別にみると、大きな違いはないものの、周知度は第1圏域でやや割合が高くなっています。

### 〔第1圏域〕

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 知っている	126	40%	21	28%	23	31%	37	49%	41	49%
2. 知らない	172	55%	50	68%	48	65%	35	47%	38	45%
無回答	14	4%	3	4%	3	4%	3	4%	5	6%
合計	312	100%	74	100%	74	100%	75	100%	84	100%

### 〔第2圏域〕

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 知っている	127	29%	21	21%	25	32%	40	31%	39	34%
2. 知らない	272	63%	77	77%	48	62%	77	59%	65	56%
無回答	32	7%	2	2%	5	6%	13	10%	12	10%
合計	431	100%	100	100%	78	100%	130	100%	116	100%

### 〔第3圏域〕

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 知っている	190	34%	30	26%	42	30%	55	39%	61	40%
2. 知らない	332	60%	84	72%	93	66%	78	56%	75	50%
無回答	32	6%	3	3%	6	4%	7	5%	15	10%
合計	554	100%	117	100%	141	100%	140	100%	151	100%

〔第4圏域〕

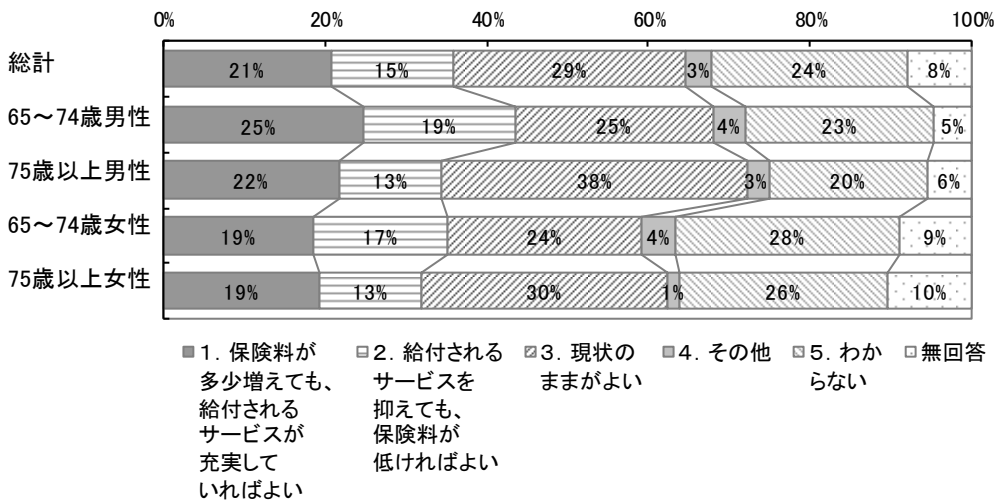
	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 知っている	144	35%	15	22%	25	26%	47	40%	57	46%
2. 知らない	242	59%	54	78%	64	67%	67	57%	56	46%
無回答	22	5%	0	0%	6	6%	4	3%	10	8%
合計	408	100%	69	100%	95	100%	118	100%	123	100%

〔第5圏域〕

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 知っている	134	32%	16	17%	27	33%	41	35%	50	39%
2. 知らない	272	65%	77	83%	51	63%	71	61%	72	56%
無回答	14	3%	0	0%	3	4%	4	3%	7	5%
合計	420	100%	93	100%	81	100%	116	100%	129	100%

問2 介護保険は、皆さまからご納付いただく保険料などにより介護が必要な方のサービス費用をまかなっております。今後の保険料について、どのような考えをお持ちですか（○は1つ）

	総計		65～74歳男性		75歳以上男性		65～74歳女性		75歳以上女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 保険料が多少増えても、給付されるサービスが充実していればよい	451	21%	112	25%	102	22%	108	19%	117	19%
2. 給付されるサービスを抑えても、保険料が低ければよい	330	15%	85	19%	60	13%	96	17%	76	13%
3. 現状のままだがよい	628	29%	111	25%	178	38%	140	24%	184	30%
4. その他	67	3%	18	4%	12	3%	24	4%	9	1%
5. わからない	531	24%	106	23%	92	20%	161	28%	156	26%
無回答	172	8%	21	5%	26	6%	52	9%	63	10%



保険料とサービスの関係については、現状維持を望む声が多く、サービスの充実を望む意見が続いています。

## 第3編

---

# 在宅介護実態調査の集計結果



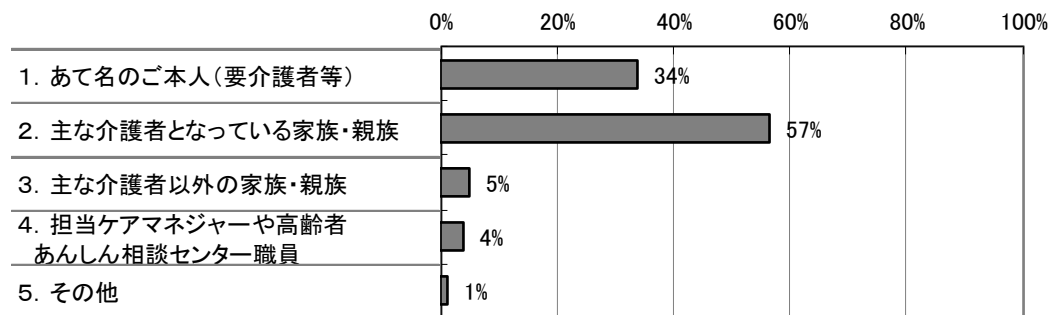
## 第3編 在宅介護実態調査の集計結果

### 第1章 要介護者の属性・心身の状況

問1 現在、この調査票にご回答をいただいているのは、どなたですか（〇はいくつでも）

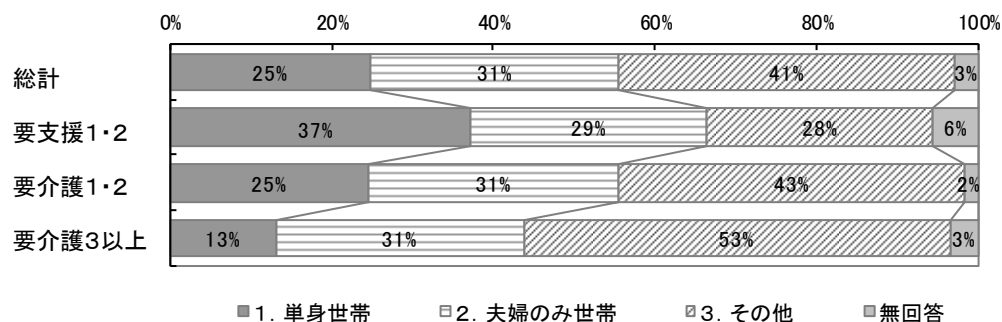
	総計	
	人数	割合
1. あて名のご本人（要介護者等）	482	34%
2. 主な介護者となっている家族・親族	804	57%
3. 主な介護者以外の家族・親族	72	5%
4. 担当ケアマネジャーや高齢者 あんしん相談センター職員	57	4%
5. その他	19	1%
合計	1,421	100%

回答者は、「主な介護者となっている家族・親族」が6割弱で、「あて名のご本人（要介護者等）」は3割強となっています。



問2. 世帯類型について、ご回答ください（〇は1つ）

	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 単身世帯	353	25%	121	37%	148	25%	45	13%
2. 夫婦のみ世帯	437	31%	95	29%	187	31%	105	31%
3. その他	589	41%	91	28%	258	43%	181	53%
無回答	42	3%	18	6%	10	2%	12	3%
合計	1,421	100%	325	100%	603	100%	343	100%



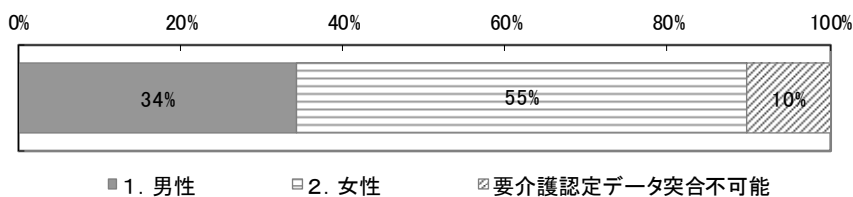
世帯類型は、「単身世帯」が25%、「夫婦のみ世帯」が31%、「その他」が41%となっています。

要介護度が重度になるほど、「その他」（三世代同居など）が多くなる傾向がみられますが、「要介護3以上」の「単身世帯」も13%みられます。

問3. ご本人の性別について、ご回答ください（○は1つ）

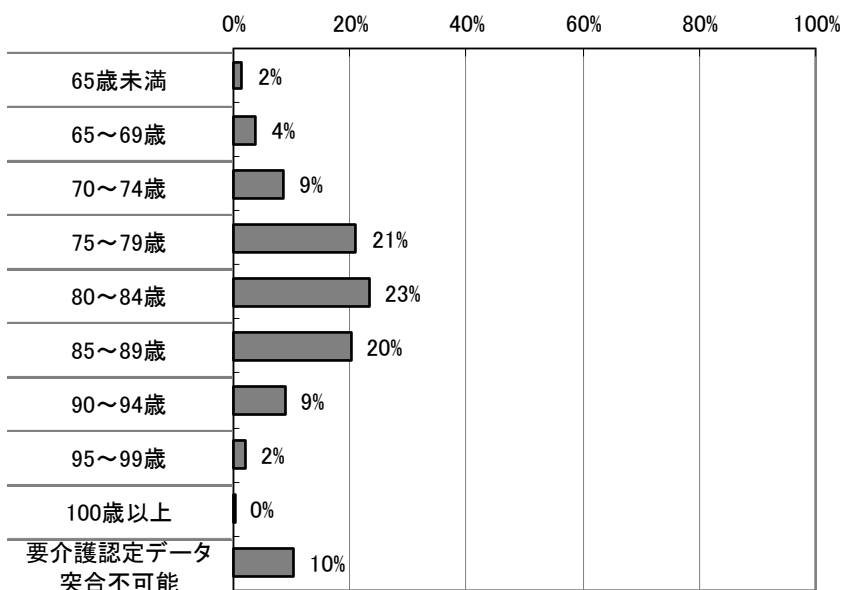
	総計	
	人数	割合
1. 男性	487	34%
2. 女性	787	55%
(要介護認定データ突合不可能)	147	10%
合計	1,421	100%

性別は、女性が多くなっています。  
 なお、問3～5は要介護認定データと突合させて集計しており、「回収されたアンケート票の被保険者番号が回答者により外されている」等の理由により、要介護認定データとの突合集計ができなかった標本は、「要介護認定データ突合不可能」として計上しています。



問4. ご本人の年齢について、ご回答ください（○は1つ）

	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
65歳未満	22	2%	5	2%	13	2%	4	1%
65～69歳	55	4%	15	5%	25	4%	15	4%
70～74歳	122	9%	29	9%	56	9%	36	10%
75～79歳	300	21%	88	27%	138	23%	73	21%
80～84歳	331	23%	100	31%	155	26%	76	22%
85～89歳	287	20%	62	19%	152	25%	72	21%
90～94歳	125	9%	23	7%	56	9%	46	13%
95～99歳	29	2%	3	1%	7	1%	19	6%
100歳以上	3	0%	0	0%	1	0%	2	1%
(要介護認定データ突合不可能)	147	10%	—	—	—	—	—	—
合計	1,421	100%	325	100%	603	100%	343	100%

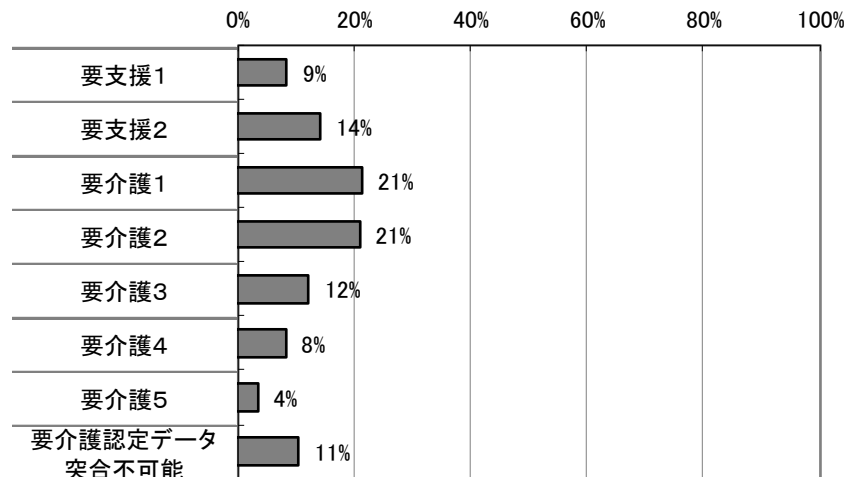


年齢は、「80～84歳」とその前後の年代が多くなっています。



問5. ご本人の要介護度について、ご回答ください（○は1つ）

	総計	
	人数	割合
要支援1	122	9%
要支援2	203	14%
要介護1	304	21%
要介護2	299	21%
要介護3	175	12%
要介護4	118	8%
要介護5	50	4%
（要介護認定データ突合不可能）	150	11%
合計	1,421	100%



要介護度は、「要介護1」と「要介護2」がともに2割程度で最も多くなっています。

【障害高齢者自立度】

	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
自立	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
J1	6	0%	5	2%	1	0%	0	0%
J2	324	23%	190	58%	123	20%	9	3%
A1	253	18%	65	20%	148	25%	39	11%
A2	429	30%	62	19%	276	46%	91	27%
B1	92	6%	3	1%	46	8%	43	13%
B2	127	9%	0	0%	9	1%	118	34%
C1	14	1%	0	0%	0	0%	14	4%
C2	29	2%	0	0%	0	0%	29	8%
（要介護認定データ突合不可能）	147	10%	—	—	—	—	—	—
合計	1,421	100%	325	100%	603	100%	343	100%

要介護認定データより、回答者の障害高齢者自立度、認知症高齢者自立度を集計すると、表のとおりです。

＜参考＞障害高齢者自立度の判断基準

ランク		判断基準
生活自立	ランク J	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する 1. 交通機関等を利用して外出する 2. 隣近所へなら外出する
準寝たきり	ランク A	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない 1. 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する 2. 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている
寝たきり	ランク B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ 1. 車いすに移乗し、食事、排泄をベッドから離れて行う 2. 介助により車椅子に移乗する
	ランク C	1日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えにおいて介助を要する 1. 自力で寝返りをうつ 2. 自力では寝返りもうたない

〔認知症高齢者自立度〕

	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
自立	141	10%	82	25%	40	7%	18	5%
I	392	28%	181	56%	159	26%	50	15%
II a	153	11%	37	11%	96	16%	20	6%
II b	364	26%	24	7%	258	43%	82	24%
III a	167	12%	1	0%	43	7%	123	36%
III b	10	1%	0	0%	3	0%	7	2%
IV	44	3%	0	0%	2	0%	42	12%
M	3	0%	0	0%	2	0%	1	0%
(要介護認定データ突合不可能)	147	10%	—	—	—	—	—	—
合計	1,421	100%	325	100%	603	100%	343	100%

〈参考〉認知症高齢者自立度の判断基準

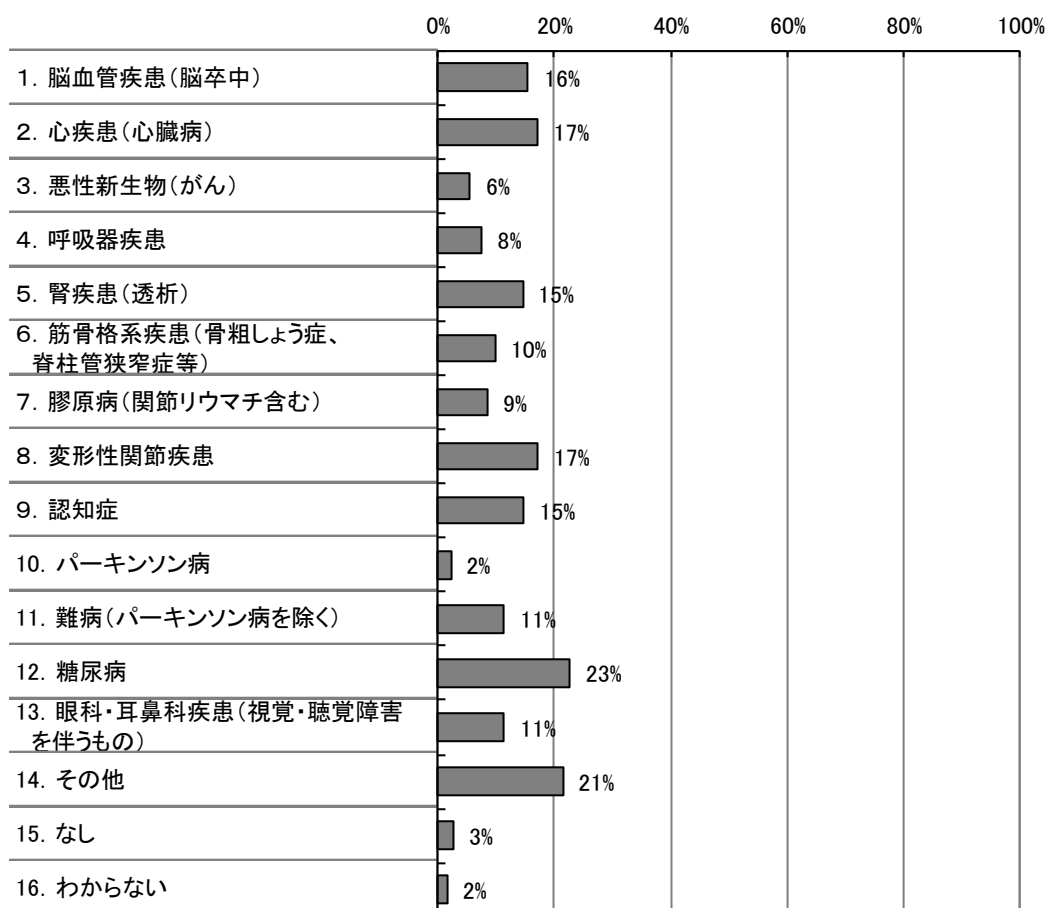
ランク	判断基準	見られる症状・行動の例
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している	
II	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	
II a	家庭外で上記IIの状態がみられる	たびたび道に迷うとか、買物や事務、金銭管理などそれまでにできたことにミスが目立つ等
II b	家庭内でも上記IIの状態がみられる	服薬管理が出来ない、電話の応対や訪問者との対応など一人で留守番ができない等
III	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さがみられ、介護を必要とする	
III a	日中を中心として上記IIIの状態がみられる	着替え、食事、排便排尿が上手にできない・時間がかかる、やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声、奇声をあげる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等
III b	夜間を中心として上のIIIの状態がみられる	ランクIII aに同じ
IV	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁にみられ、常に介護を必要とする	ランクIIIに同じ
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患がみられ、専門医を必要とする	せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に関連する問題行動が持続する状態等

問6 あなたの住所地を下記から選んでください。(○は1つ)

略

問7 ご本人が現在抱えている傷病について、ご回答ください（○はいくつでも）

	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 脳血管疾患（脳卒中）	221	16%	36	11%	91	15%	60	17%
2. 心疾患（心臓病）	244	17%	73	22%	98	16%	53	15%
3. 悪性新生物（がん）	80	6%	26	8%	32	5%	15	4%
4. 呼吸器疾患	108	8%	42	13%	36	6%	23	7%
5. 腎疾患（透析）	207	15%	74	23%	89	15%	37	11%
6. 筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）	140	10%	16	5%	60	10%	34	10%
7. 膠原病（関節リウマチ含む）	121	9%	55	17%	45	7%	19	6%
8. 変形性関節疾患	245	17%	17	5%	121	20%	90	26%
9. 認知症	210	15%	11	3%	81	13%	73	21%
10. パーキンソン病	32	2%	3	1%	12	2%	8	2%
11. 難病（パーキンソン病を除く）	163	11%	49	15%	77	13%	33	10%
12. 糖尿病	323	23%	83	26%	145	24%	66	19%
13. 眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）	163	11%	27	8%	67	11%	35	10%
14. その他	305	21%	55	17%	137	23%	78	23%
15. なし	38	3%	9	3%	15	2%	10	3%
16. わからない	23	2%	6	2%	10	2%	4	1%
合計	1,421	100%	325	100%	603	100%	343	100%

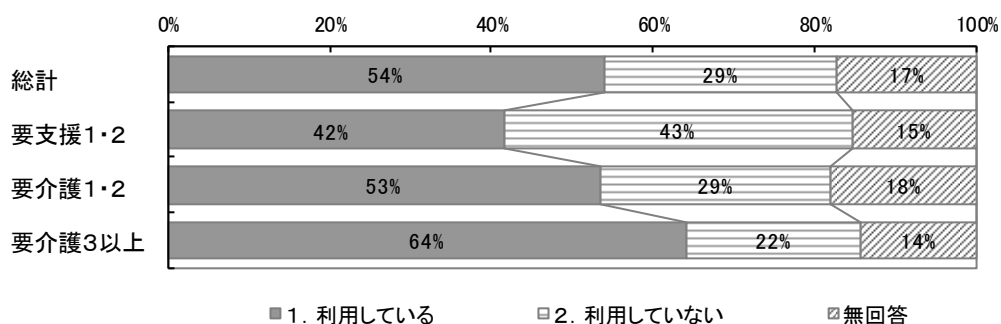


現在抱えている傷病については、「糖尿病」が23%、「変形性関節疾患」と「心疾患（心臓病）」がともに17%などとなっています。

## 第2章 介護保険等のサービスの利用状況・意向

問1 令和元年12月の1か月間に、住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用していますか（○は1つ）

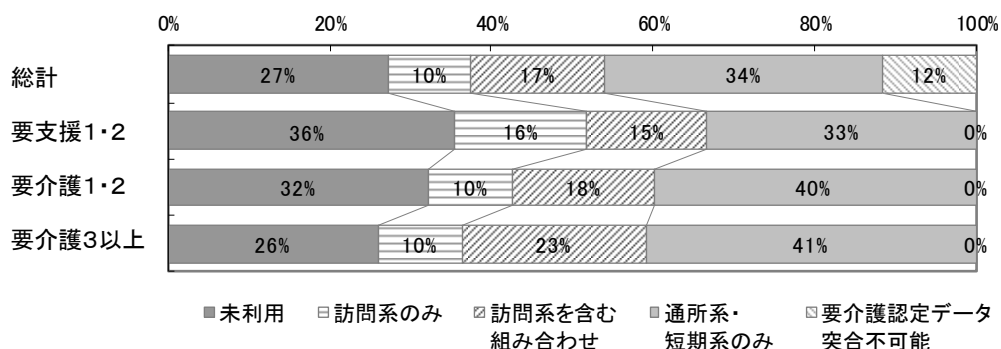
	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 利用している	766	54%	135	42%	322	53%	220	64%
2. 利用していない	411	29%	140	43%	173	29%	74	22%
無回答	244	17%	50	15%	108	18%	49	14%
合計	1,421	100%	325	100%	603	100%	343	100%



住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスの利用の有無は、「利用している」は54%、「利用していない」は29%、「無回答」が17%となっており、要介護度が高い層は利用率も高くなっています。

問1(1)【問1で「1. 利用している」の方のみ】 以下の介護保険サービスについて、令和元年12月の1週間あたりの利用回数をお答えください

	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
未利用	209	27%	48	36%	104	32%	57	26%
訪問系のみ	78	10%	22	16%	33	10%	23	10%
訪問系を含む組み合わせ	127	17%	20	15%	57	18%	50	23%
通所系・短期系のみ	263	34%	45	33%	128	40%	90	41%
(要介護認定データ突合不可能)	89	12%	—	—	—	—	—	—
合計	766	100%	135	100%	322	100%	220	100%



各介護保険サービスを、訪問系、通所系、短期入所系に分類し、要介護認定データに基づく利用状況を「訪問系のみでの利用」、「訪問系を含む組み合わせでの利用」、「通所系・短期入所系のみでの利用」に区分して集計しました。

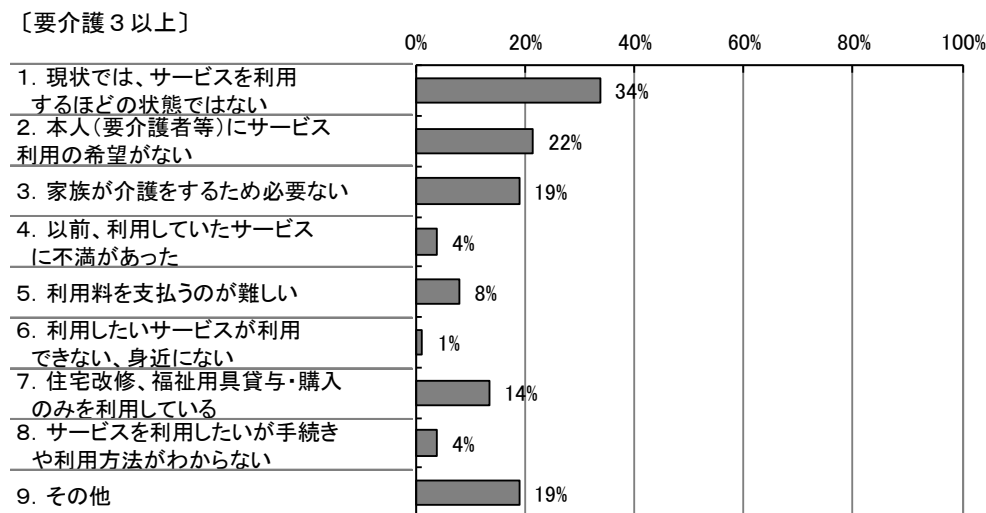
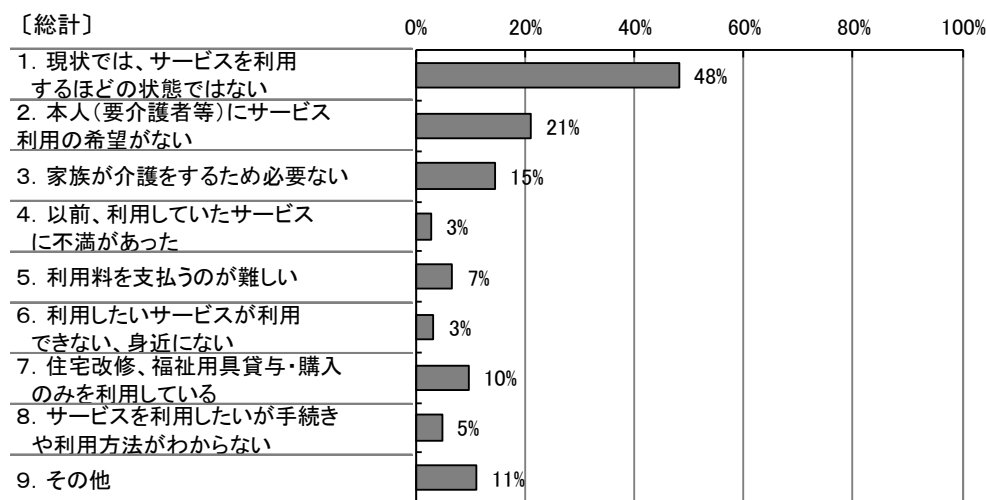
その結果、「訪問系のみ」が10%、「訪問系を含む組み合わせ」が17%、「通所系・短期系のみ」が34%という分布状況で、「未利用」は27%でした。

要介護度別にみると、要介護度が高いほど、「訪問系を含む組み合わせでの利用」や「通所系・短期入所系のみでの利用」の割合が高くなっています。

なお、問1(1)は要介護認定データと突合させて集計しています。

問1(2)【問1で「2. 利用していない」の方のみ】 福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用していない理由は何ですか(○はいくつでも)

	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	198	48%	80	57%	81	47%	25	34%
2. 本人(要介護者等)にサービス利用の希望がない	87	21%	27	19%	39	23%	16	22%
3. 家族が介護をするため必要ない	60	15%	14	10%	25	14%	14	19%
4. 以前、利用していたサービスに不満があった	12	3%	6	4%	3	2%	3	4%
5. 利用料を支払うのが難しい	28	7%	6	4%	15	9%	6	8%
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない	14	3%	6	4%	6	3%	1	1%
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用している	40	10%	10	7%	13	8%	10	14%
8. サービスを利用したいが手続きや利用方法がわからない	20	5%	7	5%	10	6%	3	4%
9. その他	46	11%	13	9%	18	10%	14	19%
合計	411	100%	140	100%	173	100%	74	100%

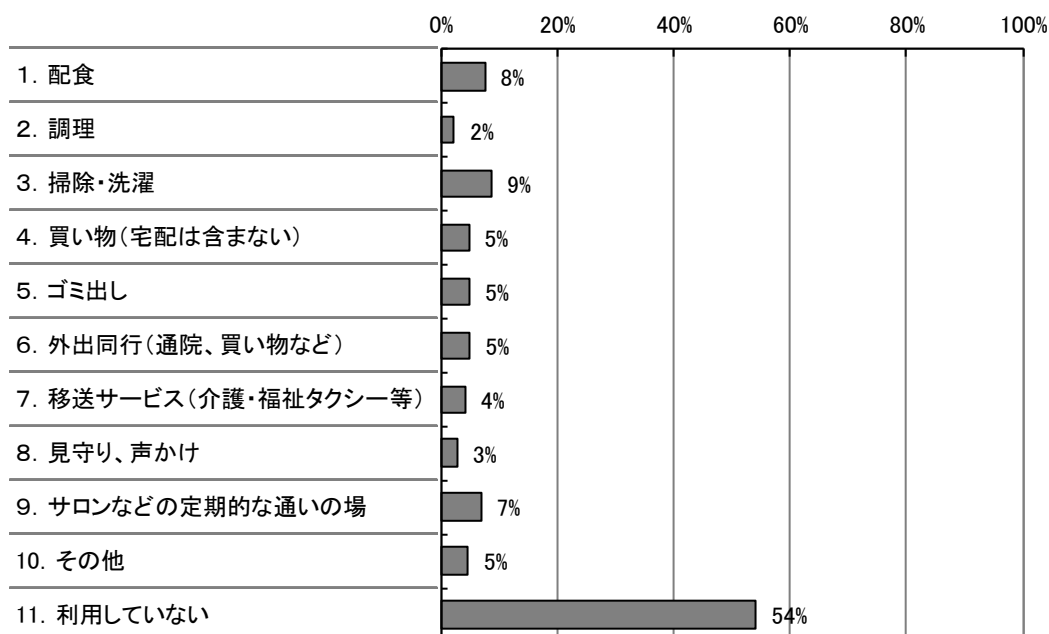


介護保険サービスを利用していない理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が約5割で、「本人(要介護者等)にサービス利用の希望がない」が約2割となっています。

要介護3以上の層でも、回答者全体と似た傾向となっています。

問2 現在、「介護保険サービス以外」の支援・サービスは、何を利用していますか（〇は  
いくつでも）

	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 配食	108	8%	25	8%	47	8%	23	7%
2. 調理	34	2%	11	3%	12	2%	7	2%
3. 掃除・洗濯	124	9%	48	15%	45	7%	22	6%
4. 買い物（宅配は含まない）	69	5%	28	9%	29	5%	7	2%
5. ゴミ出し	70	5%	23	7%	30	5%	12	3%
6. 外出同行（通院、買い物など）	71	5%	22	7%	26	4%	14	4%
7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等）	60	4%	7	2%	23	4%	24	7%
8. 見守り、声かけ	40	3%	17	5%	11	2%	9	3%
9. サロンなどの定期的な通いの場	98	7%	18	6%	44	7%	31	9%
10. その他	67	5%	11	3%	33	5%	16	5%
11. 利用していない	769	54%	165	51%	329	55%	196	57%
合計	1,421	100%	325	100%	603	100%	343	100%

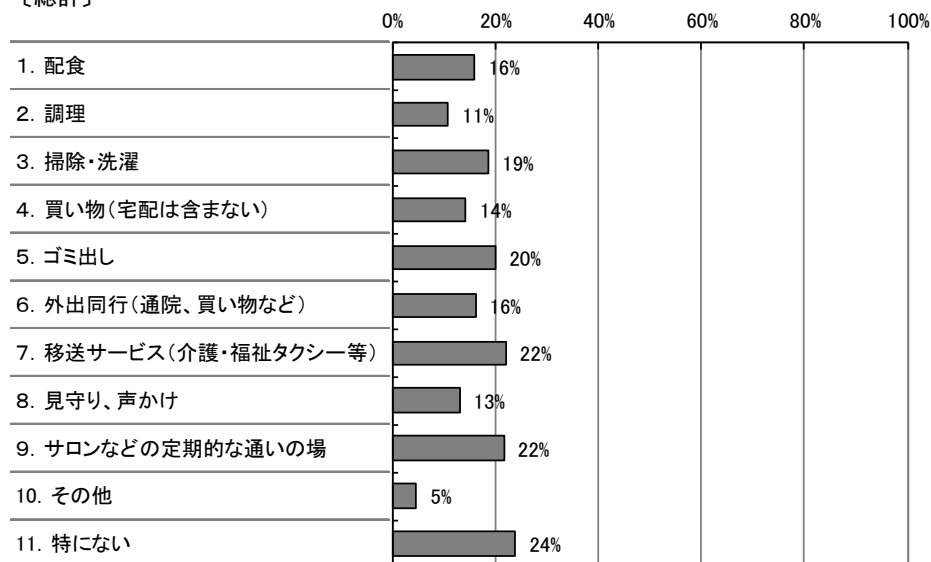


「介護保険サービス以外」の支援・サービスの利用状況は、「掃除・洗濯」が9%、「配食」が8%、「サロンなどの定期的な通いの場」が7%などとなっています。  
要支援1・2の層で、「掃除・洗濯」の利用率がやや高いものの、要介護度による大きな傾向の違いはみられない状況です。

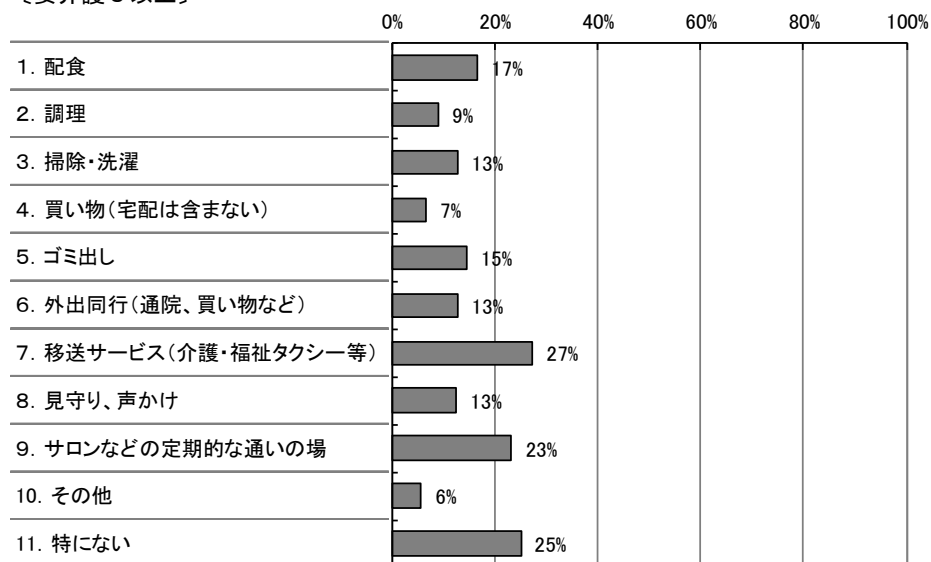
問3 在宅生活を今後も続けていくためには、どの支援・サービス（現在利用中を含む）が必要だと思いますか（〇はいくつでも）

	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 配食	227	16%	45	14%	100	17%	57	17%
2. 調理	155	11%	39	12%	67	11%	31	9%
3. 掃除・洗濯	265	19%	75	23%	117	19%	44	13%
4. 買い物（宅配は含まない）	204	14%	68	21%	91	15%	23	7%
5. ゴミ出し	285	20%	75	23%	140	23%	50	15%
6. 外出同行（通院、買い物など）	230	16%	45	14%	115	19%	44	13%
7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等）	314	22%	47	14%	135	22%	94	27%
8. 見守り、声かけ	186	13%	37	11%	87	14%	43	13%
9. サロンなどの定期的な通いの場	308	22%	78	24%	135	22%	80	23%
10. その他	68	5%	12	4%	30	5%	20	6%
11. 特にない	340	24%	75	23%	142	24%	86	25%
合計	1,421	100%	325	100%	603	100%	343	100%

〔総計〕



〔要介護3以上〕



「介護保険サービス以外」の支援・サービスの利用意向は、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」と「サロンなどの定期的な通いの場」がともに22%などとなっており、現状（問2）より今後の意向（問3）の方が総じて高くなっています。

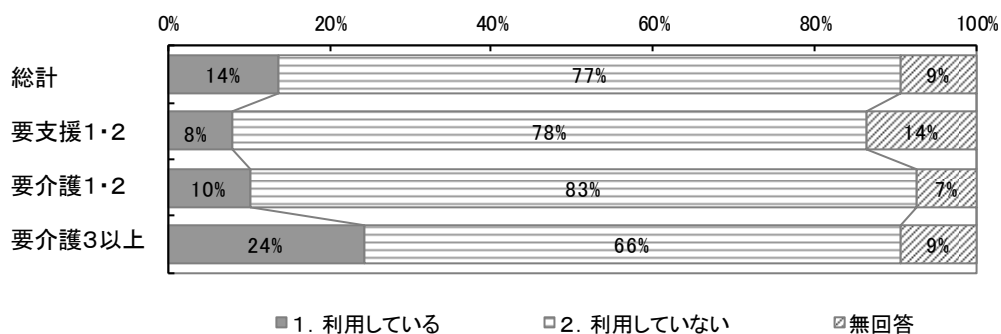
「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」は要介護度が高い層ほど意向が高い傾向がみられます。



#### 問4 ご本人は、現在、訪問診療※を利用していますか（○は1つ）

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等を含みません。

	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 利用している	195	14%	26	8%	61	10%	83	24%
2. 利用していない	1,093	77%	255	78%	498	83%	228	66%
無回答	133	9%	44	14%	44	7%	32	9%
合計	1,421	100%	325	100%	603	100%	343	100%



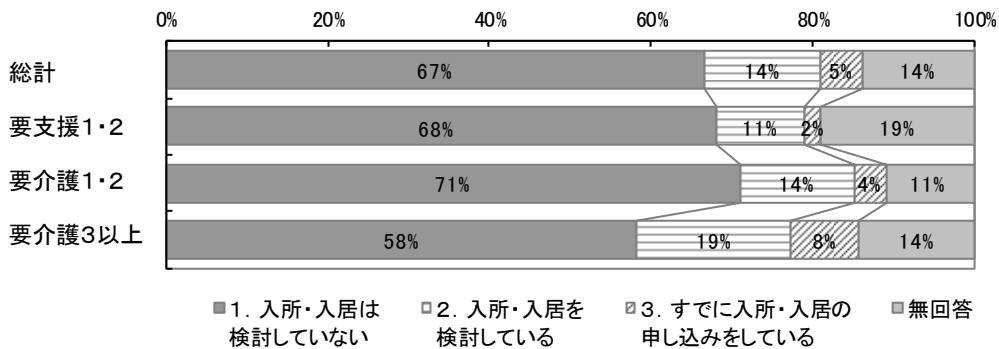
訪問診療の利用状況については、「利用している」は14%で、要介護3以上の層では24%と高くなっています。

### 第3章 施設入所の意向等

#### 問1 現在のところ、施設等への入所・入居を検討されていますか（○は1つ）

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 入所・入居は検討していない	946	67%	221	68%	428	71%	200	58%
2. 入所・入居を検討している	205	14%	36	11%	85	14%	65	19%
3. すでに入所・入居の申し込みをしている	72	5%	6	2%	24	4%	29	8%
無回答	198	14%	62	19%	66	11%	49	14%
合計	1,421	100%	325	100%	603	100%	343	100%



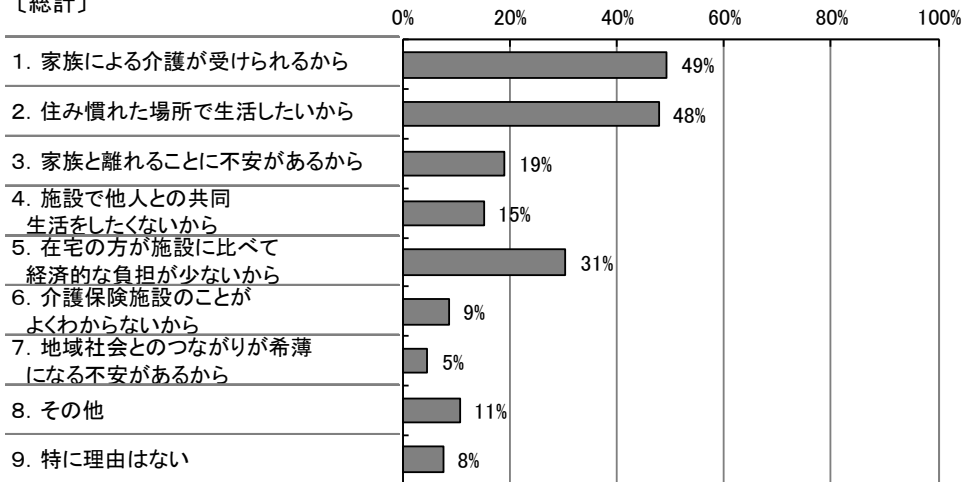
施設等への入所・入居の意向は、「すでに入所・入居の申し込みをしている」が5%、「入所・入居を検討している」が14%となっており、要介護3以上の層では、それぞれ8%、19%となっています。

#### 問1 (1) 【問1で「1. 入所・入居は検討していない」の方のみ】

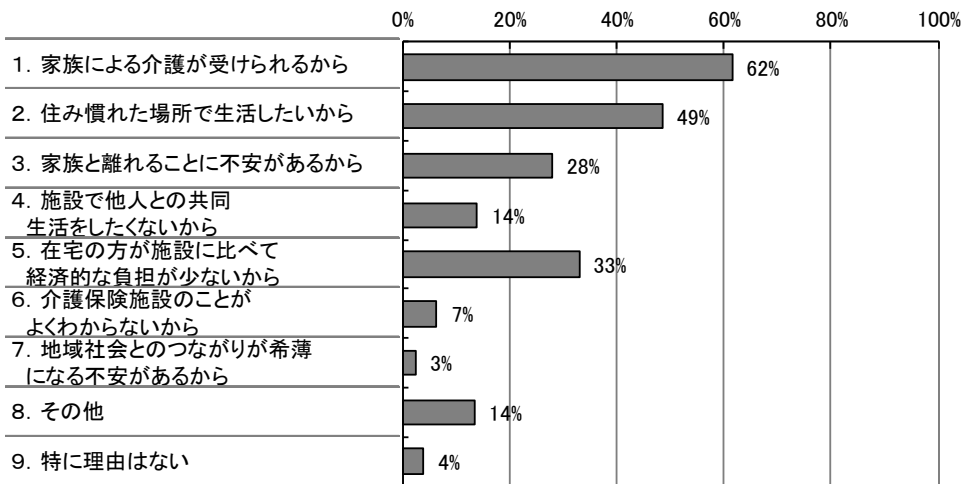
施設等への入所・入居を検討していない理由をお答えください（○はいくつでも）

	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 家族による介護が受けられるから	467	49%	63	29%	211	49%	123	62%
2. 住み慣れた場所で生活したいから	452	48%	104	47%	204	48%	97	49%
3. 家族と離れることに不安があるから	181	19%	16	7%	72	17%	56	28%
4. 施設で他人との共同生活をしたくないから	143	15%	20	9%	75	18%	28	14%
5. 在宅の方が施設に比べて経済的な負担が少ないから	289	31%	52	24%	136	32%	66	33%
6. 介護保険施設のことがよくわからないから	82	9%	22	10%	38	9%	13	7%
7. 地域社会とのつながりが希薄になる不安があるから	45	5%	10	5%	24	6%	5	3%
8. その他	101	11%	25	11%	45	11%	27	14%
9. 特に理由はない	72	8%	35	16%	21	5%	8	4%
合計	946	100%	221	100%	428	100%	200	100%

〔総計〕



〔要介護3以上〕



施設等への入所・入居を検討していない理由は、「家族による介護が受けられるから」と「住み慣れた場所で生活したいから」がともに約5割と高い割合になっています。

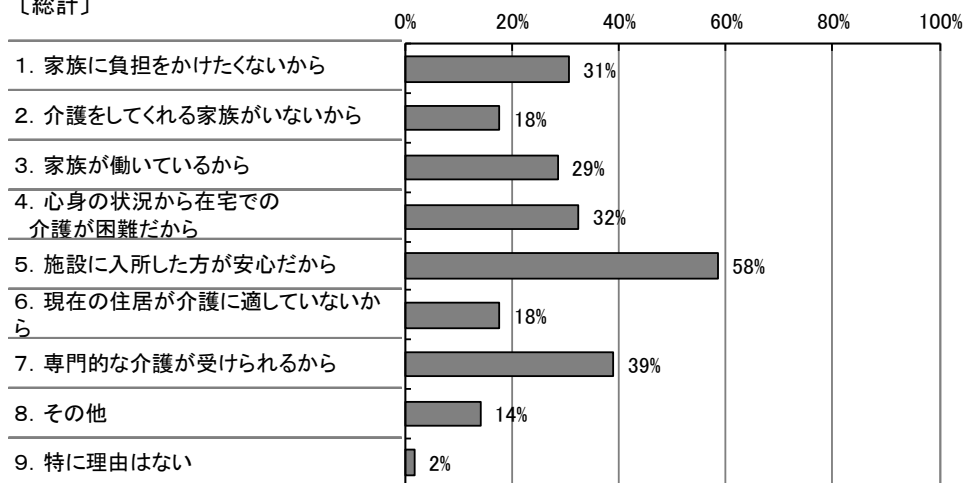
要介護3以上の層では、「家族による介護が受けられるから」が約6割を占めています。

問1(2)【問1で「2. 入所・入居を検討している」または「3. すでに入所・入居の申し込みをしている」の方のみ】

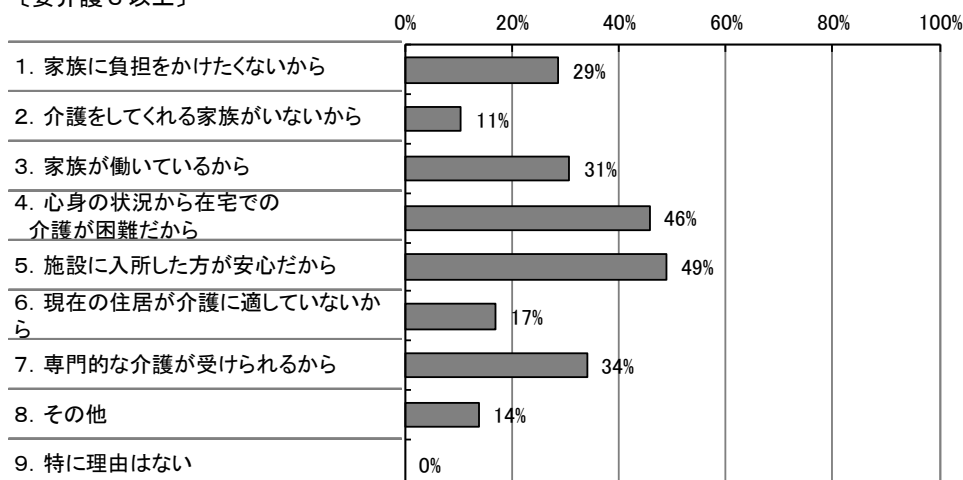
施設等への入所・入居を検討している、またはすでに入所・入居の申し込みをしている理由をお答えください（〇はいくつでも）

	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 家族に負担をかけたくないから	85	31%	14	33%	37	34%	27	29%
2. 介護をしてくれる家族がないから	49	18%	13	31%	22	20%	10	11%
3. 家族が働いているから	79	29%	9	21%	34	31%	29	31%
4. 心身の状況から在宅での介護が困難だから	90	32%	11	26%	23	21%	43	46%
5. 施設に入所した方が安心だから	162	58%	23	55%	73	67%	46	49%
6. 現在の住居が介護に適していないから	49	18%	9	21%	18	17%	16	17%
7. 専門的な介護が受けられるから	108	39%	12	29%	49	45%	32	34%
8. その他	39	14%	2	5%	18	17%	13	14%
9. 特に理由はない	5	2%	1	2%	2	2%	0	0%
合計	277	100%	42	100%	109	100%	94	100%

【総計】



【要介護3以上】

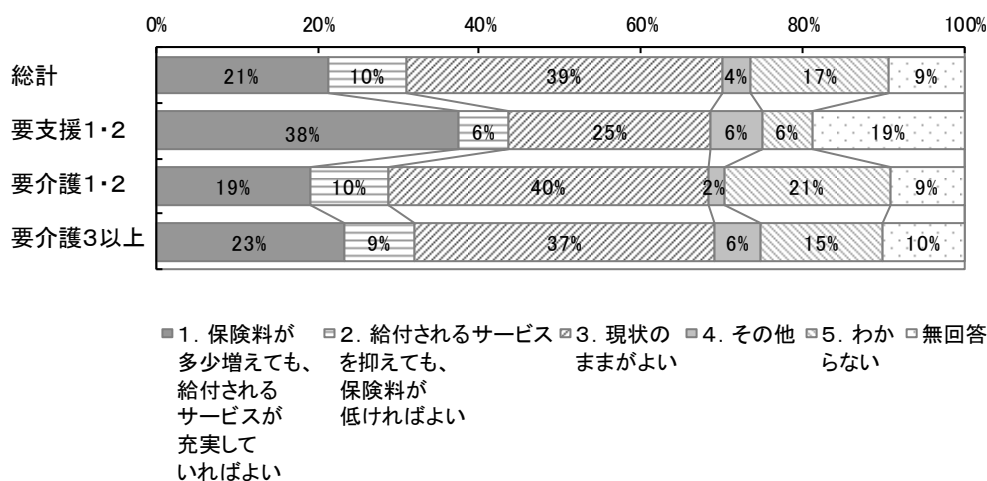


施設を検討または申し込んでいる理由については、「施設に入所した方が安心だから」が58%と最も多く、「専門的な介護が受けられるから」、「心身の状況から在宅での介護が困難だから」と続いています。

要介護3以上の層では、「心身の状況から在宅での介護が困難だから」の割合が高くなっています。

問2 介護保険は、皆さまからご納付いただく保険料などにより介護が必要な方のサービス費用をまかなっております。今後の保険料について、あなたのお考えに最も近いのはどれですか（○は1つ）

	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 保険料が多少増えても、給付されるサービスが充実していればよい	113	21%	6	38%	42	19%	37	23%
2. 給付されるサービスを抑えても、保険料が低ければよい	52	10%	1	6%	21	10%	14	9%
3. 現状のままだがよい	207	39%	4	25%	87	40%	59	37%
4. その他	19	4%	1	6%	4	2%	9	6%
5. わからない	91	17%	1	6%	45	21%	24	15%
無回答	49	9%	3	19%	20	9%	16	10%
合計	531	100%	16	100%	219	100%	159	100%



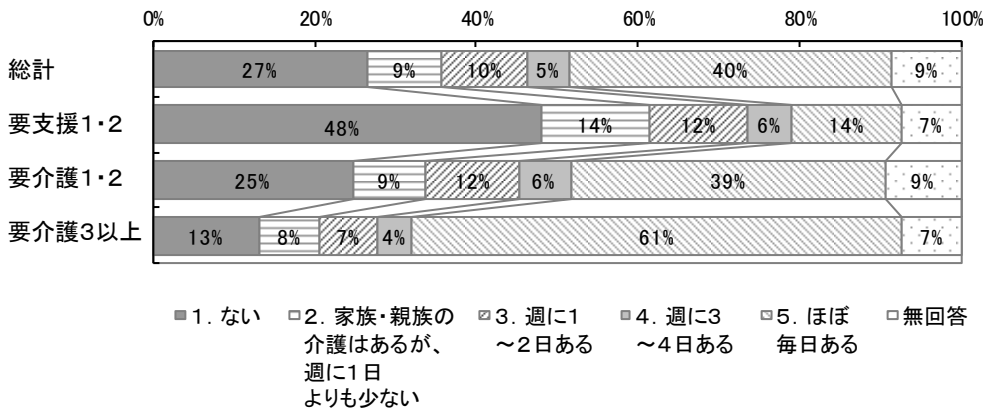
保険料とサービスの関係については、現状維持を望む声が多くなっていますが、要支援1・2の層では、「保険料が多少増えても、給付されるサービスが充実していればよい」が最も多く、他の層と異なる傾向となっています。

## 第4章 主な介護者の状況

問1 家族や親族の方が介護をする日は、週にどのくらいありますか（〇は1つ）

※同居していない子どもや親族の方等からの介護も含みます。

	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. ない	377	27%	156	48%	149	25%	45	13%
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない	132	9%	44	14%	55	9%	26	8%
3. 週に1～2日ある	149	10%	39	12%	70	12%	24	7%
4. 週に3～4日ある	74	5%	18	6%	39	6%	15	4%
5. ほぼ毎日ある	568	40%	44	14%	233	39%	208	61%
無回答	121	9%	24	7%	57	9%	25	7%
合計	1,421	100%	325	100%	603	100%	343	100%



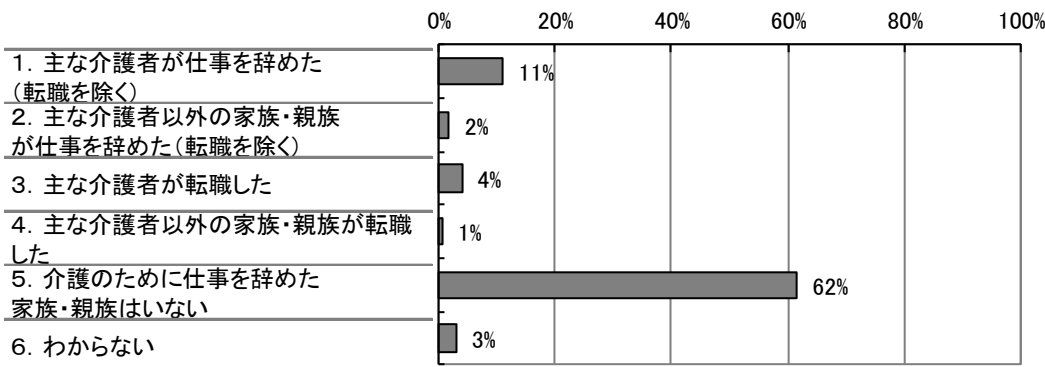
介護者の介護をする日数については、「ほぼ毎日ある」が40%、「週に3～4日ある」が5%、「週に1～2日ある」が10%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」が9%、「ない」が27%などとなっています。  
「ほぼ毎日ある」は要介護3以上の方の介護者では61%を占めています。

ここからは、あて名の方を主に介護している方（主な介護者の方）が、お答えください。

問2 ご家族や親族の方で、ご本人（要介護者等）の介護のために、過去1年の間に仕事  
※を辞めた方・転職された方はいらっしゃいますか（〇はいくつでも）

※現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。  
※自営業や農林水産業の仕事を辞めた・転職した場合も含まれます。

	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職を除く）	102	11%	11	8%	40	10%	43	16%
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職を除く）	17	2%	3	2%	3	1%	7	3%
3. 主な介護者が転職した	37	4%	9	6%	19	5%	5	2%
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した	6	1%	1	1%	1	0%	3	1%
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	568	62%	92	63%	266	67%	152	56%
6. わからない	28	3%	6	4%	7	2%	11	4%
合計	923	100%	145	100%	397	100%	273	100%

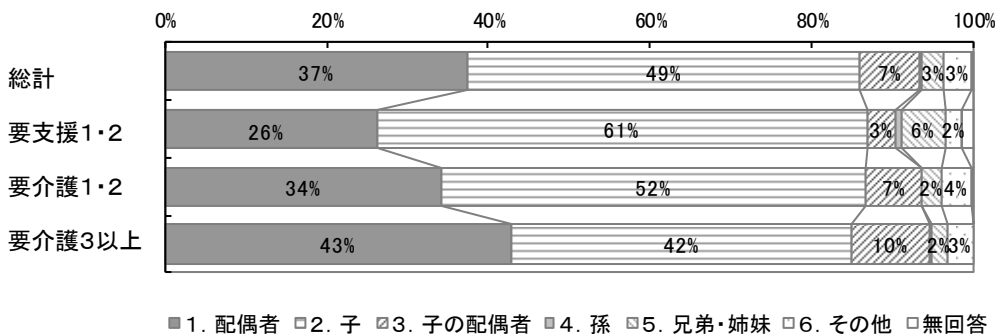


過去1年の間に、介護者等が仕事を辞めたり転職したかについては、「主な介護者が仕事を辞めた（転職を除く）」が11%、「主な介護者が転職した」が4%、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職を除く）」が2%、「主な介護者以外の家族・親族が転職した」が1%などとなっています。

要介護度別にみても、要介護3以上の層でやや離職・転職の割合は高いものの、大きな傾向の違いはみられません。

問3 主な介護者の方は、ご本人から見てどなたになりますか（○は1つ）

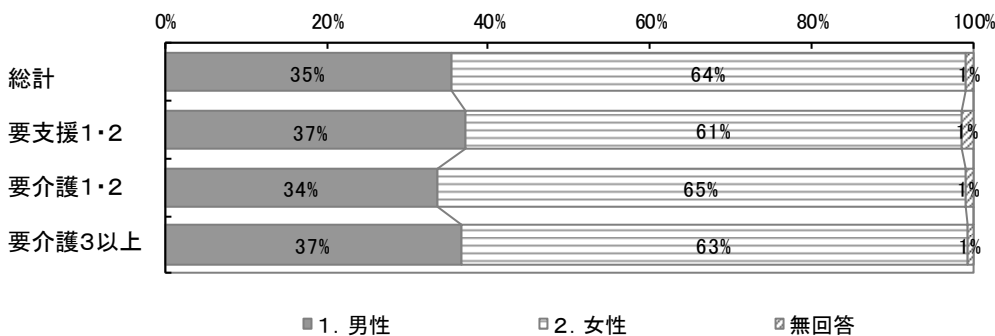
	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 配偶者	346	37%	38	26%	136	34%	117	43%
2. 子	448	49%	88	61%	208	52%	115	42%
3. 子の配偶者	68	7%	5	3%	28	7%	26	10%
4. 孫	3	0%	1	1%	0	0%	1	0%
5. 兄弟・姉妹	25	3%	8	6%	9	2%	5	2%
6. その他	30	3%	3	2%	15	4%	9	3%
無回答	3	0%	2	1%	1	0%	0	0%
合計	923	100%	145	100%	397	100%	273	100%



主な介護者は子と配偶者が多く、重度の層ほど配偶者の割合が高い傾向がみられます。

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（○は1つ）

	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 男性	327	35%	54	37%	134	34%	100	37%
2. 女性	588	64%	89	61%	259	65%	171	63%
無回答	8	1%	2	1%	4	1%	2	1%
合計	923	100%	145	100%	397	100%	273	100%



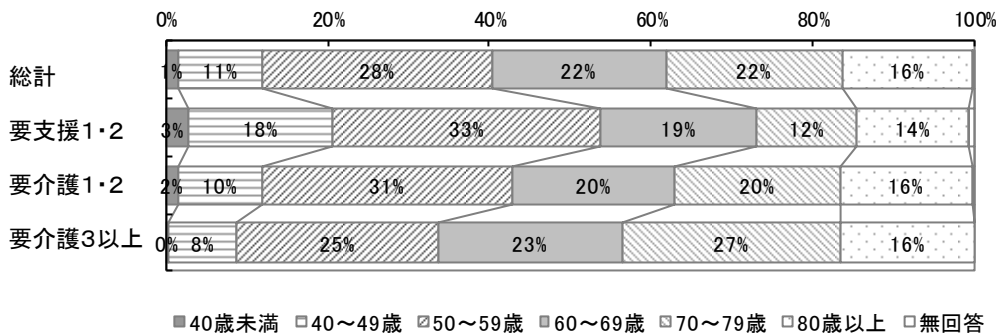
主な介護者は男性が35%、女性が64%となっています。



問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（○は1つ）

	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
20歳未満	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
20～29歳	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%
30～39歳	12	1%	4	3%	6	2%	1	0%
40～49歳	98	11%	26	18%	41	10%	23	8%
50～59歳	261	28%	48	33%	123	31%	68	25%
60～69歳	199	22%	28	19%	80	20%	62	23%
70～79歳	201	22%	18	12%	81	20%	74	27%
80～89歳	147	16%	20	14%	63	16%	45	16%
90歳以上	2	0%	0	0%	2	1%	0	0%
わからない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
無回答	2	0%	1	1%	1	0%	0	0%
合計	923	100%	145	100%	397	100%	273	100%

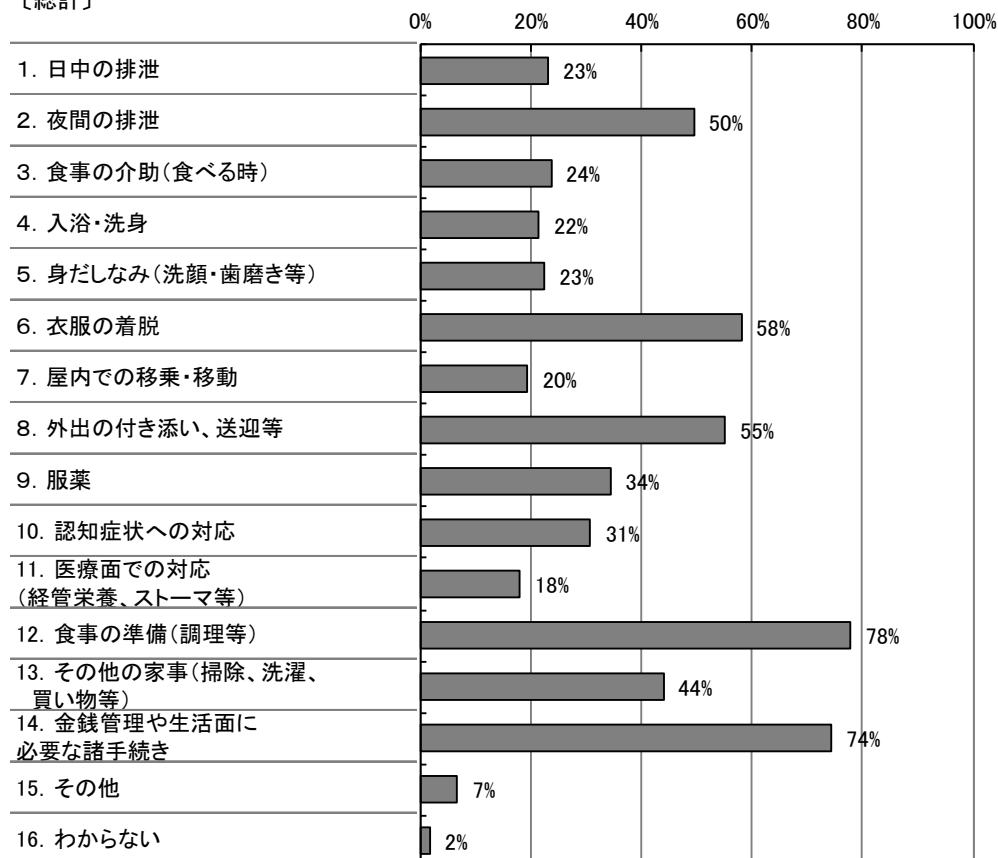
主な介護者の年齢は50代から70代にかけてが多くなっています。



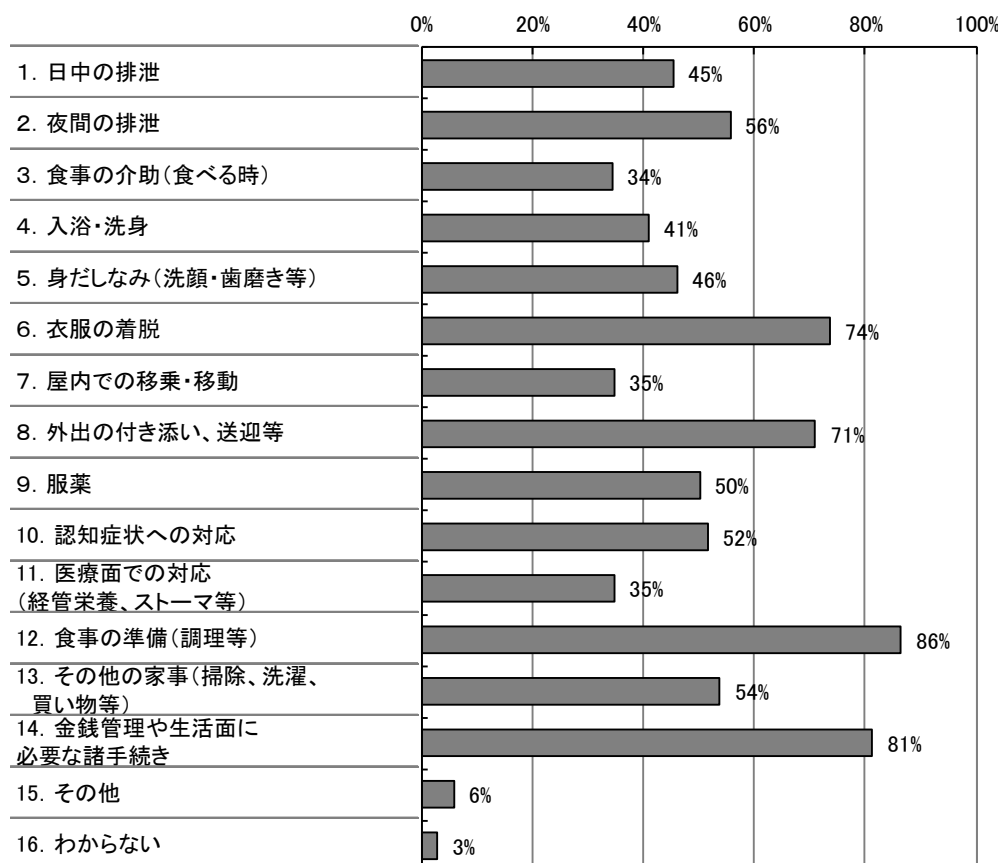
問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等をお答えください（○はいくつでも）

	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 日中の排泄	214	23%	9	6%	42	11%	124	45%
2. 夜間の排泄	457	50%	88	61%	188	47%	152	56%
3. 食事の介助（食べる時）	219	24%	20	14%	71	18%	94	34%
4. 入浴・洗身	199	22%	9	6%	45	11%	112	41%
5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	208	23%	5	3%	37	9%	126	46%
6. 衣服の着脱	536	58%	63	43%	212	53%	201	74%
7. 屋内での移乗・移動	180	20%	6	4%	42	11%	95	35%
8. 外出の付き添い、送迎等	509	55%	27	19%	210	53%	194	71%
9. 服薬	318	34%	8	6%	115	29%	137	50%
10. 認知症状への対応	285	31%	15	10%	88	22%	141	52%
11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	167	18%	8	6%	46	12%	95	35%
12. 食事の準備（調理等）	718	78%	93	64%	305	77%	236	86%
13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	406	44%	20	14%	148	37%	147	54%
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き	686	74%	68	47%	305	77%	222	81%
15. その他	63	7%	13	9%	29	7%	16	6%
16. わからない	17	2%	1	1%	4	1%	8	3%
合計	923	100%	145	100%	397	100%	273	100%

〔総計〕



〔要介護3以上〕



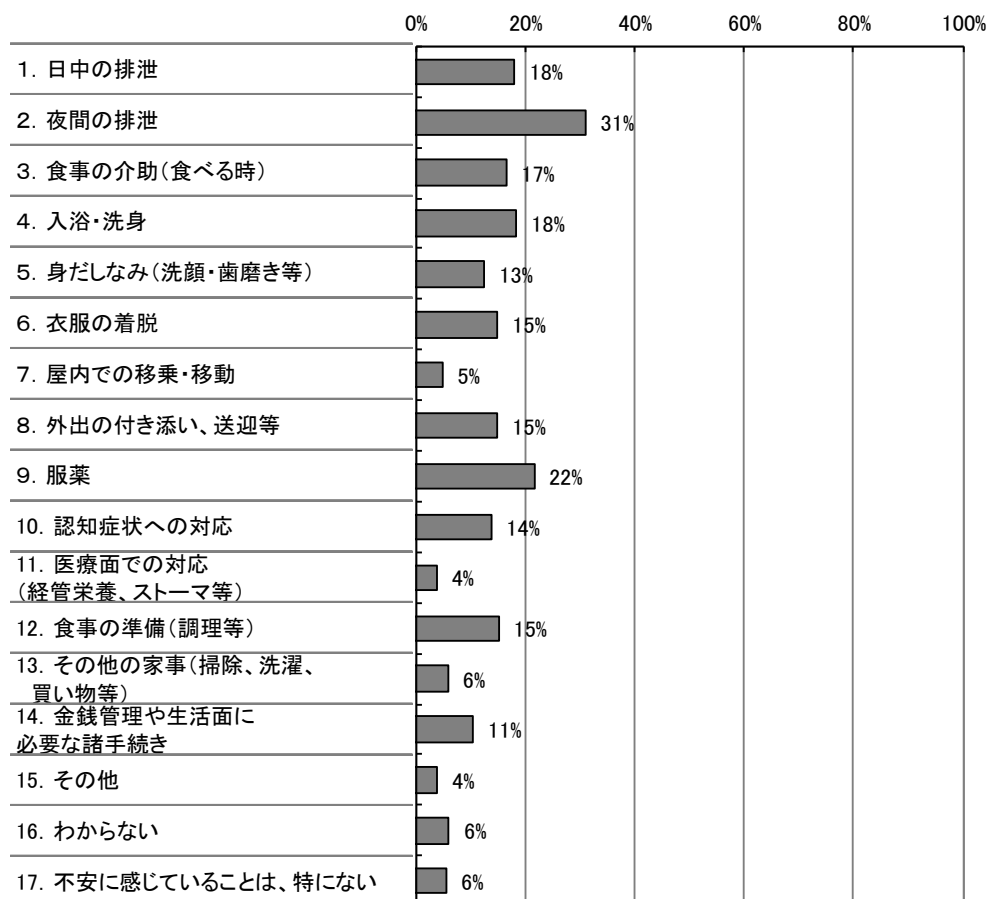
主な介護者が行っている介護の内容は、「食事の準備(調理等)」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「衣服の着脱」、「外出の付き添い、送迎等」、「夜間の排泄」の順に多くなっています。

要介護3以上の層をみると、回答の順位傾向に大きな違いはみられませんが、それぞれの介護内容を行っている割合が全体的に高くなっています。

問7 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等をお答えください（○は3つまで） ※現在行っているかどうかは問いません。

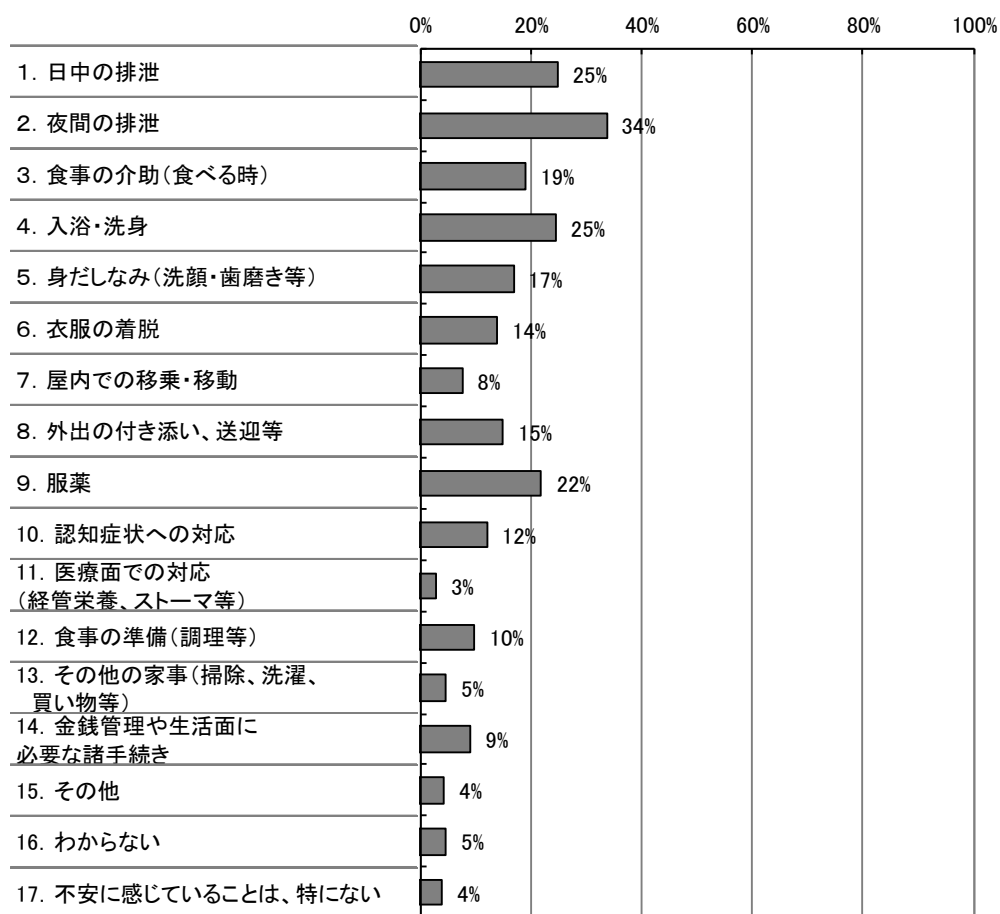
	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 日中の排泄	167	18%	14	10%	62	16%	68	25%
2. 夜間の排泄	287	31%	52	36%	116	29%	92	34%
3. 食事の介助（食べる時）	153	17%	23	16%	64	16%	52	19%
4. 入浴・洗身	170	18%	11	8%	65	16%	67	25%
5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	116	13%	16	11%	48	12%	46	17%
6. 衣服の着脱	138	15%	32	22%	59	15%	38	14%
7. 屋内での移乗・移動	46	5%	3	2%	16	4%	21	8%
8. 外出の付き添い、送迎等	138	15%	12	8%	66	17%	41	15%
9. 服薬	200	22%	31	21%	98	25%	60	22%
10. 認知症状への対応	128	14%	4	3%	56	14%	33	12%
11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	36	4%	2	1%	17	4%	8	3%
12. 食事の準備（調理等）	140	15%	34	23%	69	17%	27	10%
13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	55	6%	7	5%	28	7%	13	5%
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き	97	11%	15	10%	50	13%	25	9%
15. その他	37	4%	7	5%	12	3%	12	4%
16. わからない	57	6%	14	10%	29	7%	13	5%
17. 不安に感じていることは、特にない	52	6%	12	8%	18	5%	11	4%
合計	923	100%	145	100%	397	100%	273	100%

〔総計〕



現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護の内容は、「夜間の排泄」、「服薬」の順に多くなっています。

〔要介護3以上〕

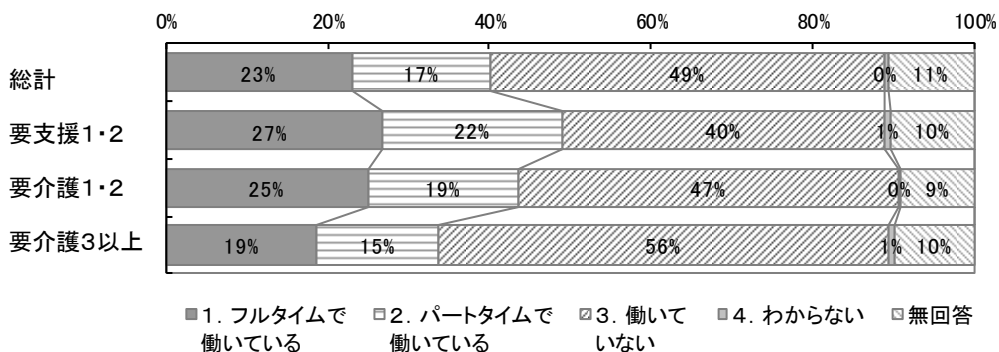


要介護3以上の層をみても同様ですが、他に「日中の排泄」、「入浴・洗身」などがやや高いといった傾向がみられます。

問8 主な介護者の方の現在の勤務形態をお答えください（○は1つ）

	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. フルタイムで働いている	212	23%	39	27%	99	25%	51	19%
2. パートタイム※で働いている	159	17%	32	22%	74	19%	41	15%
3. 働いていない	449	49%	58	40%	187	47%	152	56%
4. わからない	4	0%	1	1%	1	0%	2	1%
無回答	99	11%	15	10%	36	9%	27	10%
合計	923	100%	145	100%	397	100%	273	100%

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」「嘱託」「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」「パートタイム」のいずれかを選択してください。

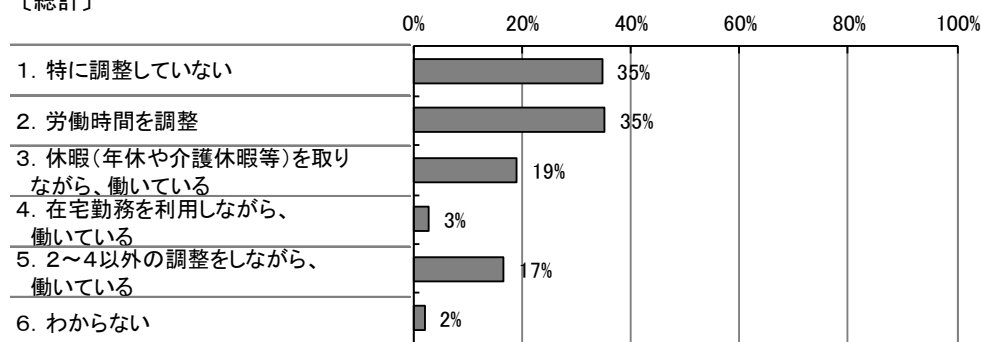


主な介護者の勤務形態は、「フルタイムで働いている」が23%、「パートタイムで働いている」が17%、「働いていない」が49%などとなっています。重度の層ほど、フルタイムの割合は低くなっていますが、要介護3以上の層の介護者でも19%がフルタイムで働いています。

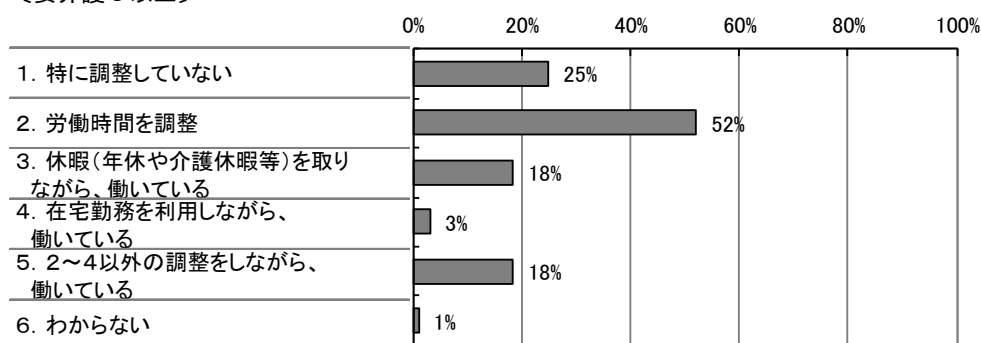
問8(1)【問8で「1. フルタイムまたはパートタイムで働いている」または「2. パートタイムで働いている」の方のみ】 介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(○はいくつでも)

	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 特に調整していない	129	35%	34	48%	61	35%	23	25%
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている	131	35%	18	25%	55	32%	48	52%
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている	71	19%	9	13%	38	22%	17	18%
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	11	3%	1	1%	5	3%	3	3%
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている	62	17%	11	15%	30	17%	17	18%
6. わからない	8	2%	2	3%	5	3%	1	1%
合計	371	100%	71	100%	173	100%	92	100%

〔総計〕



〔要介護3以上〕



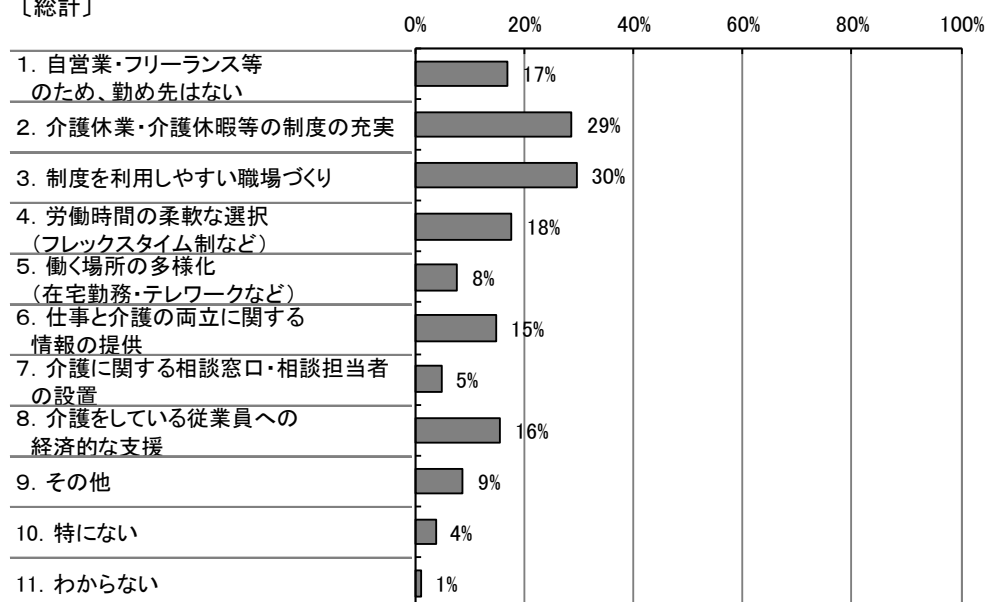
働き方についての調整等については、「労働時間を調整しながら、働いている」が35%、「休暇を取りながら、働いている」が19%などとなっています。  
要介護3以上の層では、「労働時間を調整しながら、働いている」が52%と高い割合になっています。

問8(2)【問8で「1. フルタイムまたはパートタイムで働いている」 または「2. パートタイムで働いている」の方のみ】

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（〇は3つまで）

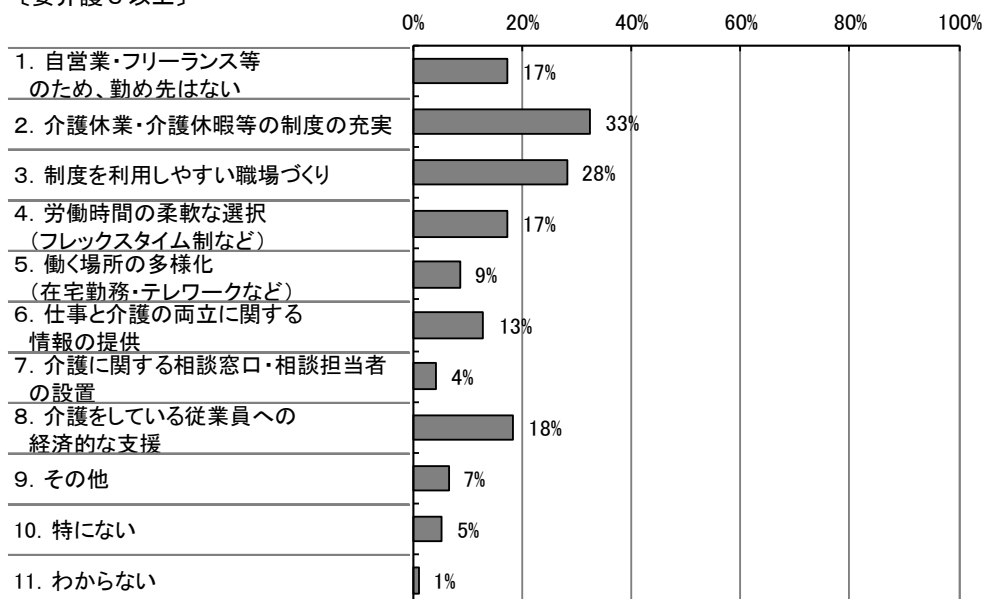
	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	63	17%	6	8%	33	19%	16	17%
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実	107	29%	14	20%	54	31%	30	33%
3. 制度を利用しやすい職場づくり	110	30%	21	30%	57	33%	26	28%
4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	66	18%	14	20%	25	14%	16	17%
5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	29	8%	5	7%	12	7%	8	9%
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供	55	15%	15	21%	24	14%	12	13%
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	18	5%	1	1%	10	6%	4	4%
8. 介護をしている従業員への経済的な支援	58	16%	8	11%	26	15%	17	18%
9. その他	33	9%	17	24%	9	5%	6	7%
10. 特になし	14	4%	0	0%	4	2%	5	5%
11. わからない	4	1%	0	0%	2	1%	1	1%
合計	371	100%	71	100%	173	100%	92	100%

〔総計〕



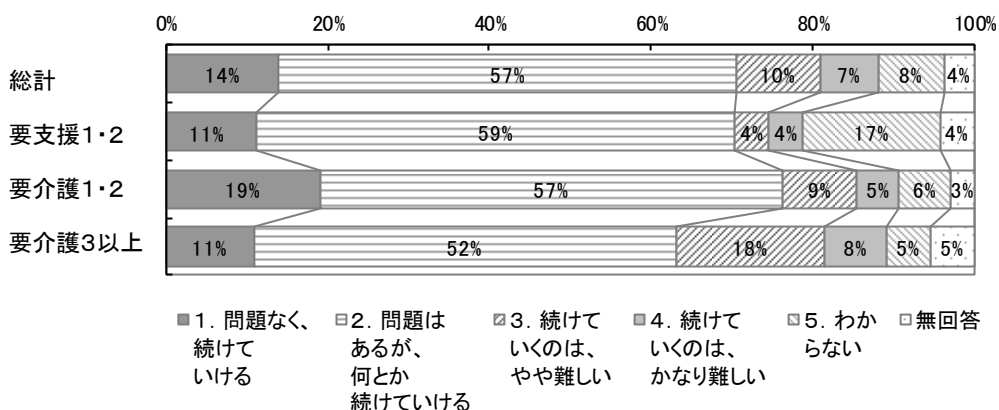
仕事と介護の両立に効果がある支援については、「制度を利用しやすい職場づくり」と「介護休業・介護休暇等の制度の充実」がともに約3割で多くなっています。  
要介護3以上の層でも、概ね同様の傾向を示しています。

〔要介護3以上〕



問8（3）【問8で「1. フルタイムまたはパートタイムで働いている」 または「2. パートタイムで働いている」の方のみ】 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（○は3つまで）

	総計		要支援1・2		要介護1・2		要介護3以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 問題なく、続けていける	52	14%	8	11%	33	19%	10	11%
2. 問題はあるが、何とか続けていける	210	57%	42	59%	99	57%	48	52%
3. 続けていくのは、やや難しい	38	10%	3	4%	16	9%	17	18%
4. 続けていくのは、かなり難しい	27	7%	3	4%	9	5%	7	8%
5. わからない	30	8%	12	17%	11	6%	5	5%
無回答	14	4%	3	4%	5	3%	5	5%
合計	371	100%	71	100%	173	100%	92	100%



「働きながら介護を続けていけるか」については、「続けていくのは、かなり難しい」は7%、「続けていくのは、やや難しい」は10%となっています。



## 第4編

---

# 居宅介護支援に関する調査の集計結果



## 第4編 居宅介護支援に関する調査の集計結果

問A 貴事業所に所属するケアマネジャーの人数、および利用者数について、ご記入ください。

### 〔1 ケアマネジャーの人数〕

	件数	割合
1人	4	17%
2人	6	25%
3人	6	25%
4人	4	17%
5人	2	8%
6人	0	0%
7人	1	4%
8人	1	4%
合計	24	100%

回答のあった居宅介護支援事業所24事業所のケアマネジャーの人数は、1人が4事業所、2人が6事業所など、表のとおりです。

また、1事業所あたりの利用者数は、5人から201人まで幅があり、合計1,872人、平均は78人でした。

### 〔2 利用者数〕

	件数	割合
5～20人	5	21%
21～70人	7	29%
71～120人	7	29%
121人以上	5	21%
合計	24	100%

### 〔3 利用者のうち、「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」の数〕

	件数	割合
0人	5	21%
1人	3	13%
2人	5	21%
3人	2	8%
5人	3	13%
6～9人	4	17%
10～16人	2	8%
合計	24	100%

利用者のうち、「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」の数は、0人が5事業所、1人が3事業所など、表のとおりです。最高は16人、合計95人で、1,872人の5%を占めます。

### 〔4 「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」にお住まいの利用者数〕

	件数	割合
0人	16	67%
1人	2	8%
2人	4	17%
4人	1	4%
33人	1	4%
合計	24	100%

「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」に居住している利用者は47人で、これらの方に居宅介護支援を行っている事業所は8事業所あり、1事業所は33人分と多く、残りの7事業所は1～4人分と少なくなっています。

〔5 4のうち、「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」の数〕

	件数	割合
0人	20	83%
1人	2	8%
2人	2	8%
合計	24	100%

「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」に居住している利用者のうち、「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」は8人で、4か所の居宅介護支援事業所が、そうした利用者があると回答しています。

問B 貴事業所において、過去1年の間に、「自宅等（※サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から、居場所を変更した利用者数」を要介護度別にご記入ください。

※ 一時的に入院して自宅に戻った方、現在入院中の方は含めない。

	件数	割合
要支援1	0	0%
要支援2	8	3%
要介護1	46	16%
要介護2	66	24%
要介護3	68	24%
要介護4	53	19%
要介護5	39	14%
合計	280	100%

過去1年の間に、「自宅等（サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から、居場所を変更した利用者数」は280人で、1,872人の15%を占めます。要介護2や要介護3の利用者が多くなっています。

問C 問Bの方の、行き先別の人数を、行き先の所在地も区分しながらご記入ください。

人数	市内	市外	合計
1) 兄弟・子ども・親戚等の家	1	7	8
2) 住宅型有料老人ホーム	22	11	33
3) 軽費老人ホーム（特定施設除く）	0	1	1
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	3	2	5
5) グループホーム	15	3	18
6) 特定施設	7	4	11
7) 地域密着型特定施設	0	0	0
8) 介護老人保健施設	44	8	52
9) 療養型・介護医療院	9	8	17
10) 特別養護老人ホーム	45	6	51
11) 地域密着型特別養護老人ホーム	4	0	4
12) その他	11	7	18
13) 行先を把握していない			3
14) 死亡（※ 搬送先での死亡を含む）			127
合計	161	57	348

過去1年の間に、居場所を変更した利用者の行き先は、死亡のほか、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、住宅型有料老人ホームなどが多くなっています。

問D 問Aの(3)、(5)の「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」全員について、1人ずつ、問1-0～問3-5にご回答ください。

問1-1 世帯類型

	件数	割合
1. 独居	38	42%
2. 夫婦のみ	19	21%
3. 単身の子供との同居	15	16%
4. その他の同居	17	19%
無回答	2	2%
合計	91	100%

問Aの(3)、(5)の「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」全員について、詳細な状況を集計しました。

「世帯類型」は「独居」の方が、「現在の居所」は「自宅等(持ち家)」が多く、「要支援・要介護度」は、要介護4以上が4割近くとなっています。

「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由」のうち、「本人の状態等に属する理由」は、「認知症の症状の悪化」が58%、「必要な身体介護の増大」が51%と多くなっています。

問1-2 現在の居所

	件数	割合
1. 自宅等(持ち家)	62	68%
2. 自宅等(借家)	25	27%
3. 住宅型有料老人ホーム	3	3%
4. サ高住	1	1%
無回答	0	0%
合計	91	100%

問1-3 要支援・要介護度

	件数	割合
要支援1	0	0%
要支援2	6	7%
要介護1	11	12%
要介護2	13	14%
要介護3	28	31%
要介護4	21	23%
要介護5	12	13%
新規申請中	0	0%
無回答	0	0%
合計	91	100%

問2-1 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について

(1) 本人の状態等に属する理由について、お答えください。

	件数	割合
1. 該当なし	2	2%
2. 必要な生活支援の発生・増大	27	30%
3. 必要な身体介護の増大	46	51%
4. 認知症の症状の悪化	53	58%
5. 医療的ケア・医療処置の必要性の高まり	25	27%
6. その他、本人の状態等の悪化	25	27%
7. 本人の状態等の改善	4	4%
合計	91	100%

問 2-2 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について

(2) 主に本人の意向等に属する理由について、お答えください

	件数	割合
1. 該当なし	31	34%
2. 本人が、一部の居宅サービスの利用を望まないから	19	21%
3. 生活不安が大きいから	25	27%
4. 居住環境が不便だから	13	14%
5. 本人が介護者の負担の軽減を望むから	9	10%
6. 費用負担が重いから	11	12%
7. その他、本人の意向等があるから	17	19%
合計	91	100%

「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由」のうち、「本人の意向等に属する理由」は、「該当なし」が34%、「生活不安が大きいから」が27%、「本人が、一部の居宅サービスの利用を望まないから」が21%となっています。

問 2-3 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について

(3) 主に家族等介護者の意向・負担等に属する理由について、お答えください。

	件数	割合
1. 該当なし	13	14%
2. 介護者の介護に係る不安・負担量の増大	41	45%
3. 介護者が、一部の居宅サービスの利用を望まないから	4	4%
4. 家族等の介護等技術では対応が困難	32	35%
5. 費用負担が重いから	12	13%
6. 家族等の就労継続が困難になり始めたから	19	21%
7. 本人と家族等の関係性に課題があるから	25	27%
8. その他、家族等介護者の意向等があるから	23	25%
合計	91	100%

「家族等介護者の意向・負担等に属する理由」は、「介護者の介護に係る不安・負担量の増大」を45%が、「家族等の介護等技術では対応が困難」を35%となっています。

問 2-4 【問 2-1 で【「3.」を選択の場合】

理由となる、具体的な「身体介護」をお答えください。

	件数	割合
1. 見守り・付き添い	26	57%
2. 移乗・移動	33	72%
3. 食事摂取	31	67%
4. 排泄（日中）	40	87%
5. 排泄（夜間）	39	85%
6. 入浴	34	74%
7. 更衣・整容	34	74%
8. その他	12	26%
合計	46	100%

問 2-1 の「身体介護」の内容は、「排泄（日中）」が87%、「排泄（夜間）」が85%のほか、多くの項目で、7割以上となっています。

問 2-5【問 2-1 で【「4.」を選択の場合】理由となる、具体的な「認知症の症状」をお答えください。

	件数	割合
1. 家事に支障がある	24	45%
2. 一人での外出が困難	29	55%
3. 薬の飲み忘れ	30	57%
4. 金銭管理が困難	27	51%
5. 意欲の低下	17	32%
6. 徘徊がある	15	28%
7. 暴言・暴力などがある	18	34%
8. 強い介護拒否がある	13	25%
9. 深夜の対応	20	38%
10. 近隣住民等とのトラブル	9	17%
11. その他	8	15%
合計	53	100%

問 2-1 の「認知症の症状」の内容は、「薬の飲み忘れ」が 57%、「一人での外出が困難」が 55%、「金銭管理が困難」が 51%と、この 3 項目が多くなっています。

問 2-6 【問 2-1 で【「5.」を選択の場合】理由となる、具体的な「医療的ケア」、「医療処置」をお答えください。

	件数	割合
1. 点滴の管理	1	4%
2. 中心静脈栄養	0	0%
3. 透析	4	16%
4. ストーマの処置	3	12%
5. 酸素療法	3	12%
6. レスピレーター	0	0%
7. 気管切開の処置	1	4%
8. 疼痛の看護	1	4%
9. 経管栄養	8	32%
10. モニター測定	0	0%
11. 褥瘡の処置	5	20%
12. カテーテル	3	12%
13. 喀痰吸引	5	20%
14. インスリン注射	1	4%
15. その他	13	52%
合計	25	100%

問 2-1 の「医療的ケア・医療処置」の内容は、「経管栄養」が 32%、「褥瘡の処置」が 20%、「喀痰吸引」が 20%で多くなっています。

問 3-1 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況に対して、どのようなサービスに変更することで改善できると思いますか。

	件数	割合
1. より適切な「在宅サービス」に変更する（例：小多機等）	5	5%
2. より適切な「住まい・施設等」に変更する（例：サ高住への入居、特養への入所 等）	50	55%
3. より適切な「在宅サービス」もしくは「住まい・施設等」に変更する（例：定期巡回の利用、もしくは特養への入所が適切等）	24	26%
4. 「1.」～「3.」では、改善は難しいと思う	11	12%
無回答	1	1%
合計	91	100%

「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況に対して、「より適切な住まい・施設等に変更する（例：サ高住への入居、特養への入所等）」ことで改善できるという回答が55%と多くなっています。

また、「サービス変更での改善は難しいと思う」は1割程度と少ない状況です。

問 3-2 問 3-1 で選択したサービス利用の変更について、本来であればより適切と思われる、具体的なサービスをお答えください。

	件数	割合
1. ショートステイ	16	20%
2. 訪問介護、訪問入浴	6	8%
3. 夜間対応型訪問介護	6	8%
4. 訪問看護	6	8%
5. 訪問リハ	3	4%
6. 通所介護、通所リハ、認知症対応型通所	6	8%
7. 定期巡回サービス	12	15%
8. 小規模多機能	11	14%
9. 看護小規模多機能	7	9%
10. 住宅型有料老人ホーム	8	10%
11. サ高住（特定施設除く）	11	14%
12. グループホーム	21	27%
13. 特定施設	6	8%
14. 介護老人保健施設	10	13%
15. 療養型・介護医療院	13	16%
16. 特別養護老人ホーム	51	65%
合計	79	100%

問 3-1 について、「本来であればより適切と思われる、具体的なサービス」は、「特別養護老人ホーム」が65%、「グループホーム」が27%、「ショートステイ」が20%の順となっています。

「定期巡回サービス」は15%、「小規模多機能」は14%、「看護小規模多機能」は9%です。

問 3-3 【問 3-2 で「10.」～「16.」を選択の場合】

利用者の入所・入居の緊急度をお答えください。

	件数	割合
1. 緊急性が高い	25	33%
2. 入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫	44	58%
3. その他	7	9%
合計	76	100%

施設・居住系サービスの入所・入居の緊急度は、「緊急性が高い」は約3割となっています。



問3-4 【問3-2で「10.」～「15.」（※特養以外）を選択の場合】入所・入居できていない理由をお答えください。

	件数	割合
1. まだ、申込をしていない	25	49%
2. 申込済みだが、空きがない	14	27%
3. 申込済みで空きはあるが、希望の住まい・施設等に空きがない	0	0%
4. 申込済みだが、医療処置があることを理由に入所・入居できない	4	8%
5. その他	8	16%
合計	51	100%

特別養護老人ホームを除く施設・居住系サービスに入所・入居できていない理由は、「申込済みだが、空きがない」が27%と多くなっています。  
「申込済みだが、医療処置があることを理由に入所・入居できない」は8%で、比較的少ないと言えます。

問3-5 【問3-2で「16.」（※特養）を選択の場合】特養に入所できていない理由をお答えください。

	件数	割合
1. まだ、申込をしていない	10	20%
2. 申込済みだが、空きがない	33	65%
3. 申込済みで空きはあるが、希望の住まい・施設等に空きがない	2	4%
4. 申込済みだが、医療処置があることを理由に入所・入居できない	1	2%
5. その他	7	14%
合計	51	100%

特別養護老人ホームに入所・入居できていない理由は、「申込済みだが、空きがない」が65%と多くなっています。  
「申込済みだが、医療処置があることを理由に入所・入居できない」は2%と少ない状況です。

問E 貴事業所の事業展開上、どのような課題がありますか。あてはまるものすべてに○を付けてください。

	件数	割合
1) 介護保険制度の将来像が不透明である	16	67%
2) 苦情や要望に対する窓口を設け対応しているが苦慮することが多い	4	17%
3) ケアマネジャー1人あたりの担当する利用者が多い	6	25%
4) サービス管理票や請求書作成等の事務作業が多い	13	54%
5) 専門職員の確保が難しい	4	17%
6) 職員の教育が十分にできない	7	29%
7) 他の事業所や関係機関と連携をとるのが難しい	6	25%
8) その他	2	8%
9) 特にない	0	0%
合計	24	100%

事業所の事業展開上の課題は、「介護保険制度の将来像が不透明である」が67%、「サービス管理票や請求書作成等の事務作業が多い」が54%と多くあげられています。

問F 貴事業所のケアマネジャーがケアプランの作成にあたり、確保（調整）するのが困難だったサービスはどれですか。また富士見市で今後整備が必要なサービスは何だと思いますか。あてはまるものすべてに○を付けてください。（複数回答可）

	件数		件数		件数
1. 訪問介護	12	11. 短期入所生活介護	4	21. 認知症対応型共同生活介護	3
2. 訪問入浴介護	2	12. 短期入所療養介護	4	22. 地域密着型特定施設入居者生活介護	1
3. 訪問看護	1	13. 特定施設入居者生活介護	1	23. 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0
4. 訪問リハビリテーション	3	14. 介護予防支援・居宅介護支援	0	24. 看護小規模多機能型居宅介護	4
5. 居宅療養管理指導	2	15. 介護老人福祉施設	3	25. 地域密着型通所介護	2
6. 福祉用具貸与	0	16. 介護老人保健施設	2	26. 総合事業訪問型サービス	11
7. 福祉用具購入費	1	17. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	10	27. 総合事業通所型サービス	8
8. 住宅改修	0	18. 夜間対応型訪問介護	7	28. 総合事業通所型サービスC（短期集中型）	0
9. 通所介護	2	19. 認知症対応型通所介護	3	29. 総合事業集中型介護予防教室（はつらつ教室）	0
10. 通所リハビリテーション	3	20. 小規模多機能型居宅介護	5	合計	24

富士見市で今後整備が必要なサービスは、「訪問介護」、「総合事業訪問型サービス」、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が多くあげられています。

問F 貴事業所のケアマネジャーがケアプランを作成している利用者の方で、現在、「介護保険サービス以外」の支援・サービスは、何を利用していますか。あてはまるものすべてに○を付けてください。（複数回答可）

	件数	割合
1. 配食	16	67%
2. 調理	1	4%
3. 掃除・洗濯	10	42%
4. 買い物（宅配は含まない）	4	17%
5. ゴミ出し	12	50%
6. 外出同行（通院、買い物など）	14	58%
7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等）	18	75%
8. 見守り、声かけ	5	21%
9. サロンなどの定期的な通いの場	10	42%
10. 地域の取組みで行っている生活支援サービス（電球交換など）	4	17%
11. その他	4	17%
12. 利用していない	0	0%
合計	24	100%

居宅介護支援利用者の「介護保険サービス以外の支援・サービス」の利用状況は、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が75%、「配食」が67%などとなっています。

## 第5編

---

# 介護保険施設等の入退所状況に関する 調査の集計結果



## 第5編 介護保険施設等の入退所状況に関する調査の集計結果

問1 該当するサービス種別を1つだけ選んで、右欄に番号をご記入ください。

	件数
特別養護老人ホーム	4
介護老人保健施設	2
グループホーム	2
地域密着型特別養護老人ホーム	1
合計	9

「介護保険施設等の入退所状況に関する調査」は、仕事と介護の両立に効果がある支援については、特別養護老人ホーム4施設、介護老人保健施設2施設、グループホーム2事業所、地域密着型特別養護老人ホーム1施設のあわせて9施設・事業所から回答がありました。

問3によると、入所・入居者の合計は650人です。

問2 貴施設等の概要について、以下にご記入ください。

〔入所・入居者数〕

	件数
18～49人	3
50～99人	2
100人以上	4
合計	9

〔待機者数〕

	件数
1～10人	5
11～99人	2
100人以上	2
合計	9

問3 現在の入所・入居者の要支援・要介護度について、ご記入ください。

	人数	割合
要介護1	47	7%
要介護2	76	12%
要介護3	171	26%
要介護4	196	30%
要介護5	150	23%
申請中・不明	10	2%
合計	650	100%

要介護3～5の入所・入居者が多く、平均要介護度は3.51と算出されます。

問4 以下の医療処置を受けている人数をご記入ください。

	人数		人数
1) 点滴の管理	0	9) 経管栄養	26
2) 中心静脈栄養	0	10) モニター測定	0
3) 透析	1	11) 褥瘡の処置	13
4) ストーマの処置	1	12) カテーテル	10
5) 酸素療法	1	13) 喀痰吸引	7
6) レスピレーター	0	14) インスリン注射	5
7) 気管切開の処置	0	合計(延べ人数)	64
8) 疼痛の看護	0		

問4によると、医療処置を受けている人数は、「経管栄養」が26人、「褥瘡の処置」が13人、「カテーテル」が10人などという状況です。

問5・6 過去1年間の新規入所・入居者の前の居場所別の人数をご記入ください。

	市内	市外	合計
1) 自宅 (※ 兄弟・子ども・親戚等の家含む)	62	58	120
2) 住宅型有料老人ホーム	0	2	2
3) 軽費老人ホーム (特定施設除く)	0	0	0
4) サービス付き高齢者向け住宅 (特定施設除く)	0	0	0
5) グループホーム	2	1	3
6) 特定施設	0	0	0
7) 地域密着型特定施設	0	0	0
8) 介護老人保健施設	21	58	79
9) 療養型・介護医療院	0	0	0
10) 特別養護老人ホーム	19	12	31
11) 地域密着型特別養護老人ホーム	0	0	0
12) 長期入院 (※一時的な入院は「1) 自宅」)	17	29	46
13) その他	16	8	24
14) 入居・入所する前の居場所を把握していない			0
合計	137	168	305

問7・9 過去1年間の退去者の退去先別の人数をご記入ください。

	市内	市外	合計
1) 自宅 (※ 兄弟・子ども・親戚等の家含む)	10	4	14
2) 住宅型有料老人ホーム	0	0	0
3) 軽費老人ホーム (特定施設除く)	0	0	0
4) サービス付き高齢者向け住宅 (特定施設除く)	0	2	2
5) グループホーム	0	0	0
6) 特定施設	1	1	2
7) 地域密着型特定施設	0	0	0
8) 介護老人保健施設	29	70	99
9) 療養型・介護医療院	2	2	4
10) 「9」を除く病院・診療所 (一時的な入院を除く)	32	42	74
11) 特別養護老人ホーム	13	14	27
12) 地域密着型特別養護老人ホーム	0	0	0
13) その他	5	2	7
14) 行先を把握していない			0
15) 死亡 (※ 搬送先での死亡を含む)			73
合計	92	137	302

問5・6、問7・9によると、過去1年間の新規入所・入居者の合計は305人、退去者の合計は302人で、「前の居場所」は「自宅」や「介護老人保健施設」が、退去先は、「介護老人保健施設」や「病院・診療所」、「死亡」が多くなっています。

問 8 問 7 でご記入いただいた過去 1 年間の退去者について、要介護度別の人数をご記入ください。

	人数
要介護 1	33
要介護 2	48
要介護 3	90
要介護 4	69
要介護 5	56
新規申請中	0
死亡	31
合計	298

退去者の要介護度は、要介護 3 が多い状況ですが、要介護 1 から要介護 5 まで分散しています。

問 10 貴施設等の入居・入所者が、退去する理由は何ですか。退去理由として多いものを上位 3 つまで選んで、該当する欄に○を付けてください。

件数	第 1 位	第 2 位	第 3 位
1) 必要な生活支援が発生・増大したから			
2) 必要な身体介護が発生・増大したから		2	
3) 認知症の症状が悪化したから			1
4) 医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから	4	4	
5) 「1」～「4」以外の状態像が悪化したから			1
6) 入所・入居者の状態等が改善したから			3
7) 入所・入居者が、必要な居宅サービスの利用を望まなかったから			1
8) 費用負担が重くなったから		1	1
9) その他	4	1	
無回答	1	1	2
合計	9	9	9

問 10 によると、退去理由は 302 人で、「医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから」が多くなっていますが、「入所・入居者の状態等が改善したから」という理由もあげられています。

問 11 貴施設等の事業展開上、どのような課題がありますか。あてはまるものすべての欄に○を付けてください。

	件数	割合
1) 介護保険制度の将来像が不透明である	3	33%
2) 苦情や要望に対する窓口を設け対応しているが苦慮することが多い	3	33%
3) 施設整備・改修等の費用の確保が難しい	4	44%
4) 利用者が少ない	2	22%
5) 専門職員の確保が難しい	5	56%
6) 職員の教育が十分にできない	3	33%
7) 他の事業所や関係機関と連携をとるのが難しい	1	11%
8) その他	2	22%
9) 特にない	0	0%
合計	9	100%

事業展開上の課題は、9施設・事業所中5施設・事業所から、「専門職員の確保が難しい」があげられています。





## 第6編

---

# 介護人材確保に関する調査の集計結果



## 第6編 介護人材確保に関する調査の集計結果

問1 事業所の名称と開設年をご記入ください。複数の事業所分をまとめて回答いただく場合は、すべての事業所名を併記してください。

	件数	割合
施設・居住系サービス事業所を有する法人	13	46%
訪問系サービスのみの法人	7	25%
その他の法人	8	29%
合計	28	100%

「介護人材確保に関する調査」は、複数事業所を運営する法人も1票の調査票に回答するという方法で配布・回収・集計を行いました。

全体で28法人から回答があり、その内訳は「施設・居住系サービス事業所を有する法人」が13法人、「訪問系サービスのみの法人」が7法人、「その他の法人」（訪問系、通所系などの事業所を運営する法人）が8法人となっています。

問2-1 介護職員の総数を、ご記入ください。（数値を記入）

合計人数

	正規職員	非正規職員	合計
施設・居住系サービス事業所を有する法人	281	202	483
訪問系サービスのみの法人	41	51	92
その他の法人	35	55	90
合計	357	308	665

1事業所あたりの職員数

	正規職員	非正規職員	合計
施設・居住系サービス事業所を有する法人	21.6	15.5	37.2
訪問系サービスのみの法人	5.9	7.3	13.1
その他の法人	4.4	6.9	11.3
合計	12.8	11.0	23.8

職員総数は665人で、内訳は、正規職員が357人、非正規職員が308人です。

1事業所あたりの職員数は23.8人で、「施設・居住系サービス事業所を有する法人」が37.2人、「訪問系サービスのみの法人」が13.1人、「その他の法人」が11.3人となっています。

問2-2 平成30年11月～令和元年10月の介護職員の採用者・離職者数を、年齢別にご記入ください。

	採用者数		離職者数		離職者数/採用者数	
	合計	うち 正規職員	合計	うち 正規職員	合計	うち 正規職員
20歳未満	3	3	0	0	0%	0%
20～29歳	23	19	20	18	87%	95%
30～39歳	15	6	7	4	47%	67%
40～49歳	33	12	34	15	103%	125%
50～59歳	32	10	27	16	84%	160%
60～69歳	19	1	20	2	105%	200%
70～79歳	4	0	8	0	200%	0%
年齢不明・未回答	41	8	51	24	—	—
合計	129	51	116	55	90%	108%

〔再集計〕

	採用者数		離職者数		離職者数/採用者数	
	合計	うち 正規職員	合計	うち 正規職員	合計	うち 正規職員
施設・居住系サービス事業所を有する法人	83	39	77	46	93%	118%
訪問系サービスのみの法人	22	6	22	6	100%	100%
その他の法人	24	6	17	3	71%	50%
合計	129	51	116	55	90%	108%

	1事業所あたりの採用者数 a		1事業所あたりの離職者数 b		b/a	
	合計	うち 正規職員	合計	うち 正規職員	合計	うち 正規職員
施設・居住系サービス事業所を有する法人	6.4	3.0	5.9	3.5	93%	118%
訪問系サービスのみの法人	3.1	0.9	3.1	0.9	100%	100%
その他の法人	3.0	0.8	2.1	0.4	71%	50%
合計	4.6	1.8	4.1	2.0	90%	108%

過去1年間の介護職員の採用者数の全法人合計は129人、離職者数の全法人合計は116人となっています。離職者数を採用者数で除すと約90%で、正規職員のみでは約108%となっています。

1事業所あたりの採用者数は4.6人、1事業所あたりの離職者数は4.1人で、「離職者数を採用者数で除した割合」を法人区別にみると、「施設・居住系サービス事業所を有する法人」が93%、「訪問系サービスのみの法人」が100%、「その他の法人」が71%となっており、施設・居住系サービス事業所や訪問系サービス事業所の人材難がうかがわれます。

問3 新規採用者が定着するための以下のような取り組みを、貴事業所では、十分に実施できていると思いますか。5段階の尺度で右の欄に番号をご記入ください。

**A 新規採用者の育成方針、育成計画を明確化している**

	件数	割合
1 十分できている	6	21%
2 まあまあできている	19	68%
3 どちらでもない	1	4%
4 あまりできていない	2	7%
5 全くできていない	0	0%
合計	28	100%

「新規採用者が定着するための取り組みが実施できていると思うか」については、A～Gのどの項目も、「できている」という回答が多くなっています。  
こうした事業所の努力が、人材不足解消にダイレクトにつながっていないことがうかがわれます。

**B 新規採用者に対し、個別に育成担当者**  
**者を配置している**

	件数	割合
1 十分できている	6	21%
2 まあまあできている	17	61%
3 どちらでもない	2	7%
4 あまりできていない	1	4%
5 全くできていない	2	7%
合計	28	100%

**C 新規採用者にとって、使いやすい業務マニュアル類を作成・活用している**

	件数	割合
1 十分できている	4	14%
2 まあまあできている	20	71%
3 どちらでもない	4	14%
4 あまりできていない	0	0%
5 全くできていない	0	0%
合計	28	100%

**D 階層別育成計画に沿って、キャリアパスを明確化し、将来の働き方を見通せる環境**  
**になっている**

	件数	割合
1 十分できている	4	14%
2 まあまあできている	15	54%
3 どちらでもない	5	18%
4 あまりできていない	4	14%
5 全くできていない	0	0%
合計	28	100%

**E 業績を評価し、処遇に反映している**

	件数	割合
1 十分できている	11	39%
2 まあまあできている	12	43%
3 どちらでもない	3	11%
4 あまりできていない	1	4%
5 全くできていない	1	4%
合計	28	100%

F 休暇がとりやすいしくみを工夫するなど、子育て等と仕事の両立を支援している

	件数	割合
1 十分できている	9	32%
2 まあまあできている	16	57%
3 どちらでもない	3	11%
4 あまりできていない	0	0%
5 全くできていない	0	0%
合計	28	100%

G 職員の意見を制度に反映しやすいよう工夫している

	件数	割合
1 十分できている	3	11%
2 まあまあできている	22	79%
3 どちらでもない	3	11%
4 あまりできていない	0	0%
5 全くできていない	0	0%
合計	28	100%

問4 人材確保に苦労している点や、働きやすい職場づくりのために、行政（富士見市）に協力を求めたいことがあれば、自由にご記入ください。

略

問5 介護職員の継続勤務や転職の状況を把握するため、介護職員全員について、1人1行ずつ、(1)～(9)の問いにお答えください。

(1) 資格、研修の修了の状況

	人数	割合
1. 介護福祉士	284	44%
2. 実務者研修修了、または(旧)基礎研修修了または(旧)ヘルパー1級	26	4%
3. 初任者研修修了、または(旧)ヘルパー2級	173	27%
4. いずれも該当しない	169	26%
合計	652	100%

(2) 主な職種

	人数	割合
1. 入通所者への介護（正規）	354	54%
2. 入通所者への介護（非正規）	204	31%
3. 訪問介護（正規）	46	7%
4. 訪問介護（非正規）	45	7%
5. 居宅介護支援	3	0%
合計	652	100%

介護職員全員について、1人ずつ、属性や直前の職場の状況などをお聞きしたところ、次のとおりです。

回答があった介護職員数は全員で652人で、「介護福祉士」資格所有者は44%です。

「主な職種」は「入通所者への介護（正規）」が54%など表のとおりです。

### (3) 性別

	人数	割合
1. 男性	175	27%
2. 女性	477	73%
合計	652	100%

性別は女性が約7割で、年齢は40～50代が約半数です。

「過去1週間の勤務時間」は「40時間以上」が約半数です。

「現在の事業所での勤務年数」が1年未満の介護職員は14%（89人）です。

### (4) 年齢

	人数	割合
1. 20歳未満	3	0%
2. 20代	89	14%
3. 30代	97	15%
4. 40代	155	24%
5. 50代	183	28%
6. 60代	90	14%
7. 70代以上	34	5%
8. 不明	1	0%
合計	652	100%

### (5) 過去1週間の勤務時間

	人数	割合
0～16時間	117	18%
16～39時間	181	28%
40時間以上	341	52%
時間無回答	13	2%
合計	652	100%

「勤務年数1年未満の介護職員」の「直前の職場」は、「介護以外の職場」が40%と最も多く、「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」が26%で続いています。

### (6) 現在の事業所での勤務年数

	人数	割合
1年以上	544	83%
1年未満	89	14%
無回答	19	3%
合計	652	100%

### 【「1年未満」の場合は(7)へ】

### (7) 現在の職場の直前の職場

	人数	割合
1. 現在の職場が初めての勤務先	16	18%
2. 介護以外の職場	36	40%
3. 特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設	23	26%
4. 訪問介護・入浴、夜間対応型	4	4%
5. 小多機、看多機、定期巡回サービス	0	0%
6. 通所介護、通所リハ、認知症デイ	6	7%
7. 住宅型有料、サ高住（特定施設以外）	1	1%
8. その他の介護サービス	1	1%
無回答	2	2%
合計	89	100%

【「3.」～「8.」の場合は(8)へ】

(8) 直前の職場の場所

	人数	割合
1. 市内	10	29%
2. 市外	24	69%
無回答	1	3%
合計	35	100%

「勤務年数1年未満の介護職員」の「直前の職場」の場所は、「市外」が多くなっています。

「転勤か転職か」は、「転職」が多くなっています。

(9) 転勤か転職か

	人数	割合
1. 転勤	6	17%
2. 転職	24	69%
無回答	5	14%
合計	35	100%

問6 問5(2)で訪問介護員と回答された職員の直近1週間の勤務時間（移動時間は除く）を、1人ずつ、全員分ご記入ください。

〔勤務時間数の合計（分）〕

	【介護給付分】					【予防給付・総合事業分】					合計
	身体介護	買い物	調理・配膳	その他	合計	身体介護	買い物	調理・配膳	その他	合計	
月～金	21,958	3,443	7,103	9,241	41,745	0	582	469	2,962	4,013	45,758
土日	2,980	580	1,080	820	5,460	0	0	0	0	0	5,460
月～日	24,938	4,023	8,183	10,061	47,205	0	582	469	2,962	4,013	51,218

〔ヘルパー1人1日あたりの勤務時間（分）〕

	【介護給付分】					【予防給付・総合事業分】					合計
	身体介護	買い物	調理・配膳	その他	合計	身体介護	買い物	調理・配膳	その他	合計	
月～金	51	8	17	21	97	0	1	1	7	9	106
土日	17	3	6	5	32	0	0	0	0	0	32
月～日	68	11	23	26	129	0	1	1	7	9	138

訪問介護員86人の「直近1週間の勤務時間」を1人1日あたりに換算すると138分で、介護給付分が129分、予防給付・総合事業分が9分となっています。

介護給付分の内訳は、「身体介護」が68分、「買い物」が11分、「調理・配膳」が23分、「その他」が26分です。



資料編

---

調査票



《富士見市》介護予防・日常生活圏域二一ス調査

調査協力のお願ひ

皆様には、日頃から市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。  
 富士見市では、高齢者の皆様が住み慣れた地域で安心して元気に暮らすことができるよう、3年を1期とする高齢者保健福祉計画に基づき、取り組みを進めております。

この計画の見直しを令和2年度に予定しており、このたび地域の課題や高齢者の皆様の現状等を把握するためのアンケートを実施することいたしました。

この調査は、富士見市にお住まいの要介護認定を受けていない65歳以上の方の中から無作為に抽出した3,500名の方を対象として行います。

本調査で得られた情報は、第8期富士見市高齢者保健福祉計画の策定及び効果評価の目的以外に使用することはありません。併せて、厚生労働省が管理する市町村外のデータベース内に情報を登録し活用させていただきますが、上記目的以外に使用することはありません。また、当該情報は富士見市個人情報保護条例に則り、富士見市で慎重かつ適正に管理いたします。なお、本調査票のご返送をもちまして、個人情報取り扱いについてご同意いただいたものとさせていただきます。

大変お忙しいとは存じますが、趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和元年 12月

富士見市長 星野 光弘

記入日	令和	年	月	日
※ 調査票を記入されたのはとたですか。○をつけてください。				
1. あて名のご本人が記入				
2. ご家族が記入（あて名のご本人からみた続柄 _____）				
3. その他（ _____ ）				

ご記入後、お手数ですが、このアンケートを同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、  
**12月20日（金）までに** ポストへ投函してください。

<この調査に関するお問い合わせ先>

富士見市 高齢者福祉課 地域包括ケア係 電話：049-251-2711（内線391・392）

ご記入にあたってのお願い

- この調査対象者は、富士見市内にお住まいで、令和元年11月1日現在、要介護認定を受けていない65歳以上の方です。
- ご回答にあたっては、「あて名のご本人」についてお答えいただけますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、ご一緒に回答されてもかまいません。
- ご回答にあたっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲み、数字を記入する欄は右結めてご記入ください。（例、kg）
- 選択された回答によっては、次に進む設問が異なる場合があります。特にことわりのない場合は次の設問に、ことわり書きや矢印がある場合は指示に従い、次へお進みください。
- この調査で使う用語の意味は、以下のとおりです。  
 介護…介護保険サービスを受けている場合、または認定を受けていない場合においても常時ご家族などの援助を受けている状態  
 介助…ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態



## 2 からだを動かすことについて

- 問1 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか (○は1つ)
1. できるし、している 2. できるけどしてない 3. できない
- 問2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (○は1つ)
1. できるし、している 2. できるけどしてない 3. できない
- 問3 15分位続けて歩いていますか (○は1つ)
1. できるし、している 2. できるけどしてない 3. できない
- 問4 過去1年間に転んだ経験がありますか (○は1つ)
1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない
- 問5 転倒に対する不安は大きいですか (○は1つ)
1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない
- 問6 週に1回以上は外出していますか (○は1つ)
1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2~4回 4. 週5回以上
- 問7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (○は1つ)
1. とても減っている 2. 減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない
- 問8 東武東上線の駅まで、普段、バスが徒歩で行く場合の所要時間 (数字を記入)
- バス    分 徒歩    分

問9 外出する際の移動手段は何ですか (○はいくつでも)

1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク  
 4. 自動車 (自分で運転) 5. 自動車 (人に乗せてもらう) 6. 電車  
 7. 市内循環バス・路線バス 8. 病院や施設のバス 9. 車いす  
 10. 電動車いす (カート) 11. 歩行器・シルバーカー 12. タクシー  
 13. その他 ( )

【問9 (1) 【問9で「4. 自動車 (自分で運転)」の方のみ】  
 将来的に運転免許証を自主返納したいと思いますか (○は1つ)

1. はい (理由: )  
 2. いいえ (理由: )  
 3. わからない

問10 習慣として、運動 (散歩などを除く) をどのくらいしていますか (○は1つ)

1. ほぼ毎日 2. 週4~5日 3. 週2~3日 4. 週1日 5. 週1日未満

問11 市主催の介護予防教室などに参加したことはありますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

【問11 (1) 【問11で「1. はい」の方のみ】

参加したことにより、成果や効果はありますか (○はいくつでも)

1. 通院回数が減った 2. 薬を飲む量が減った  
 3. 体力が向上した 4. 家でも体操などをやるようになった  
 5. 外出の回数が増えた 6. 仲間が増えた  
 7. 気持ちが前向きになった 8. 成果は感じなかった  
 9. わからない 10. その他 ( )

### 3 食べることにについて

問1 身長・体重（数字を記入）

身長   cm      体重   kg

問2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（○は1つ）

1. はい      2. いいえ

問3 歯磨き（人にやってもらってもらう場合も含む）を毎日していますか（○は1つ）

1. はい      2. いいえ

問4 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください（○は1つ）  
（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）

1. 自分の歯は20本以上、  
かつ入れ歯を利用  
2. 自分の歯は20本以上、  
入れ歯の利用なし  
3. 自分の歯は19本以下、  
かつ入れ歯を利用  
4. 自分の歯は19本以下、  
入れ歯の利用なし

【問4（1）【問4で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」  
「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】  
毎日入れ歯の手入れをしていますか（○は1つ）

1. はい      2. いいえ

問5 どなたかと食事をとる機会がありますか（○は1つ）

1. 毎日ある      2. 週に何度かある      3. 月に何度かある  
4. 年に何度かある      5. ほとんどない

### 4 毎日の生活について

問1 物忘れが多いと感じますか（○は1つ）

1. はい      2. いいえ

問2 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）（○は1つ）

1. できるし、している      2. できるだけしていない      3. できない

問3 自分で食品・日用品の買物をしていますか（○は1つ）

1. できるし、している      2. できるだけしていない      3. できない

問3（1）【問3で「2. できるだけしていない」「3. できない」の方のみ】  
食品・日用品の買物をする人は主にどなたですか（○は1つ）

1. 同居の家族      2. 別居の家族      3. ハルバー      4. 配達を依頼      5. その他

問4 自分で食事の用意をしていますか（○は1つ）

1. できるし、している      2. できるだけしていない      3. できない

問4（1）【問4で「2. できるだけしていない」「3. できない」の方のみ】  
食事の用意をする人は主にどなたですか（○は1つ）

1. 同居の家族      2. 別居の家族      3. ハルバー      4. 配達サービスを利用      5. その他

問5 自分で請求書の支払いをしていますか（○は1つ）

1. できるし、している      2. できるだけしていない      3. できない

問6 自分で預貯金の出し入れをしていますか（○は1つ）

1. できるし、している      2. できるだけしていない      3. できない

**5 地域での活動について**

問1 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

※①～③それぞれに回答してください（それぞれ〇は1つ）

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していません
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ ふじみパワーアップ体操クラブなど 介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

問2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（〇は1つ）

1. 是非参加したい      2. 参加してもよい      3. 参加したくない  
4. 既に参加している

問3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（〇は1つ）

1. 是非参加したい      2. 参加してもよい      3. 参加したくない  
4. 既に参加している

**6 たすけあいについて**

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

問1 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（〇はいくつでも）

1. 配偶者      2. 同居の子ども      3. 別居の子ども  
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫      5. 近隣      6. 友人  
7. その他（      ）      8. そのような人はいない

問2 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（〇はいくつでも）

1. 配偶者      2. 同居の子ども      3. 別居の子ども  
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫      5. 近隣      6. 友人  
7. その他（      ）      8. そのような人はいない

問3 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（〇はいくつでも）

1. 配偶者      2. 同居の子ども      3. 別居の子ども  
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫      5. 近隣      6. 友人  
7. その他（      ）      8. そのような人はいない

問4 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人（〇はいくつでも）

1. 配偶者      2. 同居の子ども      3. 別居の子ども  
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫      5. 近隣      6. 友人  
7. その他（      ）      8. そのような人はいない

問5 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（〇はいくつでも）

1. 自治会・町内会・老人クラブ      2. 社会福祉協議会・民生委員  
3. ケアマネジャー      4. 医師・歯科医師・看護師  
5. 市役所・高齢者あんしん相談センター      6. その他（      ）  
7. そのような人はいない

問6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (○は1つ)

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある    | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない  |            |

問7 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (○はいくつでも)

- |               |                   |
|---------------|-------------------|
| 1. 近所・同じ地域の人  | 2. 幼なじみ           |
| 3. 学生時代の友人    | 4. 仕事での同僚・元同僚     |
| 5. 趣味や関心が同じ友人 | 6. ボランティア等の活動での友人 |
| 7. その他 ( )    | 8. いない            |

問8 普段あなたは近所の方と、どの程度のお付き合いをしていますか (○は1つ)

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 1. 何か困った時に助け合える付き合い | 2. お互いに訪問しあう付き合い  |
| 3. 立ち話をする程度の付き合い    | 4. あいざつをする程度の付き合い |
| 5. その他 ( )          | 6. ほとんど付き合いはない    |

問9 あなたは地域でどんな支援ができると思いますか (○はいくつでも)

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1. 配食の手伝い         | 2. 調理              |
| 3. 掃除・洗濯          | 4. 買い物代行           |
| 5. 外出同行 (通院、散歩など) | 6. ゴミ出し            |
| 7. 見守り、声かけ        | 8. サロンなど、通いの場のサポート |
| 9. 外出時の送迎         |                    |
| 10. その他 ( )       | 11. できない           |

問10 あなたが高齢や病気などで日常生活が困難になったとき、近所・地域・ボランティアの方にどのような手助けを希望されますか (○はいくつでも)

- |                |                     |                |
|----------------|---------------------|----------------|
| 1. 安否確認の声かけ    | 2. 話し相手             | 3. 買い物         |
| 4. 炊事 (食事の準備)  | 5. 身の回りの整理 (片付け、洗濯) |                |
| 6. 掃除、ゴミ出し     | 7. 布団干し             | 8. 短時間の子どもの預かり |
| 9. 高齢者や障がい者の介助 | 10. 悩みの相談           |                |
| 11. その他 ( )    | 12. 何もしてもらいたくない     |                |

問11 あなたの地域は「たすけあい支えあえるまち」になっていてと思いますか (○は1つ)

- |              |             |          |
|--------------|-------------|----------|
| 1. とてもそう思う   | 2. ややそう思う   |          |
| 3. あまりそう思わない | 4. 全くそう思わない | 5. わからない |



## 7 健康について

問1 現在のあなたの健康状態はいかがですか (○は1つ)

1. とてもよい    2. まあよい    3. あまりよくない    4. よくない

問2 あなたは、現在の程度幸せですか (数字を記入)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、下記に数字をご記入ください)



点

問3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (○は1つ)

1. はい    2. いいえ

問4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (○は1つ)

1. はい    2. いいえ

問5 タバコは吸っていますか (○は1つ)

1. ほぼ毎日吸っている    2. 時々吸っている  
3. 吸っていたがやめた    4. ちどもと吸っていない

問6 お酒は飲みますか (○は1つ)

1. ほぼ毎日飲む    2. 時々飲む    3. ほとんど飲まない    4. ちどもと飲まない

問7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (○はいくつでも)

1. ない    2. 高血圧  
3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)    4. 心臓病  
5. 糖尿病    6. 高脂血症 (脂質異常)  
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)    8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気  
9. 腎臓・前立腺の病気    10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症・関節症等)  
11. 外傷 (転倒・骨折等)    12. がん (悪性新生物)  
13. 血液・免疫の病気    14. うつ病  
15. 認知症 (アルツハイマー病等)    16. パーキンソン病  
17. 目の病気    18. 耳の病気  
19. その他 ( )

問8 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (○は1つ)

1. はい    2. いいえ

問9 認知症に関する相談窓口を知っていますか (○は1つ)

1. はい    2. いいえ

問10 認知症について正しく理解する方法の一つに「認知症サポーター養成講座」があります。あなたは「認知症サポーター養成講座」をご存知ですか、また、講座を受講したいと思いますか (○は1つ)

1. 知っているし受講したい    2. 知っているが受講したいとは思わない  
3. 知らなかったが受講したい    4. 知らないし受講したいとは思わない  
5. すでに受講したことがある

## 8 介護保険制度等について

問1 平成19年から高齢者の方の介護予防の助言や権利擁護、地域でのネットワーク構築など総合的な相談窓口として活動している「高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）」をご存知ですか（○は1つ）

1. 知っている                      2. 知らない

問2 介護保険は、皆さまからご納付いただく保険料などにより介護が必要な方のサービス費用をまかなっております。今後の保険料について、どのような考えをお持ちですか（○は1つ）

1. 保険料が多少増えても、給付されるサービスが充実していればよい  
2. 給付されるサービスを抑えても、保険料が低ければよい  
3. 現状のままがよい  
4. その他（                      ）  
5. わからない

問3 今後の生活を続けていくうえで、心配なことなどがございましたら、ご自由にお書きください

問4 これからの高齢者の保健福祉や介護に関して、ご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください

ご協力ありがとうございました。記入もれがないか、いま一度お確かめください。

アンケートは、同封の返信用封筒に入れ、

**12月20日（金）までに**      ポストへ投函してください。

宛名ラベル

## 《富士見市》在宅介護実態調査

### 調査協力をお願い

皆様には、日頃から市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。  
富士見市では、高齢者の皆様が住み慣れた地域で安心して元気に暮らすことができるよう、3年を1期とする高齢者保健福祉計画に基づき、取り組みを進めております。

この計画の見直しを令和2年度に予定しており、このたび高齢者の皆様の現状やご意見を把握するためのアンケートを実施することといたしました。

本調査は、富士見市にお住まいの65歳以上の要支援・要介護認定者(以下、「要介護者等」という。)とその介護者を対象としています。

本調査で得られた情報は、第8期富士見市高齢者保健福祉計画の策定及び効果評価の目的以外に使用することはありません。併せて、要介護認定データ(認定調査、介護認定審査会のデータ)を活用させていただきますが、上記目的以外に使用することはありません。また、当該情報は富士見市個人情報保護条例に則り、富士見市で慎重かつ適正に管理いたします。なお、本調査票のご返送をもちまして、個人情報取り扱いについてご同意いただいたものとさせていただきます。

大変お忙しいとは存じますが、趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和元年 12月

富士見市長 星野 光弘

ご記入後、お手数ですが、このアンケートを同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、

**12月25日(水)までに** ポストへ投函してください。

＜この調査に関するお問い合わせ先＞

富士見市 高齢者福祉課 地域包括ケア係 電話：049-251-2711(内線391・392)

### ご記入にあたってのお願い

1. この調査は、要介護者等のご本人及び主な介護者の方にお答えいただくアンケートです。各設問には、**令和元年12月**の状況でご回答ください。

2. 回答は、選択肢に○を付けていただく場合と、記述していただく場合があります。回答は、設問ごとに示している指示に従ってください。

3. 選択された回答によっては、次に進む設問が異なる場合があります。特にことわりのない場合は次の設問に、ことわり書きや矢印がある場合は指示に従い、次へお進みください。

### 1 ご本人(要介護者等)の状況について

問1 現在、この調査票にご回答をいただいているのは、どなたですか(○はいくつでも)

- |                   |                                  |
|-------------------|----------------------------------|
| 1. あて名のご本人(要介護者等) | 2. 主な介護者となっている家族・親族              |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族  | 4. 担当ケアマネジャーや<br>高齢者あんしん相談センター職員 |
| 5. その他( )         |                                  |

問2 世帯類型について、ご回答ください(○は1つ)

- |         |           |        |
|---------|-----------|--------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ世帯 | 3. その他 |
|---------|-----------|--------|

問3 ご本人の性別について、ご回答ください(○は1つ)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問4 ご本人の年齢について、ご回答ください(○は1つ)

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 65歳未満  | 2. 65~69歳 | 3. 70~74歳 |
| 4. 75~79歳 | 5. 80~84歳 | 6. 85~89歳 |
| 7. 90~94歳 | 8. 95~99歳 | 9. 100歳以上 |

問5 ご本人の要介護度について、ご回答ください(○は1つ)

- |          |         |         |         |         |
|----------|---------|---------|---------|---------|
| 1. 要支援1  | 2. 要支援2 |         |         |         |
| 3. 要介護1  | 4. 要介護2 | 5. 要介護3 | 6. 要介護4 | 7. 要介護5 |
| 8. わからない |         |         |         |         |

## 2 介護保険等のサービス利用について

問1 令和元年12月の1か月間に、住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用していますか（○は1つ）

1. 利用している → **問1 (1)へ**      2. 利用していない → **問1 (2)へ**

問1 (1) 【問1で「1. 利用している」の方のみ】

以下の介護保険サービスについて、令和元年12月の1か月間の利用状況をお答えください（1つの項目につき○は1つ）

	1. 週間あたりの利用回数（1つの項目につき○は1つ）					
	利用して いない	週1回 程度	週2回 程度	週3回 程度	週4回 程度	週5回 以上
回答例：●サービス	○	1	2	3	4	5
A. 訪問介護 (ホームヘルプ)	○	1	2	3	4	5
B. 訪問入浴介護	○	1	2	3	4	5
C. 訪問看護	○	1	2	3	4	5
D. 訪問リハビリテーション	○	1	2	3	4	5
E. 通所介護 (デイサービス)	○	1	2	3	4	5
F. 通所リハビリテーション (デイケア)	○	1	2	3	4	5
G. 夜間対応型訪問介護 (訪問のあった回数を回答)	○	1	2	3	4	5

	利用の有無（1つの項目につき○は1つ）	
	1. 利用していない	2. 利用した
H. 定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	1. 利用していない	2. 利用した
I. 小規模多機能型居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した
J. 看護小規模多機能型 居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した
K. ショートステイ	1. 週間あたりの利用回数（○は1つ） 利用して いない      月1～7日      月8～14日      月15～21日      月22日 程度      程度      程度      以上	
L. 居宅療養管理指導	1. 週間あたりの利用回数（○は1つ） 利用して いない      月1回程度      月2回程度      月3回程度      月4回程度 程度      程度      程度      以上	

問6 あなたの住所地を下記から選んでください。（○は1つ）

1. 羽沢1・2丁目
2. 羽沢3丁目
3. 渡戸
4. 大字鶴馬（鶴馬町会）
5. 大字鶴馬（鶴馬西町会）
6. ふじみ野東
7. ふじみ野西1・2・4丁目
8. ふじみ野西3丁目1～8
9. ふじみ野西3丁目9～17
10. 大字鶴馬（渡戸東町会）
11. 大字鶴馬（鶴馬西1丁目二葉町会、鶴馬西1丁目西町会）
12. 大字鶴馬（前谷町会、山窪町会、額訪1丁目町会、額訪2丁目町会）
13. 東大久保
14. 上南畑
15. 下南畑
16. 南畑新田
17. みどり野
18. 山窪
19. 額訪
20. 鶴馬1・2・3丁目
21. 関沢1丁目
22. 関沢2・3丁目
23. 鶴馬東
24. 鶴馬西
25. 上沢
26. 西みすほ台
27. 針ヶ谷1・2丁目
28. 大字針ヶ谷
29. 大字水子（下記以外）
30. 大字水子（針ヶ谷1丁目町会）
31. 水谷
32. 貝塚
33. 櫻町
34. 水谷東
35. 東みすほ台

※上記の住所地は、高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）が担当する範囲によって分けています。

問7 ご本人が現在抱えている傷病について、ご回答ください（○はいくつでも）

1. 脳血管疾患（脳卒中）
2. 心疾患（心臓病）
3. 悪性新生物（がん）
4. 呼吸器疾患
5. 腎疾患（透析）
6. 筋骨系疾患（骨粗しょう症、骨柱管狭窄症等）
7. 膠原病（関節リウマチ含む）
8. 変形性関節症
9. 認知症
10. パーキンソン病
11. 難病（パーキンソン病を除く）
12. 糖尿病
13. 眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）
14. その他（ ）
15. なし
16. わからない

問 1 (2) 【問 1 で「2. 利用していない」の方のみ】  
福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用していない理由は何ですか  
(〇はいくつでも)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人（要介護者等）にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用している
8. サービスを利用したいが手続きや利用方法がわからない
9. その他（ ）

問 2 現在、「介護保険サービス以外」の支援・サービスは、何を利用していますか  
(〇はいくつでも)

1. 配達
2. 調理
3. 掃除・洗濯
4. 買い物（宅配は含まない）
5. コミ出し
6. 外出同行（通院、買い物など）
7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等）
8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場
10. その他（ ）
11. 利用していない

問 3 在宅生活を今後も続けていくためには、どの支援・サービス（現在利用中を含む）  
が必要だと思いますか（〇はいくつでも）

1. 配達
2. 調理
3. 掃除・洗濯
4. 買い物（宅配は含まない）
5. コミ出し
6. 外出同行（通院、買い物など）
7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等）
8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場
10. その他（ ）
11. 特にない

問 4 ご本人は、現在、訪問診療\*を利用していますか（〇は1つ）  
※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

1. 利用している
2. 利用していない

### 3 施設等への入所・入居について

問 1 現在のところ、施設等\*への入所・入居を検討されていますか（〇は1つ）

\*「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

1. 入所・入居を検討していない → 問 1 (1) へ
2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居の申し込みをしている → 問 1 (2) へ

問 1 (1) 【問 1 で「1. 入所・入居を検討していない」の方のみ】  
施設等への入所・入居を検討していない理由をお答えください（〇はいくつでも）

1. 家族による介護が受けられるから
2. 住み慣れた場所で生活したいから
3. 家族と離れることに不安があるから
4. 施設で他人との共同生活をしたくないから
5. 在宅の方が施設に比べて経済的な負担が少ないから
6. 介護保険施設のことがよくわからないから
7. 地域社会とのつながりが希薄になる不安があるから
8. その他（ ）
9. 特に理由はない



## 富士見市 居宅介護支援に関する調査 調査票

※ この調査は、第8期富士見市高齢者保健福祉計画（令和3～5年度）を策定する基礎資料として、厚生労働省の指針のもと、居宅介護支援に関する課題を把握するために実施するものです。匿名化してこの目的のためにのみ活用し、ご回答ただく内容により、個別の指導監査等を行うことはありませんので、調査の趣旨をふまえ、是非ともご協力をお願いします。

※ 令和元年11月1日現在の状況について、以下の問A～Fの回答欄に回答をご入力の上、電子メールで11月29日（金）までに返送ください。

（宛先：fukushi@city.fujimi.saitama.jp 担当：富士見市 高齢者福祉課 地域包括ケア係）

なお、問Dは、在宅生活継続が困難と考えられる利用者1人ひとりについて、1人ずつ、小問1-0から小問3-5までの計14問に回答ください。1人目、2人目、3人目と、3人分の回答欄を用意していますので、4人以上の回答欄が必要な場合は、欄を足してください。別添のエクセルファイルの回答用紙をご利用くださっても構いません。

問A 貴事業所に所属するケアマネジャーの人数、および利用者数について、ご記入ください。

1) 所属するケアマネジャーの人数	[ ] 人
2) 「自宅」にお住まいの利用者数	[ ] 人
3) 2)のうち、「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」の数	[ ] 人
4) 「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」にお住まいの利用者数	[ ] 人
5) 4)のうち、「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」の数	[ ] 人

※「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」は、例えば以下の基準で、ケアマネジャーの判断で選んでください。

### 生活の維持が難しくなっている利用者の基準例

- ① 頻回な身体介護が必要となったため、現在の訪問介護の利用では対応が困難であり、定期巡回サービスの利用がより適切と思う利用者
- ② 認知症に伴う周辺症状の悪化により、介護者の負担が重くなったため、グループホームへの入居がより適切と思う方

問B 貴事業所において、過去1年の間（平成30年11月～令和元年10月）に、「自宅等（※サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から、居場所を変更した利用者数」を要介護度別にご記入ください。

※ 一時的に入院して自宅に戻った方、現在入院中の方は含めないでください。

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2
[ ] 人	[ ] 人	[ ] 人	[ ] 人
要介護3	要介護4	要介護5	合計
[ ] 人	[ ] 人	[ ] 人	[ ] 人★

問C 問Bの方の、行き先別の人数を、行き先の所在地も区分しながらご記入ください。

※ ここでご記入いただいた1)～13)の合計が、問Bの★欄と一致することをご確認ください。

	富士見市内	市外
1) 兄弟・子ども・親戚等の家	[ ] 人	[ ] 人
2) 住宅型有料老人ホーム	[ ] 人	[ ] 人
3) 軽費老人ホーム（特定施設除く）	[ ] 人	[ ] 人
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	[ ] 人	[ ] 人
5) グループホーム	[ ] 人	[ ] 人
6) 特定施設	[ ] 人	[ ] 人
7) 地域密着型特定施設	[ ] 人	[ ] 人
8) 介護老人保健施設	[ ] 人	[ ] 人
9) 療養型・介護医療院	[ ] 人	[ ] 人
10) 特別養護老人ホーム	[ ] 人	[ ] 人
11) 地域密着型特別養護老人ホーム	[ ] 人	[ ] 人
12) その他	[ ] 人	[ ] 人
13) 行先を把握していない	[ ] 人	[ ] 人
14) 死亡（※ 搬送先での死亡を含む）	[ ] 人	[ ] 人

問 D 問 A の 3)、5) の「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」全員について、1人ずつ、問 1-0～問 3-5 にご回答ください。

※3人分の記入欄(問 1-0～問 4-14)を付けていますので、4人目以降は、コピーして足してください。別添のエクセルファイルの回答用紙をご利用くださっても構いません。

問 1-0 該当者を便宜上、1人目、2人目と呼びますので、2人目以降は、数字を覚えていってください。

1人目の方

問 1-1 世帯類型	1. 独居 3. 単身の子供との同居	2. 夫婦のみ 4. その他の同居	回答欄 (数字を入力)
------------	-----------------------	----------------------	-------------

問 1-2 現在の居所	1. 自宅等 (持ち家) 3. 住宅型有料老人ホーム	2. 自宅等 (借家) 4. サ高住	回答欄
-------------	-------------------------------	-----------------------	-----

問 1-3 要支援・要介護度	1. 要支援 1 4. 要介護 2 7. 要介護 5	2. 要支援 2 5. 要介護 3 8. 新規申請中	3. 要介護 1 6. 要介護 4	回答欄
----------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------	-----

問 2-1 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について

(1) 本人の状態等に属する理由について、お答えください

1. 該当なし	2. 必要な生活支援の発生・増大	3. 必要な身体介護の増大	4. 認知症の症状の悪化	5. 医療的ケア・医療処置の必要性の高まり	6. その他、本人の状態等の悪化	7. 本人の状態等の改善	回答欄 (複数回答可)
---------	------------------	---------------	--------------	-----------------------	------------------	--------------	-------------

問 2-2 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について

(2) 主に本人の意向等に属する理由について、お答えください

1. 該当なし	2. 本人が、一部の居宅サービスの利用を望まないから	3. 生活不安が大きいため	4. 居住環境が不便だから	5. 本人が介護者の負担の軽減を望むから	6. 費用負担が重いから	7. その他、本人の意向等があるから	回答欄 (複数回答可)
---------	----------------------------	---------------	---------------	----------------------	--------------	--------------------	-------------

問 2-3 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について

(3) 主に家族等介護者の意向・負担等に属する理由について、お答えください

1. 該当なし	2. 介護者の介護に係る不安・負担量の増大	3. 介護者が、一部の居宅サービスの利用を望まないから	4. 家族等の介護等技術では対応が困難	5. 費用負担が重いから	6. 家族等の就労継続が困難になり始めたから	7. 本人と家族等の関係性に課題があるから	8. その他、家族等介護者の意向等があるから	回答欄 (複数回答可)
---------	-----------------------	-----------------------------	---------------------	--------------	------------------------	-----------------------	------------------------	-------------

問 2-4 【問 2-1 で【3.】を選択の場合】

理由となる、具体的な「身体介護」をお答えください

1. 見守り・付き添い	2. 移乗・移動	3. 食事探取	4. 排泄 (日中)	5. 排泄 (夜間)	6. 入浴	7. 更衣・整容	8. その他	回答欄 (複数回答可)
-------------	----------	---------	------------	------------	-------	----------	--------	-------------

問 2-5 【問 2-1 で【4.】を選択の場合】

理由となる、具体的な「認知症の症状」をお答えください

1. 家事に支障がある	2. 一人での外出が困難	3. 薬の飲み忘れ	4. 金融管理が困難	5. 意欲の低下	6. 徘徊がある	7. 暴言・暴力などがある	8. 強い介護拒否がある	9. 深夜の対応	10. 近隣住民等とのトラブル	11. その他	回答欄 (複数回答可)
-------------	--------------	-----------	------------	----------	----------	---------------	--------------	----------	-----------------	---------	-------------

問 2-6 【問 2-1 で【5.】を選択の場合】

理由となる、具体的な「医療的ケア」、「医療処置」をお答えください

1. 点滴の管理	2. 中心静脈栄養	3. 透析	4. ストーマの処置	5. 酸素療法	6. レスビレーター	7. 気管切開の処置	8. 疼痛の管理	9. 経管栄養	10. モニター測定	11. 褥瘡の処置	12. カテーテル	13. 喀痰吸引	14. インスリン注射	15. その他	回答欄 (複数回答可)
----------	-----------	-------	------------	---------	------------	------------	----------	---------	------------	-----------	-----------	----------	-------------	---------	-------------



問 3-1 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況に対して、どのようなサービスに変更することで改善できると思いますか。

※ 某例にサービスがあるかないかに関わらず、利用者にとって適切と思うサービスを選択してください。

<ol style="list-style-type: none"> <li>より適切な「在宅サービス」に変更する（例：小多様等）</li> <li>より適切な「住まい・施設等」に変更する（例：サ高住への入居、特養への入所等）</li> <li>より適切な「在宅サービス」もしくは「住まい・施設等」に変更する（例：定期巡回の利用、もしくは特養への入所が適切等）</li> <li>「1.」～「3.」では、改善は難しいと思う ⇒【回答は終了です】</li> </ol> <p>※ 「在宅サービス」と「住まい・施設等」の定義は、問 3-2 を参照</p>	回答欄（1つのみ選択）
---	-------------

問 3-2 問 3-1 で選択したサービス利用の変更について、本来であればより適切と思われる、具体的なサービスをお答えください。

<p>&lt;在宅サービス&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ショートステイ</li> <li>訪問介護、訪問入浴</li> <li>夜間対応型訪問介護</li> <li>訪問看護</li> <li>訪問リハ</li> <li>通所介護、通所リハ、認知症対応型通所</li> <li>定期巡回サービス</li> <li>小規模多機能</li> <li>看護小規模多機能</li> </ol> <p>&lt;住まい・施設等&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>住宅型有料</li> <li>サ高住（特定施設除く）</li> <li>グループホーム</li> <li>特定施設</li> <li>介護老人保健施設</li> <li>療養型・介護医療院</li> <li>特別養護老人ホーム</li> </ol> <p>⇒ 住まい・施設等を1つでも選択した場合は、問 3-3 以降も回答</p>	回答欄（複数回答可）
---	------------

問 3-3 【問 3-2 で「10.」～「16.」を選択した場合】  
利用者の入所・入居の緊急度をお答えください。

<ol style="list-style-type: none"> <li>緊急性が高い</li> <li>入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫</li> <li>その他</li> </ol>	回答欄
--	-----

問 3-4 【問 3-2 で「10.」～「15.」（※特養以外）を選択した場合】  
入所・入居できていない理由をお答えください。

<ol style="list-style-type: none"> <li>まだ、申込をしていない</li> <li>申込済みだが、空きがない</li> <li>申込済みで空きはあるが、希望の住まい・施設等に空きがない</li> <li>申込済みだが、医療処置があることを理由に入所・入居できない</li> <li>その他</li> </ol>	回答欄
---	-----

問 3-5 【問 3-2 で「16.」（※特養）を選択した場合】  
特養に入所できていない理由をお答えください。

<ol style="list-style-type: none"> <li>まだ、申込をしていない</li> <li>申込済みだが、空きがない</li> <li>申込済みで空きはあるが、希望の施設に空きがない</li> <li>申込済みだが、医療処置があることを理由に入所・入居できない</li> <li>その他</li> </ol>	回答欄
--	-----

〔2人目の方用のシート〕 略  
〔3人目の方用のシート〕 略

問 E 貴事業所の事業展開上、どのような課題がありますか。あてはまるものすべてに○を付けてください。

○を記入し (複数回答可)

1) 介護保険制度の将来像が不透明である	
2) 苦情や要望に対する窓口を設けて対応しているが苦慮することが多い	
3) ケアマネジャー1人あたりの担当する利用者が多い	
4) サービス管理票や請求書作成等の事務作業が多い	
5) 専門職員の確保が難しい (職種: )	
6) 職員の教育が十分にできない	
7) 他の事業所や関係機関と連携をとるのが難しい	
8) その他 ( )	
9) 特になし	

問 F 貴事業所のケアマネジャーがケアプランの作成にあたり、確保(調整)するのが困難だったサービスはどれですか。また富士見市で今後整備が必要なサービスは何だと思えますか。あてはまるものすべてに○を付けてください。(複数回答可)

〔居宅サービス〕

- 1. 訪問介護
- 2. 訪問入浴介護
- 3. 訪問看護
- 4. 訪問リハビリテーション
- 5. 居宅療養管理指導
- 6. 福祉用具貸与
- 7. 福祉用具購入費
- 8. 住宅改修
- 9. 通所介護
- 10. 通所リハビリテーション
- 11. 短期入所生活介護
- 12. 短期入所療養介護
- 13. 特定施設入居者生活介護
- 14. 介護予防支援・居宅介護支援

〔施設サービス〕

- 15. 介護老人福祉施設
- 16. 介護老人保健施設

〔地域密着型サービス〕

- 17. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- 18. 夜間対応型訪問介護
- 19. 認知症対応型通所介護
- 20. 小規模多機能型居宅介護
- 21. 認知症対応型共同生活介護
- 22. 地域密着型特定施設入居者生活介護
- 23. 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護
- 24. 看護小規模多機能型居宅介護
- 25. 地域密着型通所介護

〔総合事業〕

- 26. 訪問型サービス
- 27. 通所型サービス
- 28. 通所型サービスC (短期集中型)
- 29. 集中型介護予防教室 (はつらつ教室)

問 F 貴事業所のケアマネジャーがケアプランを作成している利用者の方で、現在、「介護保険サービス以外」の支援・サービスは、何を利用していますか。あてはまるものすべてに○を付けてください。(複数回答可)

- 1. 配達
- 2. 調理
- 3. 掃除・洗濯
- 4. 買い物 (宅配は含まない)
- 5. ゴミ出し
- 6. 外出同行 (通院、買い物など)
- 7. 移送サービス (介護・福祉タクシー等)
- 8. 見守り、声かけ
- 9. サロンなどの定期的な通いの場
- 10. 地域の取組みで行っている生活支援サービス (電球交換など)
- 11. その他 ( )
- 12. 利用していない

問 G これからの高齢者の医療福祉や介護に関して、ご意見がありましたら、自由に記入ください。

以上で調査は終わります。ご協力ありがとうございました。

## 富士見市 介護保険施設等の入退所状況に関する調査 調査票

※ この調査は、第8期富士見市高齢者保健福祉計画（令和3～5年度）を策定する基礎資料として、厚生労働省の指針のもと、介護保険施設・居住系サービス事業所の入退所に関する課題を把握するために実施するものです。匿名化してこの目的のためにのみ活用し、ご回答いただく内容により、個別の指導監査等を行うことはありませんので、調査の趣旨をふまえ、是非ともご協力をお願いします。

※ 1施設（事業所）に1票お送りしていますので、施設（事業所）ごとに1票使って回答ください。

※ 令和元年11月1日現在の状況について、以下の問1～11の回答欄に回答をご入力の上、電子メールで11月29日（金）までに返送ください。

（宛先: fukushi@city.fujimi.saitama.jp 担当: 富士見市 高齢者福祉課 地域包括ケア係）

問1 該当するサービス種別を1つだけ選んで、右欄に番号をご記入ください。

1. 在宅型有料老人ホーム	2. 軽費老人ホーム（特定施設除く）	[ ]
3. サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	4. グループホーム	[ ]
5. 特定施設	6. 地域密着型特定施設	[ ]
7. 介護老人保健施設	8. 介護療養型医療施設・介護医療院	[ ]
9. 特別養護老人ホーム	10. 地域密着型特別養護老人ホーム	[ ]

※ 本調査では、これらのサービス種別をまとめて「施設等」と表記します。

問2 貴施設等の概要について、以下にご記入ください。

1) 施設等の名称	[ ]
2) 定員数など	[ ] [ 人・戸・室 ] ※該当する単位に○
3) 入所・入居者数	[ ] 人
4) (貴施設等の) 待機者数	[ ] 人
5) 特別養護老人ホームの待機者数 (申込者数)	[ ] 人 ※特養・地域密着型特養は回答不要

※ 「2) 定員数など」は、サービス付き高齢者向け住宅の場合は「住戸数」、在宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームの場合は「居室数」、その他の施設等の場合は「定員数」をご回答ください。

※ 4)と5)は、該当がない場合は「0」を、不明の場合は「-」を記載してください。

問3 現在の入所・入居者の要支援・要介護度について、ご記入ください。

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2
[ ] 人	[ ] 人	[ ] 人	[ ] 人	[ ] 人
要介護3	要介護4	要介護5	申請中・不明	
[ ] 人	[ ] 人	[ ] 人	[ ] 人	

※ ここでご記入いただいた合計人数と、問2でご記入いただいた「3) 入所・入居者数」が一致することをご確認ください。

問4 以下の医療処置を受けている人数をご記入ください。

1) 点滴の管理	[ ] 人	2) 中心静脈栄養	[ ] 人
3) 透析	[ ] 人	4) ストーマの処置	[ ] 人
5) 酸素療法	[ ] 人	6) レスピレーター	[ ] 人
7) 気管切開の処置	[ ] 人	8) 疼痛の看護	[ ] 人
9) 経管栄養	[ ] 人	10) モニター測定	[ ] 人
11) 褥瘡の処置	[ ] 人	12) カテーテル	[ ] 人
13) 喀痰吸引	[ ] 人	14) インスリン注射	[ ] 人

次はP3の間5へ

ここからは、**過去1年間の新規の入所・入居者**についてお伺いします。

問5 過去1年間（平成30年11月～令和元年10月）に、貴施設等に新規で入所・入居した人の人数をご記入ください。

※ 貴施設等に入所・入居している方で、一時的な入院等で貴施設等に居た方は含まないでください。

新規の入所・入居者数（合計）  人 ★

問6 問5でご記入いただいた過去1年間の新規の入所・入居者について、入所・入居する前の居場所別の人数をご記入ください。

※ 「15」合計が、問5の（★欄）と一致することをご確認ください。

※ 一旦入院し、退院後に貴施設等に入所・入居した場合は入院前の居場所をご記入ください。

	富士見市内	富士見市外
1) 自宅（※ 兄弟・子ども、養育等の家含む）	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
2) 住宅型有料老人ホーム	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
3) 軽費老人ホーム（特定施設除く）	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
5) グループホーム	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
6) 特定施設	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
7) 地域密着型特定施設	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
8) 介護老人保健施設	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
9) 療養型・介護医療院	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
10) 特別養護老人ホーム	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
11) 地域密着型特別養護老人ホーム	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
12) 長期入院（※一時的な入院は「1）自宅」	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
13) その他	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
14) 入居・入所する前の居場所を把握していない	<input type="text"/> 人	
15) 合計	<input type="text"/> 人 ★	

ここからは、**過去1年間の退去者**についてお伺いします。

問7 過去1年間（平成30年11月～令和元年10月）に、貴施設等を退去（死亡）した人の人数をご記入ください。

※ なお、一時的に入院した方（貴施設等との契約が継続している方）は含まないでください。

退去者数（合計）（※死亡・搬送先での死亡を含む）  人 ☆

問8 問7でご記入いただいた過去1年間の退去者について、要介護度別の人数をご記入ください。

※ 合計人数が、問7の★欄と一致することをご確認ください。

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3
<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
要介護4	要介護5	新規申請中	死亡	合計	
<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人 ☆	

問9 問7でご記入いただいた過去1年間の退去者の退去先別の人数をご記入ください。

※ 「16」合計が★欄と一致することをご確認ください。

※ 一時的に入院して貴施設等以外の居場所に移った場合は、退院後の居場所をご記入ください。

	富士見市内	富士見市外
1) 自宅（※ 兄弟・子ども、養育等の家含む）	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
2) 住宅型有料老人ホーム	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
3) 軽費老人ホーム（特定施設除く）	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
5) グループホーム	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
6) 特定施設	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
7) 地域密着型特定施設	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
8) 介護老人保健施設	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
9) 療養型・介護医療院	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
10) 「9」を除く病院・診療所（一時的な入院を除く）	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
11) 特別養護老人ホーム	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
12) 地域密着型特別養護老人ホーム	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
13) その他	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
14) 行先を把握していない	<input type="text"/> 人	
15) 死亡（※ 搬送先での死亡を含む）	<input type="text"/> 人	
16) 合計	<input type="text"/> 人 ☆	

問 10 貴施設等の入居・入所者が、退去する理由は何ですか。退去理由として多いものを上位3つまで選んで、該当する欄に○を付けてください。

	退居理由「上位3つ」に○		
	第1位	第2位	第3位
1) 必要な生活支援が発生・増大したから			
2) 必要な身体介護が発生・増大したから			
3) 認知症の症状が悪化したから			
4) 医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから			
5) 「1」～「4」以外の状態像が悪化したから			
6) 入所・入居者の状態等が改善したから			
7) 入所・入居者が、必要な居宅サービスの利用を望まなかったから			
8) 費用負担が重くなったから			
9) その他			
この丸を1)～9)に貼り付けてください。→ 回答欄に「まる」と打っていただいても構いません。	○		

問 11 貴施設等の事業展開上、どのような課題がありますか。あてはまるものすべての欄に○を付けてください。

○を記入し (複数選択可)

1) 介護保険制度の将来像が不透明である	
2) 苦情や要望に対する窓口を設け対応しているが苦慮することが多い	
3) 施設整備・改修等の費用の確保が難しい	
4) 利用者が少ない	
5) 専門職員の確保が難しい (職種: )	
6) 職員の教育が十分にできない	
7) 他の事業所や関係機関と連携をとるのが難しい	
8) その他 ( )	
9) 特になし	

問 12 貴施設等で課題に感じていることや今後取り組みたいことなどがあれば、自由に記入ください。

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

**富士見市 介護サービス事業所 介護人材確保に関する調査 調査票**

- ※ この調査は、第8期富士見市高齢者保健福祉計画（令和3～5年度）を策定する基礎資料として、厚生労働省の指針のもと、事業所の人材確保に関する課題を把握するために実施するものです。匿名化してこの目的のためにのみ活用し、ご回答いただく内容により、個別の指導監査等を行うことはありませんので、調査の趣旨をふまえ、是非ともご協力をお願いします。
- ※ 事業所ごとにお送りし、事業所ごとの採用や離職の状況を把握することを趣旨としていますが、入所施設に通所施設が併設されている場合など、複数の事業所分を1票にまとめてご記入いただいても構いません。
- ※ 令和元年11月1日現在の状況について、以下の問1～6の回答欄に回答をご入力の上、電子メールで11月29日（金）までに返送ください。（宛先：fukushi@city.fujimi.saitama.jp 担当：富士見市 高齢者福祉課 地域包括ケア係）

問1 事業所の名称と開設年をご記入ください。複数の事業所分をまとめて回答いただく場合は、すべての事業所名を併記してください。

〔施設・居住系〕	↓名称を記入	↓開設年を記入	↓名称を記入	↓開設年を記入
特別養護老人ホーム （地域密着型含む）		平成 年	特定施設（地域密着型含む）	平成 年
介護老人保健施設		平成 年	住宅型有料老人ホーム	平成 年
グループホーム		平成 年	サービス付き高齢者向け住宅	平成 年
療養型・介護医療院		平成 年	軽費老人ホーム	平成 年

〔通所系・短期系〕	↓名称を記入	↓開設年を記入	↓名称を記入	↓開設年を記入
通所介護 （地域密着型含む）		平成 年	認知症対応型通所介護	平成 年
通所リハビリテーション		平成 年	総合事業（通所型サービス）	平成 年
ショートステイ		平成 年		

〔訪問系〕	↓名称を記入	↓開設年を記入	↓名称を記入	↓開設年を記入
訪問系サービス （訪問介護、訪問入浴、夜間対応型）		平成 年	総合事業（訪問型サービス）	平成 年
小規模多機能型居宅介護		平成 年	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	平成 年

問2 問1で回答したすべての事業所に所属する「介護職員」について、お伺いします。

問2-1 介護職員の総数を、ご記入ください。（数値を記入）

正規職員	〔 〕 人	非正規職員	〔 〕 人
------	-------	-------	-------

※「介護職員」は、事務職員や居宅介護支援員等は原則含みませんが、介護に一部でも従事している場合は含めてください。（ボランティアの方は含みません。）  
※正規職員は、期限の定めのない契約の職員、非正規職員は期限の定めのある契約の職員で区別してください。

問2-2 平成30年11月～令和元年10月の介護職員の採用者・離職者数を、年齢別にご記入ください。

年齢 （採用、離職当時）	採用者数		離職者数	
	合計	うち正規職員	合計	うち正規職員
20歳未満	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人
20～29歳	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人
30～39歳	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人
40～49歳	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人
50～59歳	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人
60～69歳	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人
70～79歳	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人
年齢不明	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人
合計	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人	〔 〕 人

問3 新規採用者が定着するための以下のような取り組みを、貴事業所では、十分に実施できていると思いますか。5段階の尺度で右の欄に番号をご記入ください。

	1 十分できている 2 まあまあできている 3 どちらでもない 4 あまりできていない 5 全くできていない ↓番号を記入
A 新規採用者の育成方針、育成計画を明確化している	
B 新規採用者に対し、個別に育成担当者を配置している	
C 新規採用者にとって、使いやすい業務マニュアル類を作成・活用している	
D 階層別育成計画に沿って、キャリアパスを明確化し、将来の働き方を見通せる環境になっている	
E 業績を評価し、処遇に反映している	
F 休暇がとりやすいしくみを工夫するなど、子育て等と仕事の両立を支援している	
G 職員の意見を制度に反映しやすいよう工夫している	

問4 人材確保に苦勞している点や、働きやすい職場づくりのために、行政（富士見市）に協力を求めたいことがあれば、自由にご記入ください。

- 3 -

問5 介護職員の継続勤務や転職の状況を把握するため、介護職員全員について、1人1行ずつ、(1)～(9)の問いにお答えください。

回答方法	※ 番号1つ記載				※ 数値を記入		※ 番号1つ記載			
設問	(1)資格、研修の修了の状況	(2)主な職種	(3)性別	(4)年齢	(5)過去1週間の勤務時間	(6)現在の事業所での勤務年数	(7)現在の職場の直前の職場	(8)直前の職場の場所	(9)転勤か転職か	
選択肢	1. 介護福祉士 2. 実務者研修修了、または(旧)基礎研修修了または(旧)ヘルパー1級 3. 初任者研修修了、または(旧)ヘルパー2級 4. いずれも該当しない	1. 入通所者への介護(正規) 2. 入通所者への介護(非正規) 3. 訪問介護(正規) 4. 訪問介護(非正規) 5. 居宅介護支援	1. 男性 2. 女性	1. 20歳未満 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代以上 8. 不明	※ 残業時間を含む。休憩時間は除く。	1. 1年以上 ⇒【回答終了】 2. 1年未満 ⇒【(7)へ】	1. 現在の職場が初めての勤務先 ⇒【回答終了】 2. 介護以外の職場 ⇒【回答終了】 3. 特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設 4. 訪問介護・入浴、夜間対応型 5. 小多機、看多機、定期巡回サービス 6. 通所介護、通所リハ、認知症デイ 7. 住宅型有料、サ高住(特定施設以外) 8. その他の介護サービス ⇒【「3.」～「8.」の場合は(8)へ】	1. 富士見市内 2. 富士見市外	1. 転勤(同一法人・グループ内の異動) 2. 転職	
	1	1	1	3	40	2	2	1	2	
01さん					時間					
02さん					時間					

中略

39さん					時間				
40さん					時間				

※41人目以降は、欄を足してください。(表の右側にカーソルを置いて、改行すると欄が増えます。)

- 4 -

問6 問5(2)で訪問介護員と回答された職員の直近1週間の勤務時間(移動時間は除く)を、1人ずつ、全員分ご記入ください。

[ ] さん 一問5の職員番号名を記入

	介護給付分							
	身体介護		生活援助					
			買い物		調理・配膳		その他の生活援助	
30	分	20	分	45	分	20	分	
月		分		分		分		分
火		分		分		分		分
水		分		分		分		分
木		分		分		分		分
金		分		分		分		分
土		分		分		分		分
日		分		分		分		分
合計		分		分		分		分

	予防給付・総合事業分							
	身体介護		生活援助					
			買い物		調理・配膳		その他の生活援助	
10	分	30	分	15	分	40	分	
月		分		分		分		分
火		分		分		分		分
水		分		分		分		分
木		分		分		分		分
金		分		分		分		分
土		分		分		分		分
日		分		分		分		分
合計		分		分		分		分

中略

※7人目以降は、欄を足してください。(表全体を選んで、コピーし、下の行に貼りつけてください。)

以上で調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。



## 富士見市 高齢者等実態調査報告書

---

発行 令和2年3月

富士見市 健康福祉部 高齢者福祉課

〒354-8511 埼玉県富士見市大字鶴馬 1800 番地の1

電話：049-251-2711（代表） FAX：049-251-1025